

令和4年度

# 教職員研修計画

京都府教育委員会

## 教職員研修計画について

教職員の研修については、地方公務員法第39条に定めるほか、特に教育公務員については、教育基本法第9条並びに教育公務員特例法第21条に絶えず研究と修養に努めることが定められ、同法第23条及び第24条には、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修の実施が義務付けられています。

近年、教員の大量退職・大量採用等の影響によって、年齢構成や経験年数の不均衡が生じ、従来の学校組織において自然に行われてきた経験豊富な教員から若手教員への知識及び技術等の伝達が困難となるなど、教員を巡る環境が大きく変化しています。また、グローバル化、情報化の進展等、社会が急速に変化する中であって、それらを踏まえた新しい時代の教育に対応できるよう、学習指導要領等の趣旨を実現するための教員の資質能力の向上に向けた環境を整えることが不可欠です。こうした状況を踏まえ、教員の養成・採用・研修を通じた新たな体制の構築等のため、平成27年12月の中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」を受け、教育公務員特例法が平成29年4月に一部改正され、指標と研修計画の策定が義務付けられたところ です。

京都府においては、平成30年3月に「求められる京都府の教員像」の見直しを図り、新たに「京都府の教員に必要な5つの力」を掲げるとともに、教育公務員特例法第22条の3に基づき、教員等がキャリアステージに応じて身に付けるべき資質能力を明確にするため、職種や経験年数に応じた観点別の「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」を策定しました。

本書は教育公務員特例法第22条の4に基づく研修計画として、教職員の資質能力の更なる向上と京都府の教育課題の解決等に資することを目的に、「求められる京都府の教員像」「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」と、それらを踏まえ京都府総合教育センターが実施する研修講座の概要等を掲載しています。

各学校等における教職員の研修計画作成等の際には、本書の内容を十分に踏まえ積極的な活用が図られるよう努めてください。

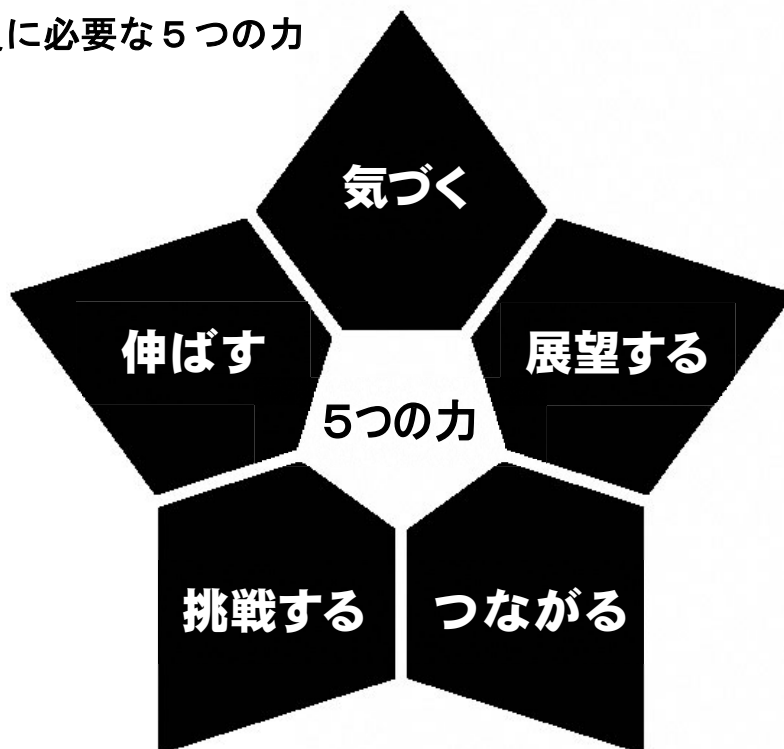
# 目 次

求められる京都府の教員像	1
京都府教員等の資質能力の向上に関する指標	4
京都府総合教育センターの研修講座	2 2
単位制履修制度の概要	2 3
2～6年目研修講座	2 7
7～15年目研修講座	2 9
中堅教諭等資質向上研修講座	3 1
特別支援教育及び教育相談を深く学びたい方への推奨講座	3 2
困難な状況におかれた子どもの支援について学ぶための受講モデルプラン	3 3
研修講座・受講対象一覧	3 4
研修講座日程・会場表	4 1
「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」との対応一覧	4 6
研修講座の実施概要	5 0
研修講座の実施概要の見方	5 1
基本研修	
初任期育成研修（100～）	5 4
中堅教諭等資質向上研修（251～）	9 2
指導者養成研修及び中核職員養成研修（301～）	9 6
専門研修	
教科（401～）	1 0 0
領域等（501～）	1 1 2
コミュニケーション能力（601～）	1 2 4
チームマネジメント能力（701～）	1 2 8
職能別等（801～）	1 3 4
特別研修（851～）	1 4 0
地域教育支援研修	1 4 2
（ ）内は講座番号	
教員免許状更新講習講座	1 4 4
講座の受講について	1 5 0
オンライン・オンデマンド・Web＋研修講座	1 5 1
Webコンテンツ視聴研修	1 5 5
ICT活用講座	1 5 6
出前講座	1 5 7
講師対象講座	1 5 9
研修講座の申込等	1 6 2
様 式	1 6 6
研修履歴一覧表の見方	1 7 3

※「教職員研修計画」は、「様式」を含め総合教育センターホームページ（ITEC）からダウンロードできます。

# 求められる京都府の教員像

京都府の教員に必要な5つの力



## ■気づく力

児童生徒一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも**気づくことができる力**

## ■伸ばす力

豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、児童生徒一人一人が豊かな未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に**伸ばすことができる力**

## ■挑戦する力

探究心や自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け、**挑戦することができる力**

## ■つながる力

他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担しながら、組織的・協働的に諸課題を解決するため、チームの一員として**つながることができる力**

## ■展望する力

次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を**展望することができる力**



### 児童生徒の変化に「気づく力」

- 児童生徒への教育的愛情と、教職への使命感や情熱を有している。
- 高い人権意識や多様性を尊重する姿勢を持ち、自らが人権教育の担い手であるという自覚を有している。
- 児童生徒一人一人を深く理解し、その小さな変化を見逃さず、愛情と信頼と期待とで包み込みながら、受容的・共感的に関わることができる。
- 様々な要因により困難な状況におかれている児童生徒や、特別な配慮を必要とする児童生徒の状況を理解し、適切な支援を行うことができる。

### 児童生徒の可能性を「伸ばす力」

- 豊かな感性とコミュニケーション能力を持ち、明朗かつ健康で、人間的魅力にあふれている。
- 教科や教職に関する高い専門性と優れた指導力を有している。
- 高い授業力を有し、児童生徒に質の高い学力を身に付けさせることができる。
- 児童生徒一人一人の自己肯定感を高めながら、その個性や能力を引き出し、最大限に伸ばして、未来を切り拓く力を育むことができる。

### 自らを高め、新たな課題に「挑戦する力」

- 自律的に学ぶ姿勢を持ち続け、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を教職生涯にわたって高め、教育改革の推進や教育課題の解決に積極的に取り組むことができる。
- 探究心や学び続ける姿勢を持ち、研修やOJT等を通じて自己研鑽に不断に取り組むとともに、同僚性の構築や若手教職員の人材育成に積極的に関わることができる。
- 適切なセルフマネジメントと効率的な業務の遂行に取り組み、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、人間性を高め、児童生徒への効果的な教育活動を行うことができる。

### 学校内外の多様な人材と「つながる力」

- 社会的良識と高いコンプライアンス意識を持ち、児童生徒や保護者、職場の同僚、地域社会から信頼される。
- 組織の一員としての自覚を有し、自らの使命を理解して、役割を積極的に果たすことにより、学校運営に貢献することができる。
- 他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームの一員として、様々な教育改革や教育課題に組織的・協働的に対応することができる。

## 広い視野で未来を「展望する力」

- 広い視野で時代や社会、環境の変化を把握しながら、情報を適切に収集・選択・活用し、知識を有機的に結び付け構造化することができる。
- 様々な教育改革や複雑化・多様化する教育課題を的確に把握し、改革の実現や課題の解決に向け適切に対応することができる。
- 次代の京都府を担う人材や国際社会で活躍する人材を育成するために、京都の自然、歴史、伝統・文化について理解を深めるとともに、多様な文化に興味・関心を持ち、地域創生やグローバル化に対応した教育を推進できる。

# 京都府教員等の資質能力の向上に関する指標

京都府教育委員会

## **1** 指標の構成

京都府教育委員会では、校種や職種に応じて、次の6つの指標を策定しましたので、該当する指標を資質能力の向上を図る際の目安としてください。

なお、特別支援学級の担任等については、それぞれの校種の指標とあわせて、特別支援学校の指標も参照してください。

### ■ 義務教育諸学校の指標

対象校種：小学校、中学校、義務教育学校

対象職種：首席副校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

### ■ 高等学校の指標

対象校種：高等学校

対象職種：首席副校長、副校長、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

### ■ 特別支援学校の指標

対象校種：特別支援学校

対象職種：首席副校長、副校長、総括主事、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

### □ 養護教諭の指標

対象校種：全ての校種

### □ 栄養教諭の指標

対象校種：全ての校種

### □ 校長の指標

対象校種：全ての校種

※ 指標の対象となる職種は、校長、首席副校長、副校長、教頭、総括主事、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び講師（常時勤務の者及び地方公務員法第28条の5第1項に規定する短時間勤務の職を占めるものに限る。）です。ただし、教育公務員特例法施行令第2条に規定する臨時的に任用された者等を除きます。

## 2 指標におけるキャリアステージの考え方について

### 1 ステージの設定

教員一人一人が採用されて以降、長期的な視点をもって、計画的にキャリアアップを図っていくためには、教職生涯にわたる自らの成長像や節目を捉えることができる視点が欠かせないことから、指標には、成長段階として、5つのステージと目安となる採用後の経験年数を設定しています。

このステージや経験年数は、大学卒業後すぐに採用され、着任する教員を例に設定していますが、教員の着任時の年齢や経歴は様々で個人差があることから、一律に当てはめることが困難な場合も想定されます。このため、各教員は、指標のステージや経験年数を目安に、自身の経歴やキャリアを踏まえて自らが今どの位置にあるのかななどを常に省察しながら、キャリアアップを図っていくことが必要です。

また、教員が一定の経験を積んだ段階では、一人一人の経歴や経験の違いにより、学習指導や生徒指導等の各分野や領域ごとの専門性に差異が生じてしまう場合が想定されますので、特に経験が浅い、早いステージにおいては、全ての観点の資質能力をバランス良く身に付けるよう努力することが大切です。

### 2 ステージごとに求められる役割と資質能力

各ステージにおいて観点ごとに求められる具体的な資質能力については、指標で示していますが、以下では、各ステージがどのような段階で、大枠としてどのような役割や資質能力が求められるのかを示しています。

#### ステージ0（着任時・教職経験0年）

教職生涯の出発点において、教員養成課程を修了し、将来にわたって成長していく上で必要となる資質能力や知識の基本をしっかりと身に付けた段階であり、これらの資質能力や知識は、京都府教育委員会が任命権者として採用段階で志願者に求めるものであるとともに、大学等における教員養成の目標となるものである。

##### 〈求められる資質能力〉

- 児童生徒への教育的愛情、教職への使命感や情熱、教員という職に適した基本的な人間性
- 学習指導や生徒指導をはじめとする教育活動全般にわたる基本的な知識と基礎的な指導技術
- 京都府の教育施策に対する知識と理解、その実現に向け他者と連携して取り組む意欲と姿勢

## ステージ1（初任期・教職経験1年～6年）

大学等で学んだ知識や指導技術を生かしながら、初任者・新規採用者研修や2年目研修等の受講、日々の業務遂行におけるOJT等を通して、学習指導や生徒指導等の専門性や指導技術等の基礎・基本を身に付け、教職生涯の基盤を構築する段階

### 〈求められる資質能力〉

- 教育公務員としての自覚・使命感
- 管理職や先輩教職員等から積極的に学び、その学びを自身の教育実践（学習指導、生徒指導、学級経営等）に生かす力
- 校務分掌組織の一員として、責任を持って役割を果たし、学校運営に参画しようとする意欲・態度

## ステージ2（中堅期・教職経験7年～15年）

研修や経験を通して実践的指導力を高め、自己の指導スタイルを確立し、ミドルリーダーとして校務分掌の業務を遂行するとともに、先輩教職員から学びつつ、後輩教職員に対して経験や年齢が近い立場から助言するなど、人材育成に関わる段階

### 〈求められる資質能力〉

- ミドルリーダーとしての自覚・責任感
- 安定した教育実践（学習指導、生徒指導、学級経営等）と課題に応じた工夫ができる実践的指導力
- 校務分掌組織の中心として他の組織とも連携しながら学校運営に積極的に貢献できる力

## ステージ3（充実期・教職経験16年～24年）

研修や経験を通して実践的指導力をさらに高めるとともに、学校内外に幅広い視野を持って教育実践を発展させながら、校務分掌組織の主任等として学校経営に参画し、同僚や後輩教職員への助言・支援も行うなど、中核教員としての役割を担う段階

### 〈求められる資質能力〉

- 中核教員としての、自己の役割と責任の自覚
- これまでの教育実践を省察し、さらに積極的に実践的指導力を高める姿勢を有し、自らの経験をもとに同僚や後輩教職員に適切な助言・支援ができる優れた教育実践力
- 校務分掌組織をまとめて導くリーダー性、分掌間の連携を円滑に進める調整力

## ステージ4（熟練期・教職経験25年～）

豊富な経験と継続的な自己研鑽に裏打ちされた優れた教育実践力、他の教職員の模範となる安定感や信頼感を有し、さらなる工夫・改善にも不断に取り組むとともに、各分野におけるリーダー（副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭等を含む。）として学校経営に積極的に参画する段階

### 〈求められる資質能力〉

- 学校内外におけるリーダーとしての自己の役割と責任の自覚
- 経験や高い専門性をもとに、広く周囲に適切な指導・助言ができる優れた教育実践力及び人材育成能力
- 企画力、実行力、分析力、判断力、リーダー性

学校経営に参画するためには、さらに以下の資質能力が求められる。

### 〈求められる資質能力〉

- 学校教育のさらなる充実に向けた改善意欲
- 学校教育目標の達成に向け、校長を補佐し円滑に組織を動かすマネジメント能力
- 教職員の服務、勤務時間、健康等の適切な管理ができる人事管理能力（管理職）

校長については、学校を統括する者としてのリーダーシップ等、校長に特に求められる資質能力を他の職と区別するため、別の指標を設けています。

## 【採用からの年数の目安について】

- **ステージ1（初任期）**は、基礎・基本を形成する期間として、新規採用以降1年目から6年目として設定
- **ステージ2（中堅期）**以降は、キャリアラインの分かれ目となる40歳代半ばまでの期間を9年ずつに分け、前期の7年目から15年目を**中堅教諭等資質向上研修の対象となる期間を含むステージ2（中堅期）**、後期の16年目から24年目を**ステージ3（充実期）**として設定
- **ステージ4（熟練期）**は、キャリアラインが分かれる時期である40歳代半ば以降の期間として設定  
ステージ4（熟練期）の中に、「**学校経営への参画**」として、学校経営に参画するために必要な資質能力の枠を設定





# 指 標

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。</li> <li>○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。</li> <li>○学習評価に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。</li> <li>○各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。</li> </ul>
生徒指導	学級経営、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。</li> <li>○生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。</li> <li>○学級担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導に取り組むことができる。</li> <li>○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○同年度の教員と協力しながら、担任として責任を持って学級経営ができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした教育活動ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>

<p>ステージ2 中堅期 (7年～15年)</p>	<p>ステージ3 充実期 (16年～24年)</p>	<p>ステージ4 熟練期(25年～) 学校経営への参画</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。</li> <li>○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。</li> <li>○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。</li> <li>○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。</li> <li>○各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組み、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進捗管理が確実に行える。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、授業改善や教材研究を学校全体の取組として推進できる。</li> <li>○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確に行うことができる。</li> <li>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。</li> <li>○担任として児童生徒一人一人が尊重された学級経営を推進するとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。</li> <li>○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。</li> <li>○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。</li> <li>○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。</li> <li>○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な取組において指導的役割を果たすことができる。</li> </ul>

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の生徒を大切にし、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。</li> <li>○教科・科目の内容についての専門的な知識がある。</li> <li>○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。</li> <li>○学習評価に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。</li> <li>○教科・科目に関する高い専門性を有し、各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。</li> <li>○学校の設置学科・コースの特色や教育目標を理解している。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。</li> </ul>
生徒指導	ホームルーム経営、生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。</li> <li>○生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。</li> <li>○ホームルーム担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導に取り組むことができる。</li> <li>○生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わることができる。</li> <li>○生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○同年度の教員と協力しながら、担任として責任を持ってホームルーム経営ができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かし、生徒の希望進路の実現に向けた指導ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、生徒の学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>



ステージ2	ステージ3	ステージ4
<p>中堅期 (7年～15年)</p>	<p>充実期 (16年～24年)</p>	<p>熟練期(25年～)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">学校経営への参画</p>
<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</p> <p>○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動につながるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。</p>
<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</p>
<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。 ○教科・科目に関する高い専門性を有し、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえて、効果的な授業を行うことができる。 ○各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。</p>	<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。 ○各教科等の指導において、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえて、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組み、他の教職員に助言・支援できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○各教科等の指導において、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえて、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、新しい指導方法も積極的に取り入れるなど授業改善や教材研究に不断に取り組む、他の教職員に指導・助言できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進捗管理が的確にできる。 ○学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえて、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、授業改善や教材研究を学校全体の取組として推進できる。 ○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。</p>
<p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。 ○深い生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わることができる。 ○生徒の変化に気付く、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○担任として生徒一人一人が尊重されたホームルーム経営を推進するとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導ができる。</p>	<p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。 ○深い生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。 ○生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。 ○生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導のための校内体制を構築できる。 ○生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、学校全体の取組として推進できる。 ○生徒の課題の解決に向けた校内体制を構築できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、効果的な教育活動全体の進捗管理ができる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向けて、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p> <p>○校長の方針のもと、明確なビジョンを持ち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見直しを持って、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</p>	<p>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進捗管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。</p>
<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、生徒のコミュニケーション能力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養を持って、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○グローバル化を見据え、生徒のコミュニケーション能力を育成するための校内体制を構築できる。</p>

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。</li> <li>○それぞれの障害の特性を理解し、個別の指導計画や教育支援計画について基礎的な知識を有している。</li> <li>○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。</li> <li>○学習評価に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。</li> <li>○各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。</li> <li>○障害の特性を理解した個別の指導計画を作成し、それに基づく授業ができる。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。</li> </ul>
生徒指導	学級経営、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。</li> <li>○それぞれの障害の特性を理解し、生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。</li> <li>○学級担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する児童生徒の個性や学齢に応じた個別指導と集団指導に取り組むことができる。</li> <li>○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○同学年の教員と協力しながら、担任として責任を持って学級経営ができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた教育活動ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>



<p>ステージ2 中堅期 (7年～15年)</p>	<p>ステージ3 充実期 (16年～24年)</p>	<p>ステージ4 熟練期(25年～)</p>
<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</p>
<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。</p>
<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。 ○障害の特性を理解した個別の指導計画を作成し、それに基づく効果的な授業ができる。 ○各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。</p>	<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。 ○各教科等の指導において、障害の特性を理解した個別の指導計画に基づく主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組み、他の教職員に助言・支援できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○各教科等の指導において、障害の特性を理解した個別の指導計画に基づく主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、新しい指導方法も積極的に取り入れるなど授業改善や教材研究に不断に取り組み、他の教職員に指導・助言できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に指導・助言できる。</p>
<p>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を確立できる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わる事ができる。 ○児童生徒の変化に気付く、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○担任として児童生徒一人一人の特性に合った学級経営を推進するとともに、学部全体の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動ができる。</p>	<p>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学部全体の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学部全体の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援を受けたりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</p>	<p>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言を受けたりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</p>
<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について指導的役割を果たすことができる。</p>

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
養護教諭 としての 専門領域	保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動、指導方法、指導技術、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○養護教諭の職務や役割についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○児童生徒の怪我や病氣、事故等への対応について、専門的な知識に基づき対応できる。</li> <li>○学習指導要領等及び学校保健安全法や保健管理、保健教育について基礎的な知識を有している。</li> <li>○健康相談や保健指導の基本的な方法を理解している。</li> <li>○保健組織活動の意義と重要性を理解している。</li> <li>○児童生徒理解や受容的・共感的な関わり的重要性を認識し、基礎的な知識を有している。</li> <li>○生徒指導や教育相談の基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、業務の改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の怪我や病氣、事故等の対応について、専門的な知識に基づき、的確に対応し、指導できる。</li> <li>○児童生徒の発達段階に応じた健康課題を把握し、適切に対処できる。</li> <li>○保健教育における自身の役割を理解し、専門性を生かした保健教育ができる。</li> <li>○健康相談の基本的な過程を理解し、児童生徒の心身の発達段階に応じた健康相談を実施できる。</li> <li>○保健室経営計画を作成し、児童生徒の課題に応じた保健室経営ができる。</li> <li>○保健組織活動を推進できるよう、企画運営に参画できる。</li> <li>○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして基本的な業務ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>



ステージ2	ステージ3	ステージ4
<p>中堅期 (7年～15年)</p>	<p>充実期 (16年～24年)</p>	<p>熟練期(25年～)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">学校経営への参画</p>
<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</p> <p>○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動につながるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。</p>
<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と他の教職員への指導ができる。</p>
<p>○児童生徒の怪我や病氣、事故等への対応や未然防止について知識を深め、的確に対応できるとともに校内全体へ助言できる。 ○心身の健康課題を総合的に捉え、校内支援体制の充実に努めることができる。 ○児童生徒の実態に応じた保健教育を推進できる。 ○保健室経営計画に基づき、保健室を経営、評価し、次年度の取組に生かせる。 ○保健組織が主体的に活動できるよう、内容の工夫や改善を図ることができる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気付き、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして効果的に業務を進めることができる。</p>	<p>○児童生徒の怪我や病氣、事故等への対応や未然防止について高い専門性と深い知識を持ち、的確に対処できるとともに校内全体へ助言できる。 ○児童生徒の心身の健康問題に対して、他の教職員への指導的役割を果たすことができる。 ○保健組織が主体的に活動できるよう指導できる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、養護教諭としての専門性を生かして積極的に対応できる。 ○保健室経営計画に基づき、保健室を経営、評価し、学校教育目標の実現に向けた取組ができる。 ○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の養護教諭に助言・支援できる。</p>	<p>○児童生徒の怪我や病氣、事故等への対応や未然防止について高い専門性と深い知識を持ち、的確に対応できるとともに校内だけでなく地域や府内へ発信できる。 ○近隣の学校と連携し、地域全体で健康づくりを進め、自らの実践を発信できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に助言できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、他の教職員に対して養護教諭としての専門性を生かした助言ができる。 ○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の養護教諭に指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○養護教諭としての専門性を生かしながら、教育目標の実現に向けた取組について、校内全体の調整や進行管理が的確にできる。 ○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、教職員に指導できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、教職員に指導できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、関係機関とも連携しながら、見通しを持った対応の方向性を示すことができる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向けて、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p> <p>○校長の方針のもと、明確なビジョンを持ち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しを持って、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</p>	<p>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効果的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進行管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。</p>
<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養を持って、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○グローバル化を見据え、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための校内体制を構築できる。</p>

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
栄養教諭 としての 専門領域	学校給食の管理、食に関する指導、指導方法、指導技術、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食の役割について理解し、適切な栄養管理を実施しようとしている。</li> <li>○衛生管理の重要性について理解し、適切に実施しようとしている。</li> <li>○学習指導要領等や食に関する指導について、基礎的な知識と基礎的な指導技術を有している。</li> <li>○食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有している。</li> <li>○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を理解している。</li> <li>○生徒指導や教育相談の基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、業務改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食実施基準に基づいた献立が作成できる。</li> <li>○適切な衛生管理の実施のため、調理従事者や施設設備の衛生等に関して日常的に点検・確認ができる。</li> <li>○学習指導要領等を理解し、食に関する指導の指導案を作成し、それに沿った授業ができる。</li> <li>○食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じた的確に対応できる。</li> <li>○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気付き、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かした基本的な業務ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深め、給食の献立の作成や食に関する指導と関連付けられる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>



ステージ2	ステージ3	ステージ4
<p>中堅期 (7年～15年)</p>	<p>充実期 (16年～24年)</p>	<p>熟練期(25年～)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">学校経営への参画</p>
<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</p> <p>○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に自配りをしながら、円滑な教育活動につながるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。</p>
<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</p>
<p>○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成できる。 ○適切な衛生管理の実施のため、専門的な立場から他の教職員へ指導・助言を行うことができる。 ○学習指導要領等を理解し、教科・科目の指導内容と関連付けて食に関する指導を実施できる。 ○食に関する健康課題や栄養相談について専門知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じて、他の教職員と連携して的確に対応できる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして効果的に業務を進めることができる。</p>	<p>○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校にも積極的に発信できる。 ○学習指導要領等を理解し、児童生徒の学習段階や系統性も踏まえ、食に関する指導を的確に実施できる。 ○食に関する健康課題や栄養相談について高度な専門知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じて、他の教職員へ指導的役割を果たすことができる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、栄養教諭としての専門性を生かして積極的に対応できる。 ○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の栄養教諭に助言・支援できる。</p>	<p>○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校を含めてのリーダーとして、積極的に助言できる。 ○近隣の学校と連携し、食に関する指導、食中毒や食物アレルギー等の健康課題への対応等について、地域全体に向けて自らの実践を発信できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に助言できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、他の教職員に対して栄養教諭としての専門性を生かした助言ができる。 ○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の栄養教諭に指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○栄養教諭としての専門性を生かしながら、教育目標の実現に向けた取組について、校内全体の調整や進行管理が的確にできる。 ○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、教職員に指導できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、教職員に指導できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、関係機関とも連携しながら、見通しを持った対応の方向性を示すことができる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p> <p>○校長の方針のもと、明確なビジョンを持ち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しを持って、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</p>	<p>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進行管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。</p>
<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための給食の献立の作成や食に関する指導を効果的に実践できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための給食の献立の作成や食に関する指導について、他の教職員に助言・支援できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な取組において指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養を持って、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○グローバル化を見据え、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための校内体制を構築できる。</p>

観点	(主な要素)	校長に求められる資質能力
<p><b>基本的 資質能力</b></p>	<p>使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高潔清廉な人格で、心身ともに健康であり、児童生徒に対する深い愛情と教職への誇りを持って学校経営を行い、教職員、児童生徒、保護者等からの厚い信頼が確立されている。</li> <li>○教職員の模範となる高いコンプライアンス意識を有し、教職員をまとめて組織的協働につなげるための確かなコミュニケーションができる。</li> <li>○学校の最高責任者として広い視野と高い識見を持ち、迅速で的確な判断・決断を行うことができる。</li> <li>○学校の最高責任者として高い使命感を持つとともに、自己を省察し職能を成長させるために学び続けることができる。</li> <li>○自校の役割やアイデンティティを確立し、明確に発信しながら、教職員と児童生徒に自校への誇りと愛着を醸成することができる。</li> </ul>
<p><b>人権</b></p>	<p>人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高い人権感覚を有し、人権尊重の精神に基づく行動の模範となり、教職員の指導ができる。</li> <li>○人権教育に関する高い識見を有し、年間を見通して計画的に学校の取組を推進できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒への支援について、校内体制を確立し、その背景にある様々な状況を踏まえて関係機関とも連携しながら、課題解決に向けて統括できる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を持ち、校内体制の構築ができる。</li> </ul>
<p><b>学習指導</b></p>	<p>学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の管理、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育の動向を把握し、地域の実情も踏まえた適切な学校教育目標を策定し、その実現に向け、教職員を指揮・統率して取り組むことができる。</li> <li>○学習指導要領等の内容に精通し、教育課程の編成を統括し、学校の教育目標の実現に向けた教育活動を指揮・統率できる。</li> <li>○学習指導要領等の理念の実現に向け、校内体制を構築し、ICT活用を含めて、授業改善や教材研究等の学校全体の取組を指揮・統率できる。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向け、校内研修を活性化して課題を明確化させ、学校全体の授業改善を指揮・統率できる。</li> </ul>
<p><b>生徒指導</b></p>	<p>児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒に対する深い理解があり、受容的・共感的に関わることができるとともに、教職員が児童生徒に適切な指導・支援ができるよう、自らの経験に基づく的確な指導ができる。</li> <li>○児童生徒一人一人の状態の見立てに基づき、必要に応じて指導・支援のための校内体制を構築するとともに、保護者や関係機関と適切に連携できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした効果的な教育活動の進行管理を行うとともに、地域社会等との連携も含めた校内体制を構築できる。</li> <li>○いじめや不登校、生徒指導上の問題事象の未然防止や解決に向け、法や制度的な枠組みを踏まえ、危機管理意識と見通しを持って組織的な対応を指揮・統率できる。</li> </ul>
<p><b>マネジメント</b></p>	<p>ビジョンやリーダーシップ、学校経営、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校を取り巻く状況や自校の課題を踏まえた学校づくりのビジョンを定め、その実現に向けてリーダーシップを発揮しながら的確な学校経営を行うことができる。</li> <li>○自校の教職員の業務状況や健康状態を的確に把握し、教職員の意欲を最大限に引き出しつつ、多忙化の解消と効率的な業務の遂行のための管理ができる。</li> <li>○学校や地域の特色を踏まえつつ、社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの推進を指揮・統率できる。</li> <li>○組織のリーダーとして、危機管理マニュアルの的確な運用等、学校安全の確保に向けた危機管理及び危機対応を迅速で的確に行うことができる。</li> </ul>
<p><b>チーム学校</b></p>	<p>教職員の掌握と指導、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な校内体制を構築し、活動を統括できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他の学校との連携体制を構築し、教育目標の実現に向けた取組を指揮・統率できる。</li> <li>○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成を指導・支援し、校内全体の人材育成を指揮・統率できる。</li> <li>○副校長・教頭や主幹教諭等の計画的な人材育成に努め、マネジメント能力に長けた次世代のリーダーを育成することができる。</li> </ul>
<p><b>京都ならではの教育</b></p>	<p>京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会情勢や世の中の出来事に精通し、社会全体の大きな流れの中で教育のあるべき方向性を見据え、高い識見と豊かな教養を持って、京都府教育振興プランの実現に向け、教育哲学や教育理念を周囲に伝播できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を構想し、組織的な取組として指揮・統率できる。</li> <li>○グローバル化を見据え、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するため、学校全体の取組を指揮・統率できる。</li> </ul>

# 京都府総合教育センターの研修講座

# 単位制履修制度の概要

京都府総合教育センターの研修については「単位制履修制度」を採用しています。

## 1 趣旨

単位制履修制度は、教職員個々の意欲を大切にし、キャリアステージに応じた研修を計画的・継続的に受講できるようにすることを基本的な考え方としています。また、研修履歴を活用することで、今後の研修計画に生かし、計画的な人材育成につなげようとするものです。

## 2 単位数

- (1) 1 講座の受講をもって 1 単位履修を基本とする。
- (2) 国・京都府教育委員会・教育局・市町（組合）教育委員会の実施する研修の一部も 1～3 単位として認定

## 3 研修の分類体系

- ◇基本研修 …該当者全員を対象とする、初任期育成研修及び中堅教諭等資質向上研修
- ◇専門研修 …専門的力量的の向上をねらいとして行う研修（職能別研修を含む。）
- ◇指導者養成研修 …各学校や地域における指導者を養成することを目的とした研修
- ◇中核職員養成研修…各学校や地域で中核となる教員及び事務職員を養成することを目的とした研修
- ◇特別研修 …教育課題解決のために、単年度で開催する研修

## 4 研修講座の分野

各研修講座は、その内容に照らして以下の 4 分野に整理しています（基本研修を除く。）。

- ①教科（事務職員は実務） ②領域等 ③コミュニケーション能力 ④チームマネジメント能力

## 5 研修年に応じた求められる履修単位数

規定された研修年に応じた必要な単位数の講座を受講してください。

- (1) 必修講座の履修単位数

### ア 初任期育成研修【基本研修】

受講対象者	初任期育成研修		
	初任者・ 新規採用者研修	ステップアップ研修	
		新規採用者 (令和 4 年度実施)	2 年目教員 (令和 5 年度実施)
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	20 単位		8 単位
幼稚園教諭	11 単位		
養護教諭、栄養教諭	16 単位		
実習助手、寄宿舎指導員	9 単位	3 単位	
事務職員	8 単位		
学校図書館司書	7 単位		
学校施設管理職員	9 単位		

### イ 中堅教諭等資質向上研修【基本研修】

「中堅教諭等資質向上研修講座」ページを参照してください。

(2) 選択講座の履修単位数

ア 2～6年目研修

受講対象者や選択講座数等については、「2～6年目研修講座」ページを参照してください。

イ 7～15年目研修

受講対象者や選択講座数等については、「7～15年目研修講座」ページを参照してください。

ウ 16年目以降の研修

4分野からできるだけ偏りなく選択し、計画的に受講してください。

6 単位制履修制度早分かり表（教諭の場合）

教諭の生涯にわたる標準的な単位は**60単位**としています。この単位数は、国・京都府教育委員会・教育局・市町（組合）教育委員会実施の研修の一部も単位として認定します。

※今後の教育を取り巻く環境・状況の変化に伴い、単位数を変更する場合があります。

必修		年	年 期	選択及び標準的な単位			
初任期 育成研修	初任者研修	20単位	1	2～6年目※1	5単位		
	2年目教員ステップアップ研修	8単位	2				
			3	2～6年目※1	5単位		
			4				
			5				
			6				
			7	7～15年目※2	9単位		
			8				
			9				
		中堅教諭等資質向上研修※3		5単位	10	16年目以降	13単位
		○管理職、主幹教諭・指導教諭等は職能に応じて受講すること。			11		
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
			∴	○4分野から偏りなく、計画的に受講	指導的力量的な向上に向けた標準的な単位		
		33単位			27単位		

※1…「2～6年目研修講座」ページを参照

※2…「7～15年目研修講座」ページを参照

※3…「中堅教諭等資質向上研修講座」ページを参照



## 7 事務職員のキャリアステージに応じて求められる単位数と履修内容

規定されたキャリアステージ在位中に必要な単位数の講座を受講してください。

※事務職員の選択講座等については、「研修講座・受講対象一覧」ページを参照してください。

### (1) 主事

**必修** 主事1級在位中に**4単位**を受講してください。

※新規採用者研修の必修講座8単位を取得していれば、履修したものとします。

**指定** 指定講座の中から主事2級在位中に**1単位**を受講してください。

**選択** 選択講座の中から主事在位中に**6単位**を受講してください。

### (2) 主任

**指定** 指定講座の中から主任在位中に**3単位**（【職名】主任：1単位、【職名】主任（係長相当職）：2単位）を受講してください。

**選択** 選択講座の中から主任在位中に、4分野からできるだけ偏りなく**4単位**を受講してください。

※推薦により、次の講座を受講した場合、チームマネジメント能力の2単位として**選択**講座の受講単位数に充当されます。2単位を超えた分は「総単位数」に充当されます。

- ・ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ～Ⅲ
- ・小・中学校事務職員リーダー養成講座Ⅰ・Ⅱ

### (3) 事務主任・専門幹

**選択** 選択講座の中から事務主任・専門幹在位中に、4分野からできるだけ偏りなく**8単位**を受講してください。

### (4) 指定講座一覧

内容等については、各研修講座の実施概要を参照してください。

※指定講座として次の講座を受講する場合は、講座番号951～961で申込をしてください。

備考欄に記載の講座番号で申込をした場合は、選択講座となります。

指定講座番号	講座名	主事2級	主任	主任 (係長相当職)	備考
951	人権教育講座Ⅰ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～【指定】	/	指定	指定	502と同様
952	人権教育講座Ⅱ～同和問題を考える～【指定】	/	指定	指定	503と同様
953	図書館教育講座～調べ学習を支援する学習センターとしての在り方～【指定】	/	指定	指定	514と同様
954	「今を生きる子どものこころ」講座 ～自分を傷つけてしまう子どもたち～自傷、自殺を考える～【指定】	/	指定	指定	519と同様
955	教職員のメンタルヘルス講座 ～メンタルヘルスからウェルネスへ～【指定】	/	/	指定	520と同様
956	コミュニケーション基礎講座 ～ビジネスマナーから考える～（企業連携）【指定】	指定	指定	指定	601と同様
957	コミュニケーション講座～職場実践に生かす～（企業連携）【指定】	/	指定	指定	602と同様
958	コミュニケーション発展講座～人材育成に生かす～（企業連携）【指定】	/	/	指定	603と同様
959	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）【指定】	/	/	指定	605と同様
960	学校事務職員パワーアップ講座Ⅰ【指定】	指定	指定	/	809と同様
961	学校事務職員パワーアップ講座Ⅱ【指定】	/	指定	指定	810と同様



## 8 単位制履修制度早分かり表（事務職員の場合）

事務職員の生涯にわたる標準的な単位は**30単位**としています。この単位数は、国・京都府教育委員会・教育局・市町（組合）教育委員会実施の研修の一部も単位として認定します。

※今後の教育を取り巻く環境・状況の変化に伴い、単位数を変更する場合があります。

標準職務上の職位	職務の級	職名	キャリアステージ	必修・指定	選択及び標準的な単位
			新規採用者	8単位	
	1級	主事	主事	(4単位)※	6単位
	2級			1単位	
主任	3級	主任	主任	1単位	4単位
係長		主任 (係長相当職)		2単位	
困難係長	4級	事務主任	事務主任 ・ 専門幹		8単位
課長補佐					
困難課長補佐	5級	専門幹			指導的力量向上に向けた標準的な単位
○事務長は職能に応じて受講すること。				12単位	18単位

※…新規採用者研修必修8単位を取得していれば、履修したものとする。

## 2～6年目研修講座

### 1 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の2～6年目の教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員 等

### 2 受講講座

受講対象者	必修 2年目に受講	選択 2～6年目に受講	合計
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	8単位	5単位	13単位
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の養護教諭、 栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿 舎指導員 等		4単位	4単位

#### 必修 (講座ごとの申込は不要)

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭は、以下の**8単位**を2年目に必ず受講してください。

- ・2年目教員「ステップアップ1～3」講座 (3単位)
- ・2年目教員「テーマ研修」 (5単位)

※該当校に事前に要項及び受講対象者調査票兼申込書等の関係書類を別途送付します。その回答をもって受講手続きとしますので、講座ごとの受講申込は不要です。

#### 選択 (要申込)

(1) 2～6年目に受講してください (**選択講座一覧表**を参照)。

※推薦等により、次の講座を受講した場合、【 】の2単位として**選択**講座の受講単位に充当できます。

・小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ～Ⅲ

【教科】

(2) 2～6年目に教員免許状更新講習の受講完了手続きをした場合、**選択**講座の4単位に充当されます (各学校からの届出は不要)。

### 3 選択講座一覧表

受講対象校種及び内容等については、各研修講座の実施概要を参照してください。

番号	講座名	番号	講座名
<b>【教科】</b>			
401	育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ	402	育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ
403	小学校国語科教育講座	404	小学校社会科教育講座
405	高等学校理科授業づくり講座	406	小学校家庭科講座 ～わかる授業づくりのためのICT活用～
407	小中外国語教育講座～思いを伝える授業づくり～	408	小学校実技どんとこい!音楽科&図画工作科講座 ～わくわく創作活動～
409	小学校実技どんとこい!理科&家庭科講座	410	小学校音楽科&図画工作科やってみよう!ICT講座
411	小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座	413	小中をつなぐ理科の見方・考え方講座

番号	講座名	番号	講座名
<b>【教科】</b>			
414	中高音楽 「箏を奏しよう×タブレットで箏変奏曲を創ろう」講座	415	「我が国の伝統音楽」の指導と評価の一体化講座 ～能楽「敦盛」を教材として～
416	中高国語科教育講座～探究的・問題解決型単元構想～	417	中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座
418	中高をつなぐ理科の指導と評価講座	420	【美術館連携】中高美術講座～対話で深める鑑賞～
421	幼小特支「子どもに寄り添う図画工作科の授業」講座 ～表現に学ぶ子どもの多様性～	422	<知っ得！内容B>中学校技術講座
423	中高家庭科講座～授業に生かす高齢者介護の基礎～	424	中高外国語科教育講座Ⅰ～思考力を育てる言語活動～
425	中高外国語科教育講座Ⅱ～学習評価の具体を探る～	426	道徳科の授業実践力向上講座
427	道徳教育の推進講座	428	中堅期へのジャンプアップ講座 ～「資質・能力」を育成する指導と評価～
<b>【領域等】</b>			
501	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座	502	人権教育講座Ⅰ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～
504	生徒指導講座 ～学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図る～	505	特別活動講座～今こそ求められる特別活動の教育力～
506	学級、ホームルーム経営講座 ～よりよい学級、ホームルームを創造する～	507	情報モラル教育講座
508	情報教育講座	509	小学校プログラミング教育講座
510	中学校・高等学校プログラミング教育講座	512	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ～山城郷土資料館で学ぶ～
513	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～	514	図書館教育講座 ～調べ学習を支援する学習センターとしての在り方～
515	教育相談<初級>講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】	519	「今を生きる子どものこころ」講座 ～自分を傷つけてしまう子どもたち－自傷、自殺を考える～
520	教職員のメンタルヘルス講座 ～メンタルヘルスからウェルネスへ～	521	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携 「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座
522	特別支援教育 「知的障害のある児童生徒の指導とキャリア教育」講座	523	特別支援教育「肢体不自由児童生徒への指導・支援」講座
524	特別支援教育「アセスメントを支援に生かす」講座 (コーディネータースキルアップ講座)	525	特別支援教育コーディネーター養成講座【基礎】
526	特別支援教育コーディネーター養成講座【実践】	527	特別支援教育「視覚障害のある児童生徒の授業づくり」講座
528	特別支援教育「読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援」 講座～アセスメントと実践事例～	529	特別支援教育・京都教育大学サテライト 「思春期・青年期における発達障害の特性理解」講座
805	養護教諭講座	806	栄養教諭・学校栄養職員講座
851	絵本のひみつ講座 ～絵本の仕掛けと読み聞かせの意義を探る～（奈良県連携）	852	子どもの貧困と学習支援講座
<b>【コミュニケーション能力】</b>			
601	コミュニケーション基礎講座 ～ビジネスマナーから考える～（企業連携）	604	子どもの力を引き出す教育コーチング講座（企業連携）
<b>【チームマネジメント能力】</b>			
706	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）	708	学びづくりのカリキュラム・マネジメント講座

## 7～15年目研修講座

### 1 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の7～15年目の教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員 等

### 2 受講講座

受講対象者	選択講座の受講単位数
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	9単位
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員	7単位
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員 等	5単位

#### 【選択】（要申込）

7～15年目に4分野からできるだけ偏りなく受講してください（**選択講座一覧表**を参照）。  
※推薦等により、次の講座を受講した場合、それぞれ【 】の2単位として**選択講座**の受講単位数に充当できます。2単位を超えた分は「総単位数」に充当されます。

- ・ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ～Ⅲ 【チームマネジメント能力】
- ・小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ～Ⅲ 【教科】

### 3 選択講座一覧表

受講対象校種及び内容等については、各研修講座の実施概要を参照してください。

番号	講座名	番号	講座名
<b>【教科】</b>			
401	育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ	402	育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ
403	小学校国語科教育講座	404	小学校社会科教育講座
406	小学校家庭科講座 ～わかる授業づくりのためのICT活用～	407	小中外国語教育講座～思いを伝える授業づくり～
410	小学校音楽科&図画工作科やってみよう！ICT講座	411	小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座
412	高等学校数学科教育講座	413	小中をつなぐ理科の見方・考え方講座
414	中高音楽 「箏を奏でよう×タブレットで箏変奏曲を創ろう」講座	415	「我が国の伝統音楽」の指導と評価の一体化講座 ～能楽「敦盛」を教材として～
416	中高国語科教育講座～探究的・問題解決型単元構想～	417	中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座
418	中高をつなぐ理科の指導と評価講座	419	最先端科学から学ぶ講座
420	【美術館連携】中高美術講座～対話で深める鑑賞～	421	幼小特支「子どもに寄り添う図画工作科の授業」講座 ～表現に学ぶ子どもの多様性～
422	<知っ得！内容B>中学校技術講座	423	中高家庭科講座～授業に生かす高齢者介護の基礎～
424	中高外国語科教育講座Ⅰ～思考力を育てる言語活動～	425	中高外国語科教育講座Ⅱ～学習評価の具体を探る～
426	道徳科の授業実践力向上講座	427	道徳教育の推進講座



番号	講座名	番号	講座名
<b>【教科】</b>			
429	学力充実講座Ⅰ～学習評価の工夫改善～		
<b>【領域等】</b>			
501	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座	502	人権教育講座Ⅰ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～
503	人権教育講座Ⅱ～同和問題を考える～	504	生徒指導講座 ～学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図る～
505	特別活動講座～今こそ求められる特別活動の教育力～	506	学級、ホームルーム経営講座 ～よりよい学級、ホームルームを創造する～
507	情報モラル教育講座	508	情報教育講座
509	小学校プログラミング教育講座	510	中学校・高等学校プログラミング教育講座
511	京の教育「みやび」講座	512	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ～山城郷土資料館で学ぶ～
513	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～	514	図書館教育講座 ～調べ学習を支援する学習センターとしての在り方～
515	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】	516	教育相談＜中級＞講座Ⅰ ～事例を通して深める思春期・青年期の理解～【領域①】
517	教育相談＜中級＞講座Ⅲ ～子どもと保護者のこころの声を聴く～【領域③】	518	教育相談＜上級＞講座Ⅱ ～学校と医療とのよりよい連携に向けて～【領域②】
519	「今を生きる子どものこころ」講座 ～自分を傷つけてしまう子どもたち～自傷、自殺を考える～	520	教職員のメンタルヘルス講座 ～メンタルヘルスからウェルネスへ～
521	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携 「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座	522	特別支援教育 「知的障害のある児童生徒の指導とキャリア教育」講座
523	特別支援教育「肢体不自由児童生徒への指導・支援」講座	524	特別支援教育「アセスメントを支援に生かす」講座 (コーディネータースキルアップ講座)
525	特別支援教育コーディネーター養成講座【基礎】	526	特別支援教育コーディネーター養成講座【実践】
527	特別支援教育「視覚障害のある児童生徒の授業づくり」講座	528	特別支援教育「読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援」 講座～アセスメントと実践事例～
529	特別支援教育・京都教育大学サテライト 「思春期・青年期における発達障害の特性理解」講座	805	養護教諭講座
806	栄養教諭・学校栄養職員講座	851	絵本のひみつ講座 ～絵本の仕掛けと読み聞かせの意義を探る～(奈良県連携)
852	子どもの貧困と学習支援講座		
<b>【コミュニケーション能力】</b>			
602	コミュニケーション講座～職場実践に生かす～(企業連携)	603	コミュニケーション発展講座～人材育成に生かす～(企業連携)
604	子どもの力を引き出す教育コーチング講座(企業連携)	605	学校運営に生かすコーチング講座(企業連携)
<b>【チームマネジメント能力】</b>			
702	教育法規演習講座～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～	703	学校内外環境分析講座～学校の強みを生かした特色づくり～
704	地域の教育活性化とスクールリーダー講座	705	企業から学ぶマネジメント講座～経営哲学から学ぶ～(企業連携)
706	多忙化への対応とセルフマネジメント講座(企業連携)	707	ファシリテーション講座～会議運営に生かす～(企業連携)
708	学びづくりのカリキュラム・マネジメント講座	709	学校運営のためのカリキュラム・マネジメント講座
710	最新教育動向講座Ⅰ		

※教育相談＜中級＞・＜上級＞講座(講座番号 516～518)は、受講条件があります(詳細は「研修講座受講モデルプラン」ページを参照)。

# 中堅教諭等資質向上研修講座

## 1 受講対象者

幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の中堅教諭等資質向上研修対象となる教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校：市町（組合）教育委員会を通じて学校（園）に通知します。  
 (2) 府立学校（附属中学校含む。）：学校に直接通知します。

## 2 受講講座

講座		実施日 (視聴期間)	研修形態	会場	受講対象
「共通」講座Ⅰ		5月23日(月)～ 6月3日(金)	オンデマンド研修	各所属校(園)	全員
「共通」講座Ⅱ	a	7月25日(月)	オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が奇数の方
	b	8月2日(火)	集合研修	総合教育センター	対面受講希望者
オンライン研修			各所属校(園)	受講者番号が偶数の方	
「共通」講座Ⅲ	a	8月18日(木)	集合研修	総合教育センター	対面受講希望者
			オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が奇数の方
	b	8月24日(水)	オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が偶数の方
「共通」講座Ⅳ	a	11月28日(月)	集合研修	総合教育センター	対面受講希望者 (受講番号が奇数)
			オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が奇数の方
	b	12月12日(月)	集合研修	総合教育センター	対面受講希望者 (受講番号が偶数)
			オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が偶数の方
「共通」講座Ⅴ	a	1月20日(金)	集合研修	総合教育センター	対面受講希望者 (受講番号が奇数)
			オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が奇数の方
	b	1月24日(火)	集合研修	総合教育センター	対面受講希望者 (受講番号が偶数)
			オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が偶数の方

※講座ごとの受講申込書の提出は、不要です。年度当初に提出する研修計画書をもって受講手続きとします。

**詳細は、「令和4年度中堅教諭等資質向上研修実施の手引き」（別冊）を参照してください。**

※「令和4年度中堅教諭等資質向上研修実施の手引き」（別冊）は、対象者のいる学校にのみ配付します。

※対面受講については、会場等の都合により抽選する場合があります。その場合、各所属校（園）に別途連絡します。

## 3 欠席について

欠席する場合、講座が始まるまでに、校（園）長又は副校長・教頭、事務長から京都府総合教育センター北部研修所**地域教育支援部（0773-43-2934）**と**市町（組合）教育委員会（府立学校は除く。）**まで**電話で連絡してください**。また、法定研修のため、欠席の場合は**欠席届（様式2）**を必ず京都府総合教育センター北部研修所**地域教育支援部へ直接提出**してください。

## 4 注意点

中堅教諭等資質向上研修対象者が「共通」講座以外の研修講座を受講する際、申込時は教職経験「7～15年」を選択してください。

# 特別支援教育及び教育相談を深く学びたい方への推奨講座

## 〈特別支援教育〉

※問合せ先：特別支援教育部（075-612-2953）

### ○特別支援教育コーディネーター養成のための推奨講座

#### コーディネーター養成講座

##### 〈必修講座〉

- 525 特別支援教育コーディネーター養成講座【基礎】
- 526 特別支援教育コーディネーター養成講座【実践】

##### 〈選択講座〉 ※下記の2講座のうち、1講座を受講

- 528 「読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援」講座
- 529 「思春期・青年期における発達障害の特性理解」講座

#### コーディネータースキルアップ講座

- 524 「アセスメントを支援に生かす」講座

養成講座、スキルアップ講座以外の講座については、研修講座の指標やステージを参考に、各自の研修ニーズに合わせて受講してください。

※コーディネーター養成講座及びコーディネータースキルアップ講座は、特別支援教育コーディネーターに指名されている者又は候補者に限らず、誰でも受講できます。

なお、研修履歴状況は「研修履歴一覧表」で確認できます。

「特別支援教育コーディネーター養成講座受講カード」については令和4年度末をもって終了予定です。

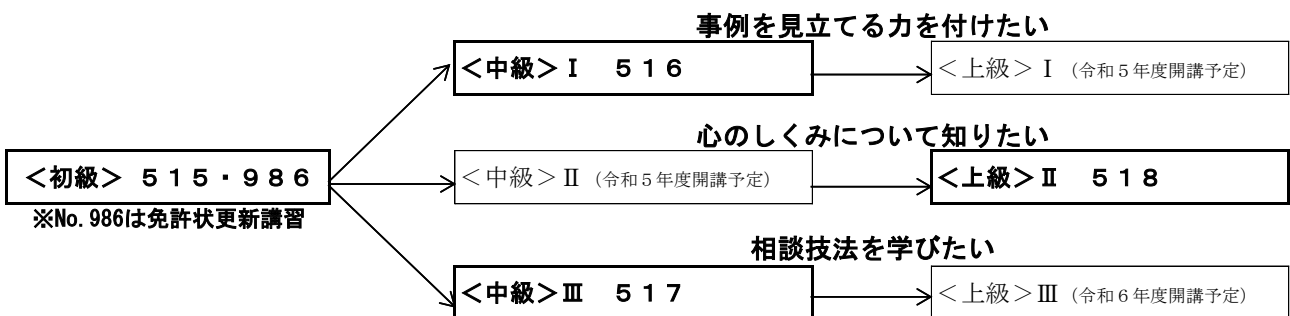
## 〈教育相談〉

※問合せ先：教育相談部（075-612-2959）

### ○教育相談について深く学びたい方への推奨講座



### ○興味・関心に合わせて教育相談を学びたい方への推奨講座



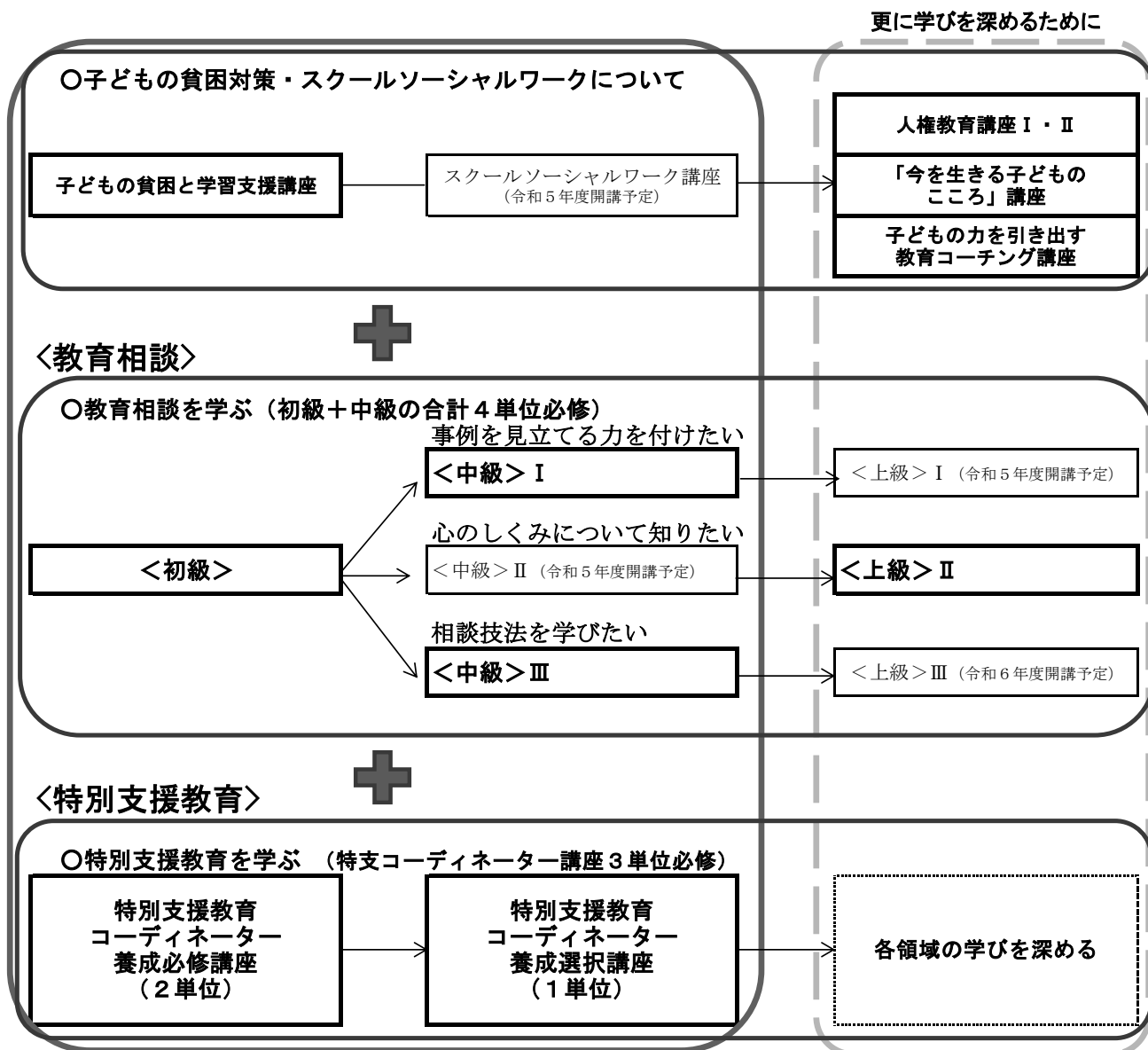
### 〈中級・上級講座の受講条件〉※次の①、②のどちらかに該当すること。

- ①「初級」講座を受講した者
- ②教職経験16年以上の者で、教育相談を学ぶ意欲が高い者や、校内の教育相談を推進する者

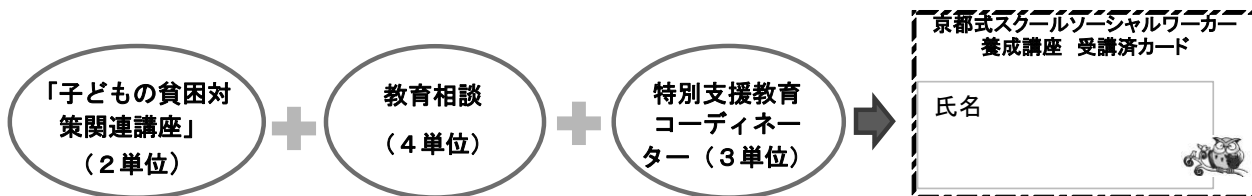
\*平成28年度から、中・上級講座を受講するためには、原則平成24年度以降の初級講座を受講済であることを条件としています。

※初級講座：臨床心理学の知見から学ぶ教育相談の入り口の講座です。また、子どものこころの理解の基本や相談活動において「聴く」ことの重要性について学びます。

# 困難な状況におかれた子どもの支援について学ぶための受講モデルプラン



＜教育相談＞の講座の一部は隔年開催です。



※最短2年間で「9単位」履修されることで発行していた「スクールソーシャルワーカー養成講座 受講済カード」の発行は令和4年度で終了します。なお、研修の履修状況は「研修履歴一覧表」で確認できます。

※問合せ先：企画研究部（075-612-2950）



## 研修講座・受講対象一覧

### 一覧の見方

- 1 「講座名」欄について  
 (1) ローマ数字 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ…) について  
     「○○○講座Ⅰ」「○○○講座Ⅱ」と表記されている場合は、通して受講する必要はありません。  
     「○○講座シリーズⅠ」「○○講座シリーズⅡ」と表記されている場合は、全講座通して受講してください。  
 (2) アルファベット (A、B及びa、b、c…) について  
     A、Bは初任者の受講グループを示します。  
     a、b、c、dは内容が同じ講座で、異なる日程で実施することを示します。
- 2 「研修年別期」欄、「事務職員職位別」欄について  
 研修年別期、事務職員職位別の選択講座や受講の可否を表しています。  
 ◎ ……選択講座                                    ○ ……選択講座外 (総単位数へ加算)  
 - ……受講不可                                    指定……「単位制履修制度の概要」ページを参照
- 3 「講師対象」欄について  
 常勤講師が受講管理システムで申込可能な講座を○で示しています。

初任期育成研修			
番号	講座名	実施日 (曜日)	頁
100	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座(センター)	4月 1日 (金)	55
101	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座(北部)	4月 1日 (金)	55
102	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座a	4月 14日 (木)	55
103	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座b	4月 21日 (木)	56
104	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座a	7月 26日 (火)	56
105	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座b	7月 27日 (水)	56
106	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座c	7月 28日 (木)	57
107	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座d	7月 29日 (金)	57
108	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育」講座a	6月 9日 (木)	57
109	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育」講座b	6月 16日 (木)	58
110	初任者・新規採用者研修等共通「教育実践」講座	2月 2日 (木)	58
111	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座a	9月 1日 (木)	58
112	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座b	9月 8日 (木)	59
113	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座c	10月 6日 (木)	59
114	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座d	10月 27日 (木)	59
115	初任者・新規採用者研修共通「人権教育・生徒指導」講座(センター)	8月 1日 (月)	60
116	初任者・新規採用者研修共通「人権教育・生徒指導」講座(北部)	8月 8日 (月)	60
117	初任者研修「地域連携・情報教育」講座	P.60 参照	60
118	初任者研修「学級・ホームルーム経営・教育相談」講座a	5月 26日 (木)	61
119	初任者研修「学級・ホームルーム経営・教育相談」講座b	6月 2日 (木)	61
120	初任者研修「道徳教育・特別支援教育」講座(センター)	8月 17日 (水)	61
121	初任者研修「道徳教育・特別支援教育」講座(北部)	8月 18日 (木)	62

初任期育成研修			
番号	講座名	実施日 (曜日)	頁
122	初任者研修「小学校教科教育1」講座A(センター)	5月 12日 (木)	62
123	初任者研修「小学校教科教育1」講座A(北部)	5月 12日 (木)	62
124	初任者研修「小学校教科教育1」講座B(センター)	5月 19日 (木)	63
125	初任者研修「小学校教科教育1」講座B(北部)	5月 19日 (木)	63
126	初任者研修「小学校教科教育2」講座A(センター)	6月 23日 (木)	63
127	初任者研修「小学校教科教育2」講座A(北部)	6月 23日 (木)	64
128	初任者研修「小学校教科教育2」講座B(センター)	6月 30日 (木)	64
129	初任者研修「小学校教科教育2」講座B(北部)	6月 30日 (木)	64
130	初任者研修「小学校教科教育3」講座	8月 4日 (木)	65
131	初任者研修「小学校教科教育4」講座	8月 5日 (金)	65
132	初任者研修「小学校教科教育5」講座	8月 19日 (金)	65
133	初任者研修「小学校教科教育6」講座A	1月 12日 (木)	66
134	初任者研修「小学校教科教育6」講座B	1月 19日 (木)	66
135	初任者研修「小学校授業参観」講座A	10月 13日 (木)	66
136	初任者研修「小学校授業参観」講座B	11月 10日 (木)	67
137	初任者研修「小学校総合的な学習の時間・外国語教育・ICT活用」講座A	7月 21日 (木)	67
138	初任者研修「小学校総合的な学習の時間・外国語教育・ICT活用」講座B	7月 22日 (金)	67
139	初任者研修「中学校教科教育1」講座(センター)	5月 19日 (木)	68
140	初任者研修「中学校教科教育1」講座(北部)	5月 19日 (木)	68
141	初任者研修「中学校教科教育2」講座(センター)	6月 30日 (木)	68
142	初任者研修「中学校教科教育2」講座(北部)	6月 30日 (木)	69
143	初任者研修「中学校教科教育3」講座(センター)		教科で異なる 69
144	初任者研修「中学校教科教育3」講座(北部)		教科で異なる 69
145	初任者研修「中学校教科教育4」講座(センター)	9月 29日 (木)	70
146	初任者研修「中学校教科教育4」講座(北部)	9月 29日 (木)	70
147	初任者研修「中学校教科教育5」講座(センター)	11月 17日 (木)	70
148	初任者研修「中学校教科教育5」講座(北部)	11月 17日 (木)	71
149	初任者研修「中学校教科教育6」講座(センター)	1月 26日 (木)	71
150	初任者研修「中学校教科教育6」講座(北部)	1月 26日 (木)	71
151	初任者研修「中学校授業参観」講座	10月 20日 (木)	72
152	初任者研修「中学校総合的な学習の時間・キャリア教育」講座	9月 15日 (木)	72

初任期育成研修			
番号	講座名	実施日 (曜日)	頁
153	初任者研修「高等学校教科教育1」講座(センター)	5月 12日 (木)	72
154	初任者研修「高等学校教科教育1」講座(北部)	5月 12日 (木)	73
155	初任者研修「高等学校教科教育2」講座(センター)	6月 23日 (木)	73
156	初任者研修「高等学校教科教育2」講座(北部)	教科で異なる	73
157	初任者研修「高等学校教科教育3」講座(センター)	7月 7日 (木)	74
158	初任者研修「高等学校教科教育3」講座(北部)	教科で異なる	74
159	初任者研修「高等学校教科教育4」講座(センター)	教科で異なる	74
160	初任者研修「高等学校教科教育4」講座(北部)	教科で異なる	75
161	初任者研修「高等学校教科教育5」講座(センター)	11月 10日 (木)	75
162	初任者研修「高等学校教科教育5」講座(北部)	11月 10日 (木)	75
163	初任者研修「高等学校教科教育6」講座(センター)	12月 1日 (木)	76
164	初任者研修「高等学校教科教育6」講座(北部)	12月 1日 (木)	76
165	初任者研修「高等学校教科教育7」講座(センター)	1月 12日 (木)	76
166	初任者研修「高等学校教科教育7」講座(北部)	教科で異なる	77
167	初任者研修「高等学校総合的な探究の時間・キャリア教育」講座	9月 15日 (木)	77
168	初任者研修「特別支援学校1」講座	5月 26日 (木)	77
169	初任者研修「特別支援学校2」講座	6月 23日 (木)	78
170	初任者研修「特別支援学校3」講座	8月 8日 (月)	78
171	初任者研修「特別支援学校4」講座	9月 15日 (木)	78
172	初任者研修「特別支援学校5」講座	10月 20日 (木)	79
173	初任者研修「特別支援学校6」講座	11月 17日 (木)	79
174	初任者研修「特別支援学校7」講座	1月 26日 (木)	79
175	初任者研修「特別支援学校授業参観」講座	7月 7日 (木)	80
176	初任者研修「他校種体験研修1」講座	別途連絡	
177	初任者研修「他校種体験研修2」講座	別途連絡	
181	新規採用者研修「幼稚園教諭1」講座	5月 26日 (木)	80
182	新規採用者研修「幼稚園教諭2」講座	6月 16日 (木)	80
183	新規採用者研修「幼稚園教諭3」講座	7月 28日 (木)	81
184	新規採用者研修「養護教諭1」講座	5月 26日 (木)	81
185	新規採用者研修「養護教諭2」講座	6月 21日 (火)	81
186	新規採用者研修「養護教諭3」講座	7月 25日 (月)	82
187	新規採用者研修「養護教諭4」講座	8月 17日 (水)	82
188	新規採用者研修「養護教諭5」講座	9月 6日 (火)	82
189	新規採用者研修「養護教諭6」講座	10月 20日 (木)	83
190	新規採用者研修「養護教諭7」講座	12月 6日 (火)	83
191	新規採用者研修「栄養教諭1」講座	5月 26日 (木)	83
192	新規採用者研修「栄養教諭2」講座	6月 7日 (火)	84
193	新規採用者研修「栄養教諭3」講座	7月 25日 (月)	84
194	新規採用者研修「栄養教諭4」講座	8月 3日 (水)	84
195	新規採用者研修「栄養教諭5」講座	9月 13日 (火)	85
196	新規採用者研修「栄養教諭6」講座	11月 8日 (火)	85
197	新規採用者研修「栄養教諭7」講座	12月 6日 (火)	85
198	新規採用者研修「実習助手1」講座	担当で異なる	86
199	新規採用者研修「実習助手2」講座	6月 2日 (木)	86
200	実習助手「ステップアップ」講座	11月 7日 (月)	86
201	新規採用者研修「学校事務職員1」講座	4月 19日 (火)	87
202	新規採用者研修「学校事務職員2」講座	6月 21日 (火)	87
203	新規採用者研修「学校事務職員3」講座	7月 5日 (火)	87
204	新規採用者研修「学校図書館司書1」講座	6月 21日 (火)	88
205	新規採用者研修「学校図書館司書2」講座	8月 25日 (木)	88
206	新規採用者研修「学校施設管理職員1」講座	4月 19日 (火)	88
207	新規採用者研修「学校施設管理職員2」講座	6月 21日 (火)	89
208	新規採用者研修「学校施設管理職員3」講座	7月 5日 (火)	89
209	新規採用者研修「学校施設管理職員4」講座	8月 4日 (木)	89
210	幼稚園等新規採用教員研修「テーマ研修」	別途通知	
211	新規採用者「テーマ研修(計画立案)」	別途通知	
212	新規採用者「テーマ研修(実践研究)」	別途通知	

初任期育成研修(2年目教員)			
番号	講座名	実施日 (曜日)	頁
221	2年目教員「ステップアップ1」講座	P.90 参照	90
222	2年目教員「ステップアップ2」講座a(センター)	8月 22日 (月)	90
223	2年目教員「ステップアップ2」講座a(北部)	教科で異なる	90
224	2年目教員「ステップアップ2」講座b(センター)	8月 23日 (火)	91
225	2年目教員「ステップアップ3」講座(センター)	12月 26日 (月)	91
226	2年目教員「ステップアップ3」講座(北部)	12月 26日 (月)	91
227	2年目教員「テーマ研修」	別途通知	

中堅教諭等資質向上研修			
番号	講座名	実施日 (曜日)	頁
251	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅰ	P.93 参照	93
252	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱa	7月 25日 (月)	93
253	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱb	8月 2日 (火)	93
254	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲa	8月 18日 (木)	94
255	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲb	8月 24日 (水)	94
256	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅳa	11月 28日 (月)	94
257	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅳb	12月 12日 (月)	95
258	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅴa	1月 20日 (金)	95
259	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅴb	1月 24日 (火)	95

◎ ……選択講座                      ○ ……選択講座外(総単位数へ加算)  
 — ……受講不可                      指定……「単位制履修制度の概要」ページを参照

指導者養成研修及び中核職員養成研修												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年次別			事務職員職位別					講師 対象	頁
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門 幹		
						1 級	2 級	主 任	係 長			
301	ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ	6月24日(金)	—	* 1		—	—	* 2			97	
302	ミドルリーダー養成講座シリーズⅡ	9月27日(火)	—			—	—	* 2				97
303	ミドルリーダー養成講座シリーズⅢ	11月11日(金)	—			—	—	* 2				
304	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅠ	6月28日(火)	/			/						
305	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅡ	9月16日(金)										98
306	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅢ	11月18日(金)										
307	小・中学校事務職員リーダー養成講座Ⅰ	6月7日(火)	—	—	—	—	—	* 2		98		
308	小・中学校事務職員リーダー養成講座Ⅱ	1月17日(火)	—	—	—	—	—	* 2			98	
309	小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ	5月31日(火)	* 1			—	—	—	—	98		
310	小学校理科授業力向上講座シリーズⅡ	8月23日(火)				—	—	—	—		—	99
311	小学校理科授業力向上講座シリーズⅢ	1月31日(火)				—	—	—	—		—	

\* 1…該当年期のページに記載(記載のないものは総単位数へ加算)

\* 2…「単位制履修制度の概要」ページに記載

◎ ……選択講座  
 — ……受講不可

○ ……選択講座外(総単位数へ加算)  
 指定…「単位制履修制度の概要」ページを参照

専門研修 教科												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年別			事務職員職位別				講師 対象	頁	
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任				事務 主任 ・ 専門 幹
						1 級	2 級	主任	係 長			
401	育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ	6月16日(木)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	101	
402	育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ	7月28日(木)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	101	
403	小学校国語科教育講座	8月31日(水)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	101	
404	小学校社会科教育講座	11月15日(火)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	102	
405	高等学校理科授業づくり講座	8月8日(月)	◎	○	○	—	—	—	—	○	102	
406	小学校家庭科講座～わかる授業づくりのためのICT活用～	8月25日(木)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	102	
407	小中外国語教育講座～思いを伝える授業づくり～	8月4日(木)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	103	
408	小学校実技どんとこい!音楽科&図画工作科講座～わくわく創作活動～	7月27日(水)	◎	○	○	—	—	—	—	○	103	
409	小学校実技どんとこい!理科&家庭科講座	7月29日(金)	◎	○	○	—	—	—	—	○	103	
410	小学校音楽科&図画工作科やってみよう!ICT講座	5月27日(金)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	104	
411	小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座	6月3日(金)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	104	
412	高等学校数学科教育講座	6月27日(月)	○	◎	○	—	—	—	—	○	104	
413	小中をつなぐ理科の見方・考え方講座	11月8日(火)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	105	
414	中高音楽「箏を奏でよう×タブレットで箏変奏曲を創ろう」講座	8月23日(火)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	105	
415	「我が国の伝統音楽」の指導と評価の一体化講座～能楽「教盛」を教材として～	10月21日(金)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	105	
416	中高国語科教育講座～探究的・問題解決型単元構想～	10月4日(火)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	106	
417	中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座	6月14日(火)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	106	
418	中高をつなぐ理科の指導と評価講座	10月7日(金)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	106	
419	最先端科学から学ぶ講座	10月28日(金)	○	◎	○	—	—	—	—	○	107	
420	【美術館連携】中高美術講座～対話で深める鑑賞～	12月2日(金)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	107	
421	幼小特支「子どもに寄り添う図画工作科の授業」講座～表現に学ぶ子どもの多様性～	8月25日(木)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	107	
422	<知っ得!内容B>中学校技術講座	8月23日(火)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	108	
423	中高家庭科講座～授業に生かす高齢者介護の基礎～	10月21日(金)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	108	
424	中高外国語科教育講座Ⅰ～思考力を育てる言語活動～	7月7日(木)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	108	
425	中高外国語科教育講座Ⅱ～学習評価の具体を探る～	12月9日(金)	◎	◎	○	—	—	—	—	○	109	
426	道徳科の授業実践力向上講座	6月10日(金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	109	
427	道徳教育の推進講座	10月24日(月)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	109	
428	中堅期へのジャンプアップ講座～「資質・能力」を育成する指導と評価～	7月29日(金)	◎	—	—	—	—	—	—	—	110	
429	学力充実講座Ⅰ～学習評価の工夫改善～	P.110参照	○	◎	○	—	—	—	—	—	110	
430	学力充実講座Ⅱ～全国学力・学習状況調査を授業改善に活かす～	11月4日(金)	○	○	○	—	—	—	—	○	110	

\*1…該当年期のページに記載(記載のないものは総単位数へ加算)

◎ ……選択講座  
 — ……受講不可

○ ……選択講座外(総単位数へ加算)  
 指定……「単位制履修制度の概要」ページを参照

専門研修 領域等												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年定期別			事務職員職位別				講師対象	頁	
			2 6 年 目	7 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任				事務 主任 ・ 専門 科
						1 級	2 級	主任	係 長			
501	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座	10月18日(火)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	113
502	人権教育講座Ⅰ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～	8月9日(火)	◎	◎	○	◎	◎	指定	指定	○	○	113
503	人権教育講座Ⅱ～同和問題を考える～	11月21日(月)	○	◎	○	◎	◎	指定	指定	○	○	113
504	生徒指導講座～学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図る～	11月8日(火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	114
505	特別活動講座～今こそ求められる特別活動の教育力～	7月8日(金)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	114
506	学級、ホームルーム経営講座～よりよい学級、ホームルームを創造する～	6月24日(金)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	114
507	情報モラル教育講座	5月19日(木)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	115
508	情報教育講座	8月3日(水)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	115
509	小学校プログラミング教育講座	9月2日(金)	◎	◎	○	—	—	—	—	—	—	115
510	中学校・高等学校プログラミング教育講座	9月5日(月)	◎	◎	○	—	—	—	—	—	○	116
511	京の教育「みやび」講座	11月7日(月)	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	—	116
512	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ～山城郷土資料館で学ぶ～	10月28日(金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	116
513	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～	11月4日(金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	117
514	図書館教育講座～調べ学習を支援する学習センターとしての在り方～	8月25日(木)	◎	◎	○	○	○	指定	指定	○	○	117
515	教育相談<初級>講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】	7月26日(火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	117
516	教育相談<中級>講座Ⅰ～事例を通して深める思春期・青年期の理解～【領域①】	10月28日(金)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	118
517	教育相談<中級>講座Ⅲ～子どもと保護者のこころの声を聴く～【領域③】	11月11日(金)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	118
518	教育相談<上級>講座Ⅱ～学校と医療とのよりよい連携に向けて～【領域②】	11月24日(木)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	118
519	「今を生きる子どものこころ」講座～自分を傷つけてしまう子どもたち～自傷、自殺を考える～	8月17日(水)	◎	◎	○	◎	◎	指定	指定	○	○	119
520	教職員のメンタルヘルズ講座～メンタルヘルズからウェルネスへ～	10月18日(火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	指定	○	○	119
521	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座	5月17日(火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	119
522	特別支援教育「知的障害のある児童生徒の指導とキャリア教育」講座	P.120 参照	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	120
523	特別支援教育「肢体不自由児童生徒への指導・支援」講座	7月29日(金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	120
524	特別支援教育「アセスメントを支援に生かす」講座(コーディネータースキルアップ講座)	8月19日(金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	120
525	特別支援教育コーディネーター養成講座【基礎】	P.121 参照	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	121
526	特別支援教育コーディネーター養成講座【実践】	8月30日(火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	121
527	特別支援教育「視覚障害のある児童生徒の授業づくり」講座	10月7日(金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	121
528	特別支援教育「読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援」講座～アセスメントと実践事例～	10月28日(金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	122
529	特別支援教育・京都教育大学サテライト「思春期・青年期における発達障害の特性理解」講座	11月1日(火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	122



◎ ……選択講座  
 — ……受講不可

○ ……選択講座外(総単位数へ加算)  
 指定……「単位制履修制度の概要」ページを参照

専門研修 コミュニケーション能力												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年次別			事務職員職位別				講師 対象	頁	
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任				事務 主任 ・ 専門 科
						1 級	2 級	主任	係 長			
601	コミュニケーション基礎講座～ビジネスマナーから考える～(企業連携)	6月21日(火)	◎	○	○	◎	指定	指定	指定	○	○	125
602	コミュニケーション講座～職場実践に生かす～(企業連携)	8月19日(金)	○	◎	○	◎	◎	指定	指定	○	—	125
603	コミュニケーション発展講座～人材育成に生かす～(企業連携)	10月31日(月)	—	◎	○	—	○	◎	指定	○	—	125
604	子どもの力を引き出す教育コーチング講座(企業連携)	6月27日(月)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	126
605	学校運営に生かすコーチング講座(企業連携)	10月14日(金)	—	◎	○	—	○	◎	指定	○	—	126
専門研修 チームマネジメント能力												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年次別			事務職員職位別				講師 対象	頁	
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任				事務 主任 ・ 専門 科
						1 級	2 級	主任	係 長			
701	危機管理講座	7月1日(金)	—	○	○	—	—	—	—	○	—	129
702	教育法規演習講座～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～	P.129 参照	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	—	129
703	学校内外環境分析講座～学校の強みを生かした特色づくり～	9月27日(火)	—	◎	○	—	◎	◎	◎	○	—	129
704	地域の教育活性化とスクールリーダー講座	11月11日(金)	—	◎	○	—	◎	◎	◎	○	—	130
705	企業から学ぶマネジメント講座～経営哲学から学ぶ～(企業連携)	11月29日(火)	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	—	130
706	多忙化への対応とセルフマネジメント講座(企業連携)	10月7日(金)	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	—	—	130
707	ファシリテーション講座～会議運営に生かす～(企業連携)	7月25日(月)	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	—	131
708	学びづくりのカリキュラム・マネジメント講座	8月17日(水)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	131
709	学校運営のためのカリキュラム・マネジメント講座	9月30日(金)	○	◎	○	—	◎	◎	◎	○	○	131
710	最新教育動向講座Ⅰ	6月17日(金)	○	◎	○	○	○	○	○	○	—	132
711	最新教育動向講座Ⅱ	11月22日(火)	—	—	○	○	◎	◎	◎	○	—	132

◎ ……選択講座  
 — ……受講不可

○ ……選択講座外(総単位数へ加算)  
 指定…「単位制履修制度の概要」ページを参照

専門研修 職能別等												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年定期別			事務職員職位別					講師対象	頁
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門幹		
						1 級	2 級	主任	係 長			
801	校長講座	6月20日(月)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	135
802	副校長・教頭・事務長講座	10月25日(火)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	135
803	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座	P.135 参照	—	—	—	—	—	—	—	—	—	135
804	管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座	5月20日(金)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	136
805	養護教諭講座	8月17日(水)	◎	◎	○	—	—	—	—	—	○	136
806	栄養教諭・学校栄養職員講座	8月3日(水)	◎	◎	○	—	—	—	—	—	○	136
807	校務講座	8月4日(木)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	137
808	学校事務職員(実務初任者向け)講座	7月5日(火)	—	—	—	◎	◎	◎	◎	○	○	137
809	学校事務職員パワーアップ講座Ⅰ	7月25日(月)	—	—	—	◎	指定	指定	○	○	○	137
810	学校事務職員パワーアップ講座Ⅱ	9月26日(月)	—	—	—	○	○	指定	指定	○	○	138
811	府立学校副校長講座シリーズⅠ	8月5日(金)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	138
812	府立学校副校長講座シリーズⅡ	10月3日(月)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	138
813	新任管理職「ハラスメント防止」講座	P.139 参照	—	—	—	—	—	—	—	—	—	139
814	府立学校新任事務長講座	5月20日(金)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	139

特別研修												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年定期別			事務職員職位別					講師対象	頁
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門幹		
						1 級	2 級	主任	係 長			
851	絵本のひみつ講座～絵本の仕掛けと読み聞かせの意義を探る～(奈良県連携)	8月22日(月)	◎	◎	○	—	—	—	—	—	—	141
852	子どもの貧困と学習支援講座	8月23日(火)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	141

講師対象講座														
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年定期別			事務職員職位別					講師対象	頁		
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門幹				
						1 級	2 級	主任	係 長					
KT1	講師対象講座Ⅰ	P.159 参照	/			—	—	—	—	—	○	159		
KT2	講師対象講座Ⅱ(センター)	5月24日(火)				—	—	—	—	—	—	—	○	159
KT3	講師対象講座Ⅱ(北部)	5月27日(金)				—	—	—	—	—	—	—	○	159

## 研修講座日程・会場表

※オンライン研修・オンデマンド研修・Web+研修が含まれる講座については、「外部会場・各所属校(園)」の欄に記載しています。  
 ※会場が複数設定されている講座がありますので、詳細は「研修講座の実施概要」(P. 50～)で御確認ください。

### 4月

必修講座 (初任期育成研修)								選択・推薦講座 (中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。)												
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	
1	金							100	共通・開講式等(七)	55										
								101	共通・開講式等(北)	55										
14	木	102	共通・スタートa	55																
19	火	201	学校事務職員1	87																
		206	学校施設管理職員1	88																
21	木	103	共通・スタートb	56																
25	月																	803	新任副校長・教頭・事務長【視聴開始】	135
																		KT1	講師対象I【視聴開始】	159

### 5月

必修講座 (初任期育成研修)								選択・推薦講座 (中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。)												
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	
12	木	122	小・教科1A(七)	62	123	小・教科1A(北)	62													
		153	高・教科1(七)	72	154	高・教科1(北)	73													
		198	実習助手1【農業・工業担当】	86	198	実習助手1【理科担当】	86													
17	火																	621	特支・基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導	119
19	木	124	小・教科1B(七)	63	125	小・教科1B(北)	63											607	情報モラル教育	115
		139	中・教科1(七)	68	140	中・教科1(北)	68													
20	金										814	新任事務長	139					804	管理職講座	136
23	月																	251	中堅・共通I【視聴開始】	93
24	火																	KT2	講師対象II(七)	159
26	木	118	初・学級経営・教育相談a	61	168	特支1	77													
		181	幼稚園1	80	198	実習助手1【自立活動担当】	86													
		184	養護教諭1	81																
		191	栄養教諭1	83																
27	金																	KT3	講師対象II(北)	159
																		410	小・音楽・図画工作・ICT	104
																		429	学力充実I【1回目】	110
31	火																	309	小・理科授業力向上シリーズI	98

必修講座（初任期育成研修）							選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）												
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁
2	木	119	初・学級経営・教育相談b	61															
		199	実習助手2	86															
3	金											411	小中・数学的な見方・考え方	104					
7	火				192	栄養教諭2	84					307	小・中事務職員リーダー養成 I	96					
9	木							108	共通・健康安全a	57									
10	金												426	道徳科の授業実践力向上	109				
13	月																522	特支・知的障害のある児童生徒のキャリア教育【視聴開始】	120
14	火																417	中高・社会科・地理歴史科・公民科	106
16	木	182	幼稚園2	80				109	共通・健康安全b	58	401	幼児教育・生活科 I	101						
17	金																710	最新教育動向 I	132
20	月																801	校長講座	135
21	火				185	養護教諭2	81	202	学校事務職員2	87							601	コミュニケーション基礎	125
								204	学校図書館司書1	88									
								207	学校施設管理職員2	89									
23	木							126	小・教科2A(セ)	63									
								127	小・教科2A(北)	64									
								155	高・教科2(セ)	73									
								156	高・教科2(北)	73									
								169	特支2	78									
24	金												301	ミドルリーダー養成 I	97	506	学級・ホームルーム経営	114	
27	月											604	教育コーチング	126	412	高・数学	104		
28	火											304	組織マネジメント特別シリーズ I						
30	木							128	小・教科2B(セ)	64									
								129	小・教科2B(北)	64									
								141	中・教科2(セ)	68									
								142	中・教科2(北)	69									
								156	高・教科2(北)【音楽】	73									

必修講座（初任期育成研修）							選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）												
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁
1	金											701	危機管理	129					
5	火	203	学校事務職員3	87								808	学校事務職員(実務初任者)	137					
		208	学校施設管理職員3	89															
7	木	157	高・教科3(セ)	74	158	高・教科3(北)	74	158	高・教科3(北)【保体】	74	424	中高・外国語科 I	108						
		143	中・教科3(セ)【外国語】	69				175	特支・授業参観	80									
8	金											505	特別活動	114					
21	木	137	小・総合・外国語・I CT活用A	67													813	新任管理職【視聴開始】	139
22	金	138	小・総合・外国語・I CT活用B	67															
25	月				186	養護教諭3	82	221	2年目・ステップ1【視聴開始】	90	707	ファシリテーション	131				252	中堅・共通II a	93
					193	栄養教諭3	84				809	学校事務職員パワーアップ I	137						
26	火							104	共通・伝統文化a	56	515	教育相談<初級>	117						
27	水							105	共通・伝統文化b	56					408	小・音楽・図画工作	103		
28	木	183	幼稚園3	81				106	共通・伝統文化c	57	402	幼児教育・生活科II	101	986	教育相談<初級>【免許】	148			
											983	幼児教育・生活科II【免許】	147						
29	金							107	共通・伝統文化d	57	428	中堅期・ジャンプアップ	110	409	小・理科・家庭科	103			
											523	特支・肢体不自由児童生徒への指導・支援	120						

必修講座（初任期育成研修）							選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）												
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁
1	月							115	共通・人権教育・生徒指導(七)	60							525	特支・コーディネーター養成【基礎】【視聴開始】	121
																	702	教育法規【視聴開始】	129
2	火							117	初・地域連携・情報教育【視聴開始】	60	981	中堅・共通Ⅱ【免許】	147				253	中堅・共通Ⅱb	93
3	水			194		栄養教諭4	84				508	情報教育	115	806	栄養教諭・学校栄養職員	136			
											985	情報教育【免許】	147						
4	木	209	学校施設管理職員4	89	130	小・教科3	65				407	小中・外国語教育	103						
											807	校務講座	137						
5	金			131		小・教科4	65				811	府立・副校長シリーズⅠ	138						
8	月							116	共通・人権教育・生徒指導(北)	60				405	高・理科	102			
								170	特支3	78									
9	火	143	中・教科3(七)	69	144	中・教科3(北)	69				502	人権教育Ⅰ	113						
					158	高・教科3(北)【音楽・家庭】	74				984	人権教育Ⅰ【免許】	147						
17	水	20	初・道徳・特別支援(七)	61				187	養護教諭4	82				708	学びづくりのカリキュラム・マネジメント	131	519	今を生きる子どものこころ	119
													988	学びづくりのカリキュラム・マネジメント【免許】	148	805	養護教諭	136	
18	木			121		初・道徳・特別支援(北)	62				982	中堅・共通Ⅲ【免許】	147				254	中堅・共通Ⅲa	94
19	金	132	小・教科5	65									987	特支・アセスメントを支援に生かす【免許】	148	524	特支・アセスメントを支援に生かす	120	
																602	コミュニケーション	125	
22	月	222	2年目・ステップ2a(七)	90	223	2年目・ステップ2a(北)	90										851	絵本のひみつ(奈良)	141
23	火	224	2年目・ステップ2b(七)	91	144	中・教科3(北)【技術】	69						310	小・理科授業力向上シリーズⅡ	99				
					223	2年目・ステップ2a(北)【技術】	90						414	中高・音楽	105				
													422	中・技術分野	108				
													852	子どもの貧困と学習支援	141				
													989	子どもの貧困と学習支援【免許】	148				
24	水																255	中堅・共通Ⅲb	94
25	木						205	学校図書館司書2	88	421	幼小特支・図画工作科	107	406	小・家庭科	102	514	図書館教育	117	
30	火												526	特支・コーディネーター養成【実践】	121				
31	水										403	小・国語科	101						

必修講座（初任期育成研修）							選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）												
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁
1	木	111	共通・コミュニケーションa	58															
2	金										509	小・プログラミング教育	115						
5	月										510	中高・プログラミング	116						
6	火	188	養護教諭5	82															
8	木	112	共通・コミュニケーションb	59															
13	火							195	栄養教諭5	85									
15	木	171	特支4	78				152	中・総合・キャリア	72									
								167	高・総合・キャリア	77									
16	金										305	組織マネジメント特別シリーズⅡ							
26	月										810	学校事務職員パワーアップⅡ	138						
27	火										302	ミドルリーダー養成Ⅱ	97				703	学校内外環境分析	129
29	木	145	中・教科4(七)	70	146	中・教科4(北)	70	146	中・教科4(北)【保体】	70									
		159	高・教科4(七)【地歴・公民】	74	160	高・教科4(北)【音楽・家庭】	75												
30	金										709	学校運営のためのカリキュラム・マネジメント	131						



10月

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）											
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁
3	月											812	府立・副校長シリーズII	138					
4	火											416	中高・国語科	106					
6	木	113	共通・コミュニケーションc	59															
7	金											418	中高・理科の指導と評価	106			527	特支・視覚障害のある児童生徒の授業づくり	121
																	706	セルフマネジメント	130
13	木	159	高・教科4(七)	74	160	高・教科4(北)	75	135	小・授業参観A	66									
								160	高・教科4(北)【保体】	75									
14	金																605	学校運営コーチング	126
18	火											520	教職員のメンタルヘルス	119			501	総合的な学習(探究)の時間	113
20	木							151	中・授業参観	72									
								172	特支5	79									
								189	養護教諭6	83									
21	金											415	音楽・指導と評価の一体化	105	423	中高・家庭科	109		
24	月											427	道徳教育の推進	109					
25	火																802	副校長・教頭・事務長	135
27	木	114	共通・コミュニケーションd	59															
28	金											516	教育相談<中級> I	118			419	最先端科学	107
												528	特支・読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援	122			512	地域教材を活かした授業 I	116
31	月																603	コミュニケーション発展	125

11月

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）												
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	
1	火																	529	特支・思春期・青年期における発達障害の特性理解	122
4	金																	430	学力充実II	110
																		513	地域教材を活かした授業II	117
7	月				200	実習助手・ステップ	86					511	京の教育「みやび」	116						
8	火							196	栄養教諭6	85								413	小中・理科の見方・考え方	105
																		504	生徒指導	114
10	木	161	高・教科5(七)	75	162	高・教科5(北)	75	136	小・授業参観B	67										
11	金											303	ミドルリーダー養成III	97	517	教育相談<中級> III	118	704	地域の教育とスクールリーダー	130
15	火																	404	小・社会科	102
17	木	147	中・教科5(七)	70	148	中・教科5(北)	71													
		173	特支6	79																
18	金											306	組織マネジメント特別シリーズIII							
21	月																	503	人権教育II	113
22	火																	711	最新教育動向II	132
24	木											518	教育相談<上級> II	118						
28	月																	256	中堅・共通IVa	94
29	火																	705	企業から学ぶマネジメント	130

12月

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）											
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁
1	木	163	高・教科6(七)	76	164	高・教科6(北)	76												
2	金																420	中高・美術	107
6	火	197	栄養教諭7	85	190	養護教諭7	83												
9	金											425	中高・外国語科Ⅱ	109					
12	月																257	中堅・共通IVb	95
26	月	223	2年目・ステップ3(七)	91	226	2年目・ステップ3(北)	91												

1月

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）											
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁
12	木	133	小・教科6A	66	166	高・教科7(北)	77												
		165	高・教科7(七)	76															
17	火													308	小・中事務職員リーダー養成Ⅱ	98			
19	木	134	小・教科6B	66															
20	金																258	中堅・共通Va	95
24	火																259	中堅・共通Vb	95
26	木	149	中・教科6(七)	71	150	中・教科6(北)	71	174	特支7	79									
					166	高・教科7(北)【音楽・家庭】	77												
31	火											429	学力充実Ⅰ【2回目】	110	311	小・理科授業力向上シリーズⅢ	99		

2月

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）											
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場・各所属校(園)	頁
2	木	110	共通・教育実践	58															

## 「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」との対応一覧

本表は基本研修を除く各研修講座が「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」における観点、ステージにそれぞれどのように対応しているかを示しています。

- ・それぞれの講座において主とする観点により整理しています。
- ・主として対応するステージを示しています。経験が浅い、早いステージにおいては、各観点の資質能力をバランスよく身に付けるために、また、一定の経験を積んだ段階においては、興味・関心や勤務校で求められる内容などに対応するために受講することも可能です。
- ・各講座の受講対象の詳細については「研修講座一覧」ページ、「研修講座の実施概要」ページを御覧ください。

- ◎ ……主として対応するステージ  
○ ……受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
基本的 資質能力	601 コミュニケーション基礎講座～ビジネスマナーから考える～(企業連携)	◎	○	○	○	
	520 教職員のメンタルヘルス講座～メンタルヘルスからウェルネスへ～	○	◎	○	○	
	602 コミュニケーション講座～職場実践に生かす～(企業連携)	○	◎	○	○	
	851 絵本のひみつ講座 ～絵本の仕掛けと読み聞かせの意義を探る～(奈良県連携)	○	◎	○	○	
	801 校長講座				◎	
	802 副校長・教頭・事務長講座				◎	
	803 新任副校長・新任教頭・新任事務長講座				◎	
	811 府立学校副校長講座シリーズⅠ				◎	
	812 府立学校副校長講座シリーズⅡ				◎	
	813 新任管理職「ハラスメント防止」講座				◎	
人権	527 特別支援教育「視覚障害のある児童生徒の授業づくり」講座	◎	○	○	○	
	502 人権教育講座Ⅰ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～	○	◎	○	○	
	503 人権教育講座Ⅱ～同和問題を考える～	○	◎	○	○	
	852 子どもの貧困と学習支援講座	○	○	◎	○	

- ◎ ……主として対応するステージ  
○ ……受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
学習指導	405 高等学校理科授業づくり講座	◎	○	○	○	
	408 小学校実技どんとこい！音楽科&図画工作科講座～わくわく創作活動～	◎	○	○	○	
	409 小学校実技どんとこい！理科&家庭科講座	◎	○	○	○	
	410 小学校音楽科&図画工作科やってみよう！ICT講座	◎	○	○	○	
	422 <知っ得！内容B>中学校技術講座	◎	○	○	○	
	426 道徳科の授業実践力向上講座	◎	○	○	○	専門領域と重複
	428 中堅期へのジャンプアップ講座～「資質・能力」を育成する指導と評価～	◎	○	○	○	
	523 特別支援教育「肢体不自由児童生徒への指導・支援」講座	◎	○	○	○	専門領域と重複
	309 小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ	○	◎	○	○	
	310 小学校理科授業力向上講座シリーズⅡ	○	◎	○	○	
	311 小学校理科授業力向上講座シリーズⅢ	○	◎	○	○	
	401 育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ	○	◎	○	○	
	402 育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ	○	◎	○	○	
	403 小学校国語科教育講座	○	◎	○	○	
	404 小学校社会科教育講座	○	◎	○	○	
	406 小学校家庭科講座～わかる授業づくりのためのICT活用～	○	◎	○	○	
	407 小中外国語教育講座～思いを伝える授業づくり～	○	◎	○	○	
	411 小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座	○	◎	○	○	
	413 小中をつなぐ理科の見方・考え方講座	○	◎	○	○	
	415 「我が国の伝統音楽」の指導と評価の一体化講座 ～能楽「教養」を教材として～	○	◎	○	○	
	416 中高国語科教育講座～探究的・問題解決型単元構想～	○	◎	○	○	
	417 中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座	○	◎	○	○	
	418 中高をつなぐ理科の指導と評価講座	○	◎	○	○	
	419 最先端科学から学ぶ講座	○	◎	○	○	
	420 【美術館連携】中高美術講座～対話で深める鑑賞～	○	◎	○	○	
	421 幼小特支「子どもに寄り添う図画工作科の授業」講座 ～表現に学ぶ子どもの多様性～	○	◎	○	○	
	423 中高家庭科講座～授業に生かす高齢者介護の基礎～	○	◎	○	○	
	424 中高外国語科教育講座Ⅰ～思考力を育てる言語活動～	○	◎	○	○	
	425 中高外国語科教育講座Ⅱ～学習評価の具体を探る～	○	◎	○	○	
	427 道徳教育の推進講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	430 学力充実講座Ⅱ～全国学力・学習状況調査を授業改善に活かす～	○	◎	○	○	
	501 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	508 情報教育講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	509 小学校プログラミング教育講座	○	◎	○	○	
	510 中学校・高等学校プログラミング教育講座	○	◎	○	○	
	514 図書館教育講座～調べ学習を支援する学習センターとしての在り方～	○	◎	○	○	専門領域と重複
	528 特別支援教育「読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援」講座 ～アセスメントと実践事例～	○	◎	○	○	専門領域と重複
	412 高等学校数学科教育講座	○	○	◎	○	
	414 中高音楽「筆を奏でよう×タブレットで筆変奏曲を創ろう」講座	○	○	◎	○	
	429 学力充実講座Ⅰ～学習評価の工夫改善～	○	○	◎	○	

- ◎ ……主として対応するステージ  
○ ……受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
生徒指導	521 特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座	◎	○	○	○	専門領域と重複
	522 特別支援教育「知的障害のある児童生徒の指導とキャリア教育」講座	◎	○	○	○	専門領域と重複
	504 生徒指導講座～学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図る～	○	◎	○	○	専門領域と重複
	505 特別活動講座～今こそ求められる特別活動の教育力～	○	◎	○	○	専門領域と重複
	506 学級、ホームルーム経営講座～よりよい学級、ホームルームを創造する～	○	◎	○	○	専門領域と重複
	507 情報モラル教育講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	515 教育相談<初級>講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】	○	◎	○	○	専門領域と重複
	516 教育相談<中級>講座Ⅰ～事例を通して深める思春期・青年期の理解～【領域①】	○	◎	○	○	専門領域と重複
	517 教育相談<中級>講座Ⅲ～子どもと保護者のこころの声を聴く～【領域③】	○	◎	○	○	専門領域と重複
	519 「今を生きる子どものこころ」講座～自分を傷つけてしまう子どもたち―自傷、自殺を考える～	○	◎	○	○	専門領域と重複
	604 子どもの力を引き出す教育コーチング講座(企業連携)	○	◎	○	○	専門領域と重複
	518 教育相談<上級>講座Ⅱ～学校と医療とのよりよい連携に向けて～【領域②】	○	○	◎	○	専門領域と重複
	529 特別支援教育・京都教育大学サテライト「思春期・青年期における発達障害の特性理解」講座	○	○	◎	○	専門領域と重複
	専門領域 養護教諭としての専門領域 ・ 栄養教諭としての専門領域	426 道徳科の授業実践力向上講座	◎	○	○	○
521 特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座		◎	○	○	○	
522 特別支援教育「知的障害のある児童生徒の指導とキャリア教育」講座		◎	○	○	○	
523 特別支援教育「肢体不自由児童生徒への指導・支援」講座		◎	○	○	○	
427 道徳教育の推進講座		○	◎	○	○	
501 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座		○	◎	○	○	
504 生徒指導講座～学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図る～		○	◎	○	○	
505 特別活動講座～今こそ求められる特別活動の教育力～		○	◎	○	○	
506 学級、ホームルーム経営講座～よりよい学級、ホームルームを創造する～		○	◎	○	○	
507 情報モラル教育講座		○	◎	○	○	
508 情報教育講座		○	◎	○	○	
514 図書館教育講座～調べ学習を支援する学習センターとしての在り方～		○	◎	○	○	
515 教育相談<初級>講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】		○	◎	○	○	
516 教育相談<中級>講座Ⅰ～事例を通して深める思春期・青年期の理解～【領域①】		○	◎	○	○	
517 教育相談<中級>講座Ⅲ～子どもと保護者のこころの声を聴く～【領域③】		○	◎	○	○	
519 「今を生きる子どものこころ」講座～自分を傷つけてしまう子どもたち―自傷、自殺を考える～		○	◎	○	○	
528 特別支援教育「読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援」講座～アセスメントと実践事例～		○	◎	○	○	
604 子どもの力を引き出す教育コーチング講座(企業連携)		○	◎	○	○	
805 養護教諭講座		○	◎	○	○	養護教諭のみ
806 栄養教諭・学校栄養職員講座		○	◎	○	○	栄養教諭のみ
518 教育相談<上級>講座Ⅱ～学校と医療とのよりよい連携に向けて～【領域②】		○	○	◎	○	
529 特別支援教育・京都教育大学サテライト「思春期・青年期における発達障害の特性理解」講座		○	○	◎	○	



- ◎ ……主として対応するステージ  
○ ……受講することが可能なステージ


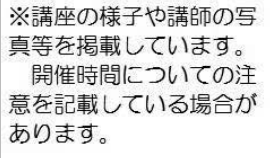

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
マネジメント	705 企業から学ぶマネジメント講座～経営哲学から学ぶ～(企業連携)	○	◎	○	○	
	706 多忙化への対応とセルフマネジメント講座(企業連携)	○	◎	○	○	
	707 ファシリテーション講座～会議運営に生かす～(企業連携)	○	◎	○	○	
	708 学びづくりのカリキュラム・マネジメント講座	○	◎	○	○	
	710 最新教育動向講座Ⅰ	○	◎	○	○	
	301 ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ		○	◎	○	
	302 ミドルリーダー養成講座シリーズⅡ		○	◎	○	
	702 教育法規演習講座～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～	○	○	◎	○	
	703 学校内外環境分析講座～学校の強みを生かした特色づくり～		○	◎	○	
	709 学校運営のためのカリキュラム・マネジメント講座	○	○	◎	○	
	701 危機管理講座	○	○	○	◎	
	804 管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座				◎	
チーム学校	525 特別支援教育コーディネーター養成講座【基礎】	◎	○	○	○	
	526 特別支援教育コーディネーター養成講座【実践】	○	◎	○	○	
	303 ミドルリーダー養成講座シリーズⅢ		○	◎	○	
	524 特別支援教育「アセスメントを支援に生かす」講座 (コーディネータースキルアップ講座)	○	○	◎	○	
	603 コミュニケーション発展講座～人材育成に生かす～(企業連携)		○	◎	○	
	605 学校運営に生かすコーチング講座(企業連携)		○	◎	○	
	704 地域の教育活性化とスクールリーダー講座		○	◎	○	
	711 最新教育動向講座Ⅱ			○	◎	
京都ならではの教育	512 地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ～山城郷土資料館で学ぶ～	○	◎	○	○	
	513 地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～	○	◎	○	○	
	511 京の教育「みやび」講座	○	○	◎	○	

# 研修講座の実施概要


## 研修講座の実施概要の見方

### 1 記載内容・アイコン・タブについて












#### (1) 記載内容

No.	講座名	ア 	
開催日時	令和 4年 4月 1日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	※講座を受講して身に付けてほしい力量、 また、自らの行動変容とともに、組織へ波及 してほしい内容を記載しています。
会 場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭、養、栄、寄、実(幼・小・中・義・ 高・特支) ※詳細は内容参照	定 員	100名
内 容	※予定の講師、研修講座の内容を記載しています。 受講対象の注意事項を記載している場合があります。		ウ  ※講座の様子や講師の写真等を掲載しています。 開催時間についての注 意を記載している場合が あります。
連絡先	※問い合わせ・連絡先を記載しています。		主な指標の観点 

ア 受講制限を表すアイコン

 …教育局長、府立学校長の推薦を受けた者が受講可能な講座

イ 研修形態を表すタブ

	研修形態	会場
	集合研修 (分散会場の場合も含む。)	京都府総合教育センター 他
	オンライン研修 ※受講方法等はP 1 5 1	各所属校 (園)
	オンデマンド研修 ※受講方法等はP 1 5 2	各所属校 (園)
 	集合・オンライン研修	各所属校 (園) 又は京都府総合教育センター 他
   	Web+研修 (集合) ※受講方法等はP 1 5 3	各所属校 (園) 及び京都府総合教育センター 他
 	Web+研修 (オンライン) ※受講方法等はP 1 5 4	各所属校 (園)

※研修形態の補足

分散会場・・・集合した会場内にて複数の研修室で講座(遠隔会議システムを使用)を受講します。

オンライン研修・・・各所属校(園)にて遠隔会議システムを使った講座を受講します。

オンデマンド研修・・・動画による講座を視聴します。

集合・オンライン研修・・・集合研修又はオンライン研修を選んで受講します。

Web+研修(集合)・・・オンデマンド研修と集合研修にて講座を受講します。

Web+研修(オンライン)・・・オンデマンド研修とオンライン研修にて講座を受講します。

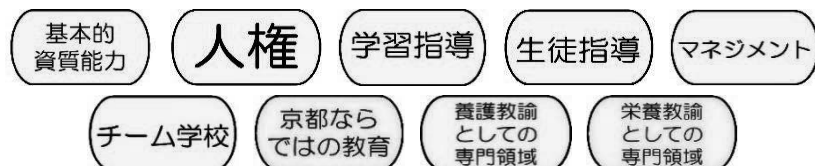
ウ 講座の開始時間

基本的な講座の開始時間

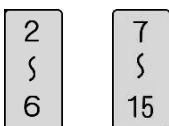
- ・午前から：10時30分開始
- ・午後から：1時開始

※これ以外の開始時間については、「内容」欄に記載しています。

エ 主な指標の観点を表すアイコン



オ 各年期(ステージ)の選択講座として該当する年期を表すタブ



※タブがついている講座を受講すると、それぞれのタブの年期の選択講座として単位認定されます。(研修履歴一覧表には「◎」で表記されます。)

2 受講対象の略記について

(1) 表記の順序

【対象限定※1】 職種※2 (校種※3) <地域等の指定※4>

(2) 略記の対応表

※1 基本研修について	略記
初任者研修(小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校で初任者研修対象教諭)	【初任者】
新規採用者研修(令和4年度に採用された幼稚園教諭・養護教諭・栄養教諭 等)	【新採】
上記の初任者研修と新規採用者研修を合同実施	【初・新】
2年目教員ステップアップ研修(令和4年度該当者)	【2年目】
中堅教諭等資質向上研修(令和4年度該当者)	【中堅教諭等】

※2 職種について	略記
全ての職種を対象	全教職員
副校長・教頭	副・頭
総括主事	総
養護教諭	養
栄養教諭・学校栄養職員	栄
学校図書館司書	司
事務職員	事
府立学校技術職員	技
学校施設管理職員	施
寄宿舎指導員	寄
技術職員(船舶乗組員)	船
実習教諭・実習助手	実

※副校長は首席副校長、副園長を含みます。  
 ※教諭(〇〇担当教諭)と表記している場合は、主幹教諭、指導教諭、教諭を全て含みます。

※3 校種について	略記
幼稚園	幼
小学校	小
中学校	中
義務教育学校	義
義務教育学校前期課程	義前
義務教育学校後期課程	義後
高等学校	高
特別支援学校	特支

※校種の前に複数の職種を表記している場合は、全ての職種が( )内の校種に該当します。

※4 地域等の指定について	略記
南部地域の学校	南
北部地域の学校	北

※乙訓・山城・南丹教育局管内の小・中・義務教育学校は南部地域の学校、中丹・丹後教育局管内の小・中学校は北部地域の学校です。府立学校の詳細については、事前の講座で連絡します。


各ページに記載している研修講座の内容等は予定です。  
 確定した内容等は「実施要項」として、講座実施日の前月15日を目処に京都府総合教育センターホームページ(I T E C)に掲載しますので、必ず確認してください。






基 本 研 修  
(初任期育成研修)




No. 100	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座（センター）		
開催日時	令和 4年 4月 1日（金）	講座のねらい	教職員としての自覚と心構えをもち、セルフマネジメントの必要性を理解するとともに、初任期育成研修について概要を理解する。
会場	当日：京都府総合教育センター 辞令交付式出席後：各所属校（園）		
受講対象	【初・新】教諭（小・中・義・高・特支）、 養、栄、司、事、施、実 ※別途通知	定員	※該当者は全員受講
内容	オフィスSACRA 代表 櫻井 直子  教職員としての自覚と心構えをもち、セルフマネジメントの必要性について学ぶ。  ※集合研修受講後、オンデマンド研修を受講すること。 ※Web＋研修（集合）の受講についてはP153を参照		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		







No. 101	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座（北部）		
開催日時	令和 4年 4月 1日（金）	講座のねらい	教職員としての自覚と心構えをもち、セルフマネジメントの必要性を理解するとともに、初任期育成研修について概要を理解する。
会場	当日：京都府総合教育センター北部研修所 辞令交付式出席後：各所属校（園）		
受講対象	【初・新】教諭（小・中・高・特支）、 養、栄、司、事、施、船、実 ※別途通知	定員	※該当者は全員受講
内容	オフィスSACRA 代表 櫻井 直子  教職員としての自覚と心構えをもち、セルフマネジメントの必要性について学ぶ。  ※集合研修受講後、オンデマンド研修を受講すること。 ※Web＋研修（集合）の受講についてはP153を参照		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		




No. 102	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座 a		
開催日時	令和 4年 4月14日（木）10:30～17:00	講座のねらい	京都府の教育の基本的な視点を理解し、自らの教育活動への展望をもち。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭（小A・中A・義A・特支A B）、養、栄、司、事、施、実 ※実習助手は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	研修講座の概要等について理解する。 京都府の人権教育及び特別支援教育の基本的な視点について学ぶ。 教育課程や教科教育の在り方について学ぶ。 教職員としての役割や基本的な職務の内容について学ぶ。  ※自立活動の実習助手は4月14日（木）に参加すること。 ※自立活動以外の実習助手は4月21日（木）に参加すること。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No. 103	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座b			
開催日時	令和 4年 4月21日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	京都府の教育の基本的な視点を理解し、自らの教育活動への展望をもつ。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	【初・新】教諭(幼・小B・中B・義B・高AB)、実 ※実習助手は内容参照	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>研修講座の概要等について理解する。          京都府の人権教育及び特別支援教育の基本的な視点について学ぶ。          教育課程や教科教育の在り方について学ぶ。          教職員としての役割や基本的な職務の内容について学ぶ。</p> <p>※自立活動の実習助手は4月14日(木)に参加すること。          ※自立活動以外の実習助手は4月21日(木)に参加すること。</p>			
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)			


No. 104	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座a			
開催日時	令和 4年 7月26日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統や文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。	
会場	京都伝統工芸大学校			
受講対象	【初・新】教諭(幼・高A)、養、実	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>京都伝統工芸大学校 教職員等</p> <p>京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度を育む教育活動について学ぶ。</p>			
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)			

No. 105	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座b			
開催日時	令和 4年 7月27日(水) 10:30~17:00	講座のねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統や文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。	
会場	京都伝統工芸大学校			
受講対象	【初・新】教諭(小A・中A・義A)、栄	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>京都伝統工芸大学校 教職員等</p> <p>京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度を育む教育活動について学ぶ。</p>			
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)			



No. 106	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座 c		
開催日時	令和 4年 7月28日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統や文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。
会場	京都伝統工芸大学校		
受講対象	【初・新】教諭(小B・中B・義B)	定員	※該当者は全員受講
内容	京都伝統工芸大学校 教職員等  京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度を育む教育活動について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 107	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座 d		
開催日時	令和 4年 7月29日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統や文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。
会場	京都伝統工芸大学校		
受講対象	【初・新】教諭(高B・特支AB)	定員	※該当者は全員受講
内容	京都伝統工芸大学校 教職員等  京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度を育む教育活動について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 108	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育」講座 a		
開催日時	令和 4年 6月 9日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	健康安全教育、防災教育の意義と役割について理解する。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【初・新】教諭(幼・小A・中A・義A・高A)、養、司、事、施、実	定員	※該当者は全員受講
内容	大阪教育大学附属池田小学校 教員  健康安全教育や防災教育の意義と役割について理解し、非常災害時の初期対応や日常の事故等の未然防止のための取組について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No. 109	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育」講座b		
開催日時	令和 4年 6月16日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	健康安全教育、防災教育の意義と役割について理解する。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【初・新】教諭(小B・中B・義B・高B・特支AB)、栄	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>大阪教育大学附属池田小学校 教員</p> <p>健康安全教育や防災教育の意義と役割について理解し、非常災害時の初期対応や日常の事故等の未然防止のための取組について学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 110	初任者・新規採用者研修等共通「教育実践」講座		
開催日時	令和 5年 2月 2日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	他の校種・職種の実践から学び、次年度以降の教育実践に向けた展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(幼・小・中・義・高・特支)、養、栄、実	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>初任者は1年間の研修のまとめを、新規採用者は「テーマ研修」のまとめを行う。</p> <p>自身の実践と比較検討しながら、各校種・職種の代表者の実践発表を聞き、2年目の教育実践及び研修への見通しをもつ。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		




No. 111	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座a		
開催日時	令和 4年 9月 1日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	幼児児童生徒及び保護者等と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学び、教職員としての資質向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(中A・義後A・特支A)、栄、司、事、施	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>オフィスSACRA 代表 櫻井 直子</p> <p>幼児児童生徒及び保護者と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学ぶとともに、コミュニケーション能力向上のための方策を見いだす。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		









No. 112	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座b		
開催日時	令和 4年 9月 8日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	幼児児童生徒及び保護者等と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学び、教職員としての資質向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(幼・中B・義後B・特支B)、養、実	定員	※該当者は全員受講
内容	オフィスSACRA 代表 櫻井 直子 幼児児童生徒及び保護者と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学ぶとともに、コミュニケーション能力向上のための方策を見いだす。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		



No. 113	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座c		
開催日時	令和 4年10月 6日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	幼児児童生徒及び保護者等と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学び、教職員としての資質向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(小A・義前A・高A)	定員	※該当者は全員受講
内容	オフィスSACRA 代表 櫻井 直子 幼児児童生徒及び保護者と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学ぶとともに、コミュニケーション能力向上のための方策を見いだす。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		



No. 114	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座d		
開催日時	令和 4年10月27日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	幼児児童生徒及び保護者等と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学び、教職員としての資質向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(小B・義前B・高B)	定員	※該当者は全員受講
内容	オフィスSACRA 代表 櫻井 直子 幼児児童生徒及び保護者と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学ぶとともに、コミュニケーション能力向上のための方策を見いだす。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

No. 115	初任者・新規採用者研修共通「人権教育・生徒指導」講座 (センター)		
開催日時	令和 4年 8月 1日 (月) 10:30~17:00	講座の ねらい	京都府の人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、指導力の向上を図る。 生徒指導上の課題やよりよい人間関係を育成する生徒指導の在り方について学ぶ。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【初・新】教諭(幼・小・中・義)〈南〉、 (高A・特支AB)、養〈南〉、栄〈南〉、 司〈南〉、事〈南〉、施〈南〉、実〈南〉	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府の人権教育の基本的な考え方について理解し、人権問題の重要な柱である同和問題についての認識を深める。</p> <p>「人権学習資料集」等の活用を通して、人権学習の進め方を具体的に学ぶ。</p> <p>生徒指導上の今日的な課題とその対応を学ぶとともに、児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導の在り方を学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 116	初任者・新規採用者研修共通「人権教育・生徒指導」講座(北部)		
開催日時	令和 4年 8月 8日 (月) 10:30~17:00	講座の ねらい	京都府の人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、指導力の向上を図る。 生徒指導上の課題やよりよい人間関係を育成する生徒指導の在り方について学ぶ。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【初・新】教諭(幼・小・中)〈北〉、 (高B)、養〈北〉、栄〈北〉、司〈北〉、事〈北〉、 施〈北〉、実〈北〉	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府の人権教育の基本的な考え方について理解し、人権問題の重要な柱である同和問題についての認識を深める。</p> <p>「人権学習資料集」等の活用を通して、人権学習の進め方を具体的に学ぶ。</p> <p>生徒指導上の今日的な課題とその対応を学ぶとともに、児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導の在り方を学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 117	初任者研修「地域連携・情報教育」講座		
開催日時	※内容参照	講座の ねらい	社会教育を推進するための重点課題について理解する。 情報教育の基礎的事項について理解し、 情報教育を推進する教職員としての正しい知識をもつ。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【初任者】教諭(小・中・義・高・特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府の社会教育について理解し、地域社会と連携した教育実践の方法を学ぶ。</p> <p>情報活用能力の育成と情報手段の適切な活用について学ぶ。</p> <p>※視聴期間 令和4年8月2日(火)~令和4年8月8日(月)</p> <p>※オンデマンド研修の受講についてはP152を参照</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		






No. 118	初任者研修「学級、ホームルーム経営・教育相談」講座 a		
開催日時	令和 4年 5月26日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた学級、ホームルーム経営の基本について学ぶ。 教育相談の基本的な考え方や具体的な対応について学ぶ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小A・中A・義A・高A)	定員	※該当者は全員受講
内容	学級、ホームルーム経営における担任としての基本的な実務や経営上の諸課題について学ぶ。 児童生徒理解の在り方や保護者との信頼関係づくりについて学び、教育相談に関する基本的な考え方を理解する。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		





No. 119	初任者研修「学級、ホームルーム経営・教育相談」講座 b		
開催日時	令和 4年 6月 2日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた学級、ホームルーム経営の基本について学ぶ。 教育相談の基本的な考え方や具体的な対応について学ぶ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小B・中B・義B・高B・特支AB)	定員	※該当者は全員受講
内容	学級、ホームルーム経営における担任としての基本的な実務や経営上の諸課題について学ぶ。 児童生徒理解の在り方や保護者との信頼関係づくりについて学び、教育相談に関する基本的な考え方を理解する。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 120	初任者研修「道徳教育・特別支援教育」講座(センター)		
開催日時	令和 4年 8月17日(水) 10:30~17:00	講座のねらい	道徳教育及び特別支援教育の趣旨を理解し、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小・中・義・特支〈南〉・(高A))	定員	※該当者は全員受講
内容	目標や内容、基本的な指導の在り方等、道徳教育の進め方について理解する。 「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業の在り方について、教材分析と発問づくりの演習を通して学ぶ。 発達障害について理解するとともに特別な配慮を必要とする児童生徒への指導・支援の在り方について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No. 121	初任者研修「道徳教育・特別支援教育」講座（北部）			
開催日時	令和 4年 8月18日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	道徳教育及び特別支援教育の趣旨を理解し、指導力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	【初任者】教諭（小・中・特支）〈北〉・（高B）	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>目標や内容、基本的な指導の在り方等、道徳教育の進め方について理解する。</p> <p>「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業の在り方について、教材分析と発問づくりの演習を通して学ぶ。</p> <p>発達障害について理解するとともに特別な配慮を必要とする児童生徒への指導・支援の在り方について学ぶ。</p>			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）			

No. 122	初任者研修「小学校教科教育1」講座A（センター）			
開催日時	令和 4年 5月12日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	「小学校教科教育」講座の見直しをもち、自身の課題を設定する。 国語科・算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解する。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	【初任者】教諭（小A・義A）〈南〉	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>「小学校教科教育」講座の概要について理解する。</p> <p>国語科・算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について学ぶ。</p> <p>教科教育における自身の課題を、議論により明確にする。</p>			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）			

No. 123	初任者研修「小学校教科教育1」講座A（北部）			
開催日時	令和 4年 5月12日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	「小学校教科教育」講座の見直しをもち、自身の課題を設定する。 国語科・算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解する。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	【初任者】教諭（小A）〈北〉	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>「小学校教科教育」講座の概要について理解する。</p> <p>国語科・算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について学ぶ。</p> <p>教科教育における自身の課題を、議論により明確にする。</p>			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）			



No. 124	初任者研修「小学校教科教育1」講座B（センター）		
開催日時	令和 4年 5月19日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	「小学校教科教育」講座の見直しをもち、自身の課題を設定する。 国語科・算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小B・義B）〈南〉	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>「小学校教科教育」講座の概要について理解する。 国語科・算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について学ぶ。 教科教育における自身の課題を、議論により明確にする。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No. 125	初任者研修「小学校教科教育1」講座B（北部）		
開催日時	令和 4年 5月19日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	「小学校教科教育」講座の見直しをもち、自身の課題を設定する。 国語科・算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（小B）〈北〉	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>「小学校教科教育」講座の概要について理解する。 国語科・算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について学ぶ。 教科教育における自身の課題を、議論により明確にする。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No. 126	初任者研修「小学校教科教育2」講座A（センター）		
開催日時	令和 4年 6月23日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	国語科及び算数科の授業を構想・展開するための具体的な方策を理解する。
会場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（小A・義A）〈南〉	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>自身の授業を分析することを通して、国語科及び算数科の授業を構想・展開するための具体的な方策を学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No. 127	初任者研修「小学校教科教育2」講座A（北部）		
開催日時	令和 4年 6月23日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	国語科及び算数科の授業を構想・展開するための具体的な方策を理解する。
会場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（小A）〈北〉	定員	※該当者は全員受講
内容	自身の授業を分析することを通して、国語科及び算数科の授業を構想・展開するための具体的な方策を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No. 128	初任者研修「小学校教科教育2」講座B（センター）		
開催日時	令和 4年 6月30日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	国語科及び算数科の授業を構想・展開するための具体的な方策を理解する。
会場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（小B・義B）〈南〉	定員	※該当者は全員受講
内容	自身の授業を分析することを通して、国語科及び算数科の授業を構想・展開するための具体的な方策を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No. 129	初任者研修「小学校教科教育2」講座B（北部）		
開催日時	令和 4年 6月30日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	国語科及び算数科の授業を構想・展開するための具体的な方策を理解する。
会場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（小B）〈北〉	定員	※該当者は全員受講
内容	自身の授業を分析することを通して、国語科及び算数科の授業を構想・展開するための具体的な方策を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		







No. 130	初任者研修「小学校教科教育3」講座		
開催日時	令和 4年 8月 4日(木) 10:00~16:30	講座の ねらい	実技等の指導を伴う教科について、学習指導要領や各教科の重点等を踏まえて、授業を進める上での基本的事項と留意点を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭(小・義)	定員	※該当者は全員受講
内容	次の教科から3教科の研修を行う。 理科：主体的に問題解決する力を育てる授業づくりの在り方 生活科：気付きの質を高める授業づくりの在り方 音楽科：豊かな情操を培う授業づくりの在り方 図画工作科：子どもの思いを大切にしたい授業づくりの在り方 家庭科：体験的に学ぶ授業づくりの在り方 体育科：身体能力の育成や知識の獲得を目指す授業づくりの在り方		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><b>午前10時 から開講</b></p> </div>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		



No. 131	初任者研修「小学校教科教育4」講座		
開催日時	令和 4年 8月 5日(金) 10:00~16:30	講座の ねらい	実技等の指導を伴う教科について、学習指導要領や各教科の重点等を踏まえて、授業を進める上での基本的事項と留意点を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭(小・義)	定員	※該当者は全員受講
内容	次の教科から3教科の研修を行う。 理科：主体的に問題解決する力を育てる授業づくりの在り方 生活科：気付きの質を高める授業づくりの在り方 音楽科：豊かな情操を培う授業づくりの在り方 図画工作科：子どもの思いを大切にしたい授業づくりの在り方 家庭科：体験的に学ぶ授業づくりの在り方 体育科：身体能力の育成や知識の獲得を目指す授業づくりの在り方		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><b>午前10時 から開講</b></p> </div>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		



No. 132	初任者研修「小学校教科教育5」講座		
開催日時	令和 4年 8月19日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	国語科及び算数科における学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小・義)	定員	※該当者は全員受講
内容	国語科及び算数科の授業を構想することを通して、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No. 133 初任者研修「小学校教科教育6」講座A			
開催日時	令和 5年 1月12日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	国語科及び算数科における授業実践について振り返ることを通して、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方について理解を深め、今後の実践の展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小A・義A)	定員	※該当者は全員受講
内容	国語科及び算数科における実践のまとめをする。 授業分析、研究協議を通して成果と課題を明らかにし、教科指導力の向上への見通しをもつ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 134 初任者研修「小学校教科教育6」講座B			
開催日時	令和 5年 1月19日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	国語科及び算数科における授業実践について振り返ることを通して、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方について理解を深め、今後の実践の展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小B・義B)	定員	※該当者は全員受講
内容	国語科及び算数科における実践のまとめをする。 授業分析、研究協議を通して成果と課題を明らかにし、教科指導力の向上への見通しをもつ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 135 初任者研修「小学校授業参観」講座A			
開催日時	令和 4年10月13日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	公開授業の参観を通して授業改善の方策について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府公立小学校 ※詳細は別途通知		
受講対象	【初任者】教諭(小A・義A)	定員	※該当者は全員受講
内容	公開授業の参観を通して、具体的な授業展開の在り方や指導と評価の工夫について学ぶ。 研究協議を通して、授業改善の方策を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		






No. 136	初任者研修「小学校授業参観」講座B		
開催日時	令和 4年11月10日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	公開授業の参観を通して授業改善の方策について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府公立小学校 ※詳細は別途通知		
受講対象	【初任者】教諭(小B・義B)	定員	※該当者は全員受講
内容	公開授業の参観を通して、具体的な授業展開の在り方や指導と評価の工夫について学ぶ。 研究協議を通して、授業改善の方策を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		





No. 137	初任者研修 「小学校総合的な学習の時間・外国語教育・ICT活用」講座A		
開催日時	令和 4年 7月21日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	総合的な学習の時間、外国語活動・外国語科における学習指導要領の趣旨を理解するとともに、ICTの効果的な活用方法を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小A・義A)	定員	※該当者は全員受講
内容	総合的な学習の時間、外国語活動・外国語科における学習指導要領の趣旨を理解する。 ICT活用の基本や効果的な活用方法を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 138	初任者研修 「小学校総合的な学習の時間・外国語教育・ICT活用」講座B		
開催日時	令和 4年 7月22日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	総合的な学習の時間、外国語活動・外国語科における学習指導要領の趣旨を理解するとともに、ICTの効果的な活用方法を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小B・義B)	定員	※該当者は全員受講
内容	総合的な学習の時間、外国語活動・外国語科における学習指導要領の趣旨を理解する。 ICT活用の基本や効果的な活用方法を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No. 139	初任者研修「中学校教科教育1」講座（センター）			
開催日時	令和 4年 5月19日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の在り方や教科の指導における基本的な考え方について理解を深める。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講	
内容	学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について学ぶ。			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）			

No. 140	初任者研修「中学校教科教育1」講座（北部）			
開催日時	令和 4年 5月19日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の在り方や教科の指導における基本的な考え方について理解を深める。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講	
内容	学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について学ぶ。			
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）			

No. 141	初任者研修「中学校教科教育2」講座（センター）			
開催日時	令和 4年 6月30日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を実践に生かした指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。	
会場	各所属校（園）			
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講	
内容	講義・演習等を通して授業設計の基本的な考え方、学習指導案の作成手順について学ぶ。			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）			




No. 142	初任者研修「中学校教科教育2」講座（北部）		
開催日時	令和 4年 6月30日（木）10:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を実践に生かした指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	講義・演習等を通して授業設計の基本的な考え方、学習指導案の作成手順について学ぶ。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		





No. 143	初任者研修「中学校教科教育3」講座（センター）		
開催日時	令和 4年 8月 9日（火）10:30～17:00	講座のねらい	教科の特質を生かした単元構想と指導と評価の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科担当教諭（中・義） ※外国語科担当教諭は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	講義・演習を通して授業設計の在り方を学ぶ。 指導と評価の在り方について学び、効果的な指導方法について理解する。 ※外国語科担当教諭は7月7日（木）に行います。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No. 144	初任者研修「中学校教科教育3」講座（北部）		
開催日時	令和 4年 8月 9日（火）10:30～17:00	講座のねらい	教科の特質を生かした単元（題材）構想と指導と評価の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科（中・義） ※技術・家庭科（技術分野）は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	講義・演習を通して授業設計の在り方を学ぶ。 指導と評価の在り方について学び、効果的な指導方法について理解する。 ※技術・家庭科（技術分野）担当教諭は8月23日（火）に行います。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 145	初任者研修「中学校教科教育4」講座（センター）			
開催日時	令和 4年 9月29日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講	
内容	学習指導の工夫について学び、模擬授業や研究協議を通して、自己の授業実践を振り返る。			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）			

No. 146	初任者研修「中学校教科教育4」講座（北部）			
開催日時	令和 4年 9月29日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所 ※保健体育科担当教諭は内容参照			
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講	
内容	学習指導の工夫について学び、模擬授業や研究協議を通して、自己の授業実践を振り返る。 ※保健体育科担当教諭は9：50～16：20にあやべ・日東精工アリーナで行います。			
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）			

No. 147	初任者研修「中学校教科教育5」講座（センター）			
開催日時	令和 4年11月17日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	効果的な指導と評価の工夫等、授業改善の具体的な方策を学び、教科指導力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講	
内容	学習指導における課題を整理し、模擬授業や研究協議を通して、効果的な指導の在り方について学ぶ。			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）			





No. 148	初任者研修「中学校教科教育5」講座（北部）		
開催日時	令和 4年11月17日（木）10:30～17:00	講座のねらい	効果的な指導と評価の工夫等、授業改善の具体的な方策を学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	学習指導における課題を整理し、模擬授業や研究協議を通して、効果的な指導の在り方について学ぶ。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		



No. 149	初任者研修「中学校教科教育6」講座（センター）		
開催日時	令和 5年 1月26日（木）10:30～17:00	講座のねらい	1年間の授業実践を振り返ることや、2年目に向けての研究計画を構想することを通して、教科指導力の向上への展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	実践発表や研究協議等を通して成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への見通しをもつ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No. 150	初任者研修「中学校教科教育6」講座（北部）		
開催日時	令和 5年 1月26日（木）10:30～17:00	講座のねらい	1年間の授業実践を振り返ることや、2年目に向けての研究計画を構想することを通して、教科指導力の向上への展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	実践発表や研究協議等を通して成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への見通しをもつ。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 151	初任者研修「中学校授業参観」講座		
開催日時	令和 4年10月20日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	公開授業の参観を通して授業改善の方策について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府公立中学校 ※詳細は別途通知		
受講対象	【初任者】教諭(中・義)	定員	※該当者は全員受講
内容	授業参観の視点及び授業分析の基礎について学ぶとともに、公開授業の参観を通して、自己の授業実践を振り返り、効果的な授業展開や指導と評価の工夫等、授業力向上の方策について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 152	初任者研修「中学校総合的な学習の時間・キャリア教育」講座		
開催日時	令和 4年 9月15日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	総合的な学習の時間、キャリア教育の基本的な事項について学び、指導力の向上を図る。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【初任者】教諭(中・義)	定員	※該当者は全員受講
内容	総合的な学習の時間の目標、指導と評価等について学ぶ。 キャリア教育の意義やその実践の在り方等について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 153	初任者研修「高等学校教科教育1」講座(センター)		
開催日時	令和 4年 5月12日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた教科指導の在り方や基本的な考え方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、商業科、水産科担当教諭(高)	定員	※該当者は全員受講
内容	学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について学ぶ。 授業を構想することを通して、教科指導の基本的な考え方について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		





No. 154	初任者研修「高等学校教科教育1」講座（北部）		
開催日時	令和 4年 5月12日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた教科指導の在り方や基本的な考え方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、芸術科書道、家庭科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について学ぶ。 授業を構想することを通して、教科指導の基本的な考え方について学ぶ。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		



No. 155	初任者研修「高等学校教科教育2」講座（センター）		
開催日時	令和 4年 6月23日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を実践に生かした指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	各所属校（園）※農業科、商業科、水産科担当教諭は別途通知		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、商業科、水産科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	授業構想の基本について理解し、本時のねらいを達成するための授業設計や授業を展開する上での基本的事項について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No. 156	初任者研修「高等学校教科教育2」講座（北部）		
開催日時	令和 4年 6月23日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を実践に生かした指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	各所属校（園） ※保健体育科担当教諭は別途通知		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、芸術科書道、家庭科担当教諭（高） ※芸術科音楽は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	授業構想の基本について理解し、本時のねらいを達成するための授業設計や授業を展開する上での基本的事項について学ぶ。 ※芸術科音楽担当教諭は6月30日（木）に行います。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 157 初任者研修「高等学校教科教育3」講座（センター）			
開催日時	令和 4年 7月 7日（木）10:30～17:00	講座のねらい	学習内容の特質を生かした単元（題材） 構想と、指導と評価の工夫等について学び 教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数 学科、外国語科、情報科、農業科、商業科、 水産科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>講義・演習等を通して授業設計の在り方について学ぶ。 観点別学習状況の評価の趣旨や評価と評定の在り方について学び、効 果的な指導方法について理解する。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No. 158 初任者研修「高等学校教科教育3」講座（北部）			
開催日時	令和 4年 7月 7日（木）10:30～17:00	講座のねらい	学習内容の特質を生かした単元（題材） 構想と、指導と評価の工夫等について学び 教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所 ※保健体育科担当教諭は内容参照		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、 芸術科書道、家庭科担当教諭（高） ※芸術科音楽、家庭科担当教諭は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>講義・演習等を通して授業設計の在り方を学ぶ。 観点別学習状況の評価の趣旨や評価と評定の在り方について学び、効 果的な指導方法について理解する。</p> <p>※保健体育科担当教諭は各所属校（園）にてオンラインで行います。 ※芸術科音楽、家庭科担当教諭は8月9日（火）に行います。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		



No. 159 初任者研修「高等学校教科教育4」講座（センター）			
開催日時	令和 4年10月13日（木）10:30～17:00	講座のねらい	個に応じた指導と評価の工夫等、授業改 善の具体的な方策を学び、教科指導力の向 上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、数学科、外国語科、情報 科、農業科、商業科、水産科担当教諭（高） ※地理歴史科、公民科担当教諭は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>模擬授業や研究協議等を通して、個に応じた指導と評価の工夫、指導 と評価の一体化による授業改善の方策を学ぶ。</p> <p>※地理歴史科、公民科担当教諭は9月29日（木）に行います。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		






No. 160	初任者研修「高等学校教科教育4」講座（北部）		
開催日時	令和 4年10月13日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	個に応じた指導と評価の工夫等、授業改善の具体的な方策を学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所 ※保健体育科担当教諭は内容参照		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、 芸術科書道、家庭科担当教諭（高） ※芸術科音楽、家庭科担当教諭は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>模擬授業や研究協議等を通して、個に応じた指導と評価の工夫、指導と評価の一体化による授業改善の方策を学ぶ。</p> <p>※保健体育科担当教諭は、京都トレーニングセンターで行います。 ※芸術科音楽、家庭科担当教諭は9月29日（木）に行います。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		





No. 161	初任者研修「高等学校教科教育5」講座（センター）		
開催日時	令和 4年11月10日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数 学科、外国語科、情報科、農業科、商業科、 水産科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等、効果的な指導方法について学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No. 162	初任者研修「高等学校教科教育5」講座（北部）		
開催日時	令和 4年11月10日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、 芸術科書道、家庭科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等、効果的な指導方法について学ぶ。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 163	初任者研修「高等学校教科教育6」講座（センター）			
開催日時	令和 4年12月 1日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の構想と展開について学び、教科指導力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、商業科、水産科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講	
内容	実践発表や研究協議等を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業構想と展開について学ぶ。			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）			

No. 164	初任者研修「高等学校教科教育6」講座（北部）			
開催日時	令和 4年12月 1日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の構想と展開について学び、教科指導力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、芸術科書道、家庭科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講	
内容	実践発表や研究協議等を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業構想と展開について学ぶ。			
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）			

No. 165	初任者研修「高等学校教科教育7」講座（センター）			
開催日時	令和 5年 1月12日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	1年間の教育実践を振り返ることや、2年目に向けての研修計画を構想することを通して、教科指導力の向上への展望をもつ。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、商業科、水産科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講	
内容	実践発表や研究協議等を通して成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への見通しを持つ。			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）			






No. 166	初任者研修「高等学校教科教育7」講座（北部）		
開催日時	令和 5年 1月12日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	1年間の教育実践を振り返ることや、 2年目に向けての研修計画を設定することを通して、教科指導力の向上への展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、 芸術科書道、家庭科担当教諭（高） ※芸術科音楽、家庭科担当教諭は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>実践発表や研究協議等を通して成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への見通しを持つ。</p> <p>※芸術科音楽、家庭科担当教諭は1月26日（木）に行います。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		



No. 167	初任者研修「高等学校総合的な探究の時間・キャリア教育」講座		
開催日時	令和 4年 9月15日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	総合的な探究の時間、キャリア教育の基本的な事項について学び、指導力の向上を図る。
会場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>総合的な探究の時間の目標、指導と評価等について学ぶ。</p> <p>キャリア教育の意義やその実践の在り方等について学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No. 168	初任者研修「特別支援学校1」講座		
開催日時	令和 4年 5月26日（木）10:30～17:00	講座の ねらい	京都府における特別支援教育の施策について知り、京都府の特別支援学校の教職員としての使命及び教育課程編成の基本について理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（特支）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府における特別支援教育の施策や、特別支援学校の教職員としての使命及び教育課程編成の基本について学ぶ。</p>		
連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）		

No.169	初任者研修「特別支援学校2」講座		
開催日時	令和 4年 6月23日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	個別の指導計画や学習指導案の役割を知り、作成及び活用する方法や留意点を理解する。 幼児児童生徒のアセスメントについて学び、指導・支援に生かす。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	平安女学院大学短期大学部 教授 清水 里美		
	個別の指導計画や学習指導案の役割を知り、具体的な作成及び活用方法について学ぶ。 アセスメントの基本的事項について知り、アセスメントに基づく指導の在り方について学ぶ。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		



No.170	初任者研修「特別支援学校3」講座		
開催日時	令和 4年 8月 8日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	実技等の指導を伴う教科について、学習指導要領や各教科の重点等を踏まえて、授業を進める上での基本的事項と留意点を学び、指導力の向上を図る。
会場	各所属校(園)及び京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	講義及び実習を通して、実技を伴う教科の指導について学ぶ。全4教科を取扱い、うち下記の2教科は所属校での事前に動画を視聴とすること。 ※図画工作科、家庭科についてはオンデマンド研修とする。 ※音楽科、体育科については集合研修とする。 ※Web+研修(集合)の受講についてはP153を参照		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		



No.171	初任者研修「特別支援学校4」講座		
開催日時	令和 4年 9月15日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	知的障害の学習上の特性を踏まえた授業づくりについて理解を深める。 具体的な実践から、特別支援学校におけるキャリア教育の在り方を理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	知的障害の学習上の特性を知り、学習指導要領の趣旨を踏まえた指導の在り方について学ぶ。 実践発表により、特別支援学校におけるキャリア教育の実際を知り、その在り方について考える。 授業実践の交流を通して、効果的な授業の展開や工夫について考える。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		







No. 172	初任者研修「特別支援学校5」講座		
開催日時	令和 4年10月20日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	情報教育の基本的事項やICTを活用した指導方法を学び、実践に生かす。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	特別支援学校における情報教育の意義を理解するとともに、様々な学習上の困難さに応じたICTの活用について学ぶ。 実践発表により、特別支援学校におけるICT活用の実際について学ぶ。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		



No. 173	初任者研修「特別支援学校6」講座		
開催日時	令和 4年11月17日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	視覚障害、聴覚障害、肢体不自由教育の基本を理解する。 授業研究を通して、効果的な指導内容や指導方法を学び、指導力を高める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	視覚障害、聴覚障害、肢体不自由のある幼児児童生徒への指導の実際を知ることを通して、障害種に応じた指導方法や留意点を学ぶ。 授業研究を通して、効果的な指導内容や指導方法について考える。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		




No. 174	初任者研修「特別支援学校7」講座		
開催日時	令和 5年 1月26日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	医療や福祉等関係機関との連携の重要性について理解するとともに、特別支援学校が果たすべき役割について理解する。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	京都府発達障害者支援センターはばたき センター長 長谷川 福美 校内外の各関係者・組織・機関との連携の重要性とその実際について学ぶ。 障害のある人の生活や就労について学ぶ。 特別支援学校が果たすべき役割について学ぶ。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		

No. 175 初任者研修「特別支援学校授業参観」講座			
開催日時	令和 4年 7月 7日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	授業参観や講義を通して、幼児児童生徒の障害特性に応じた授業の在り方について理解する。
会場	京都府立井手やまびき支援学校		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	京都教育大学 教授 相澤 雅文  授業参観を通して、幼児児童生徒の障害特性に応じた授業の在り方について学ぶ。 講義を通して、知的障害のある児童生徒への授業づくりについて学ぶ。		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)		




No. 181 新規採用者研修「幼稚園教諭1」講座			
開催日時	令和 4年 5月26日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	幼稚園教育の基本的な考え方と具体的な指導・支援の在り方について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】教諭(幼)	定員	※該当者は全員受講
内容	幼稚園教育の基本的な考え方や幼児期の心身の発達において基礎となる活動や遊びについて理解し、幼児が主体的に活動するための環境の構成や支援の在り方を学ぶ。 幼児期の発達を理解し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		



No. 182 新規採用者研修「幼稚園教諭2」講座			
開催日時	令和 4年 6月16日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼小の接続を踏まえた幼児児童への指導や支援について理解し、自校(園)の接続カリキュラムの実践につなげる。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】教諭(幼)	定員	※該当者は全員受講
内容	鳴門教育大学 教授 木下 光二  幼稚園教育要領や学習指導要領の趣旨を踏まえ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼児教育と小学校入学後の教育について理解し、接続カリキュラムの意義や作成について学ぶ。  ※講座番号401と合同実施		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		





No. 183	新規採用者研修「幼稚園教諭3」講座		
開催日時	令和 4年 7月28日(木) 10:00~16:30	講座のねらい	幼児理解に基づく質の高い保育について学び、指導力の向上を図る。また、幼児教育の手法を生活科の指導に生かす方策について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】教諭(幼)	定員	※該当者は全員受講
内容	武庫川女子大学 准教授 藤本 勇二 幼稚園教育要領や学習指導要領の趣旨を踏まえ、幼児教育と小学校入学後の教育について理解し、円滑な接続について学ぶ。 幼児理解に基づく幼児教育の手法を生活科の指導に生かす方策について理解する。 ※講座番号402と合同実施		 午前10時から開講
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		







No. 184	新規採用者研修「養護教諭1」講座		
開催日時	令和 4年 5月26日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた学級、ホームルーム経営の基本について学ぶ。 教育相談の基本的な考え方や具体的な対応について学ぶ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	学級、ホームルーム経営の基本的な実務や経営上の諸課題について学ぶ。 児童生徒理解の在り方や保護者との信頼関係づくりについて学び、教育相談に関する基本的な考え方を理解する。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		





No. 185	新規採用者研修「養護教諭2」講座		
開催日時	令和 4年 6月21日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	学校環境衛生活動の意義と救急処置について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	綾部市立病院 院長 高升 正彦 学校薬剤師 学校環境の衛生管理に関わる基本となる内容と実践的な指導方法について学ぶ。 救急処置について理解し、演習を通して心肺蘇生法やAEDの使用方法などの実践的指導を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 186	新規採用者研修「養護教諭3」講座			
開催日時	令和 4年 7月25日(月) 10:30~17:00	講座の ねらい	食物アレルギーについて学ぶ。 保健室経営の実際を学び、保健室の機能 や養護教諭の役割について理解を深める。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>京都府立医科大学 小児科 土屋 邦彦</p> <p>児童生徒が学校で安心・安全に過ごせるようにアレルギー疾患の知識 や養護教諭として求められる対応について学ぶ。 児童生徒の健康づくりを効果的に推進するため、学校保健活動のセン ターの役割を果たしている保健室の機能や養護教諭の役割について理解 を深める。</p>			
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)			

No. 187	新規採用者研修「養護教諭4」講座			
開催日時	令和 4年 8月17日(水) 10:30~17:00	講座の ねらい	健康課題が多様化・複雑化している幼児 児童生徒への支援の在り方を学び、指導力 の向上を図る。 これからの学校保健活動を推進するた めの方策を考える	
会場	京都府立京都学・歴彩館			
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>神奈川県立精神医療センター 副院長 小林 桜児</p> <p>依存症になる背景や実際の臨床での治療法、養護教諭としての初期対 応やグループセラピーの実際などについて学ぶ。 実践発表を通して、これまでの自校での実践を振り返り、これからの 学校保健活動を推進するための方策を考える。 ※講座番号805と一部合同実施</p>			
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)			

No. 188	新規採用者研修「養護教諭5」講座			
開催日時	令和 4年 9月 6日(火) 10:30~17:00	講座の ねらい	学校における感染症の現況と対応につ いて学ぶ。 保健室経営の実際を学ぶとともに、学校 保健計画及び学校安全計画等について理解 を深め、指導力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>学校医</p> <p>学校における感染症の現況について理解し、学校医及び医療機関・保 健所などの専門機関との連携の在り方について学ぶ。 保健室経営の実際を学ぶとともに、学校保健計画及び学校安全計画等 の基本を知り、交流・協議を通して計画策定の実際について理解を深め る。</p>			
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)			







No. 189	新規採用者研修「養護教諭6」講座		
開催日時	令和 4年10月20日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童虐待の実際や対応などを学ぶ。歯・口の健康に関する基礎的な知識を学び、指導力の向上を図る。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	一般社団法人こころの健康センターFlourish Japan 代表理事 村澤 孝子 学校歯科医  児童虐待の実際や適切な対応など、養護教諭としての役割や連携について学ぶ。また、歯・口の健康に関する基礎知識を学び、歯・口の健康づくりについて理解する。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		








No. 190	新規採用者研修「養護教諭7」講座		
開催日時	令和 4年12月 6日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	感染症予防に関する基礎的な知識や特別な配慮を必要とする児童生徒への支援の在り方を学び、指導力の向上を図る。自身の研修テーマにおける課題解決のための展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	国立病院機構舞鶴医療センター 感染管理認定看護師 井上 かおり  感染症拡大を防ぐ工夫の仕方等を具体的に学ぶ。特別な配慮を必要とする児童生徒への支援の在り方について学ぶ。自身の研修テーマにおける課題を明確にし、解決のための方策を見いだす。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 191	新規採用者研修「栄養教諭1」講座		
開催日時	令和 4年 5月26日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた学級、ホームルーム経営の基本について学ぶ。教育相談の基本的な考え方や具体的な対応について学ぶ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	学級、ホームルーム経営の基本的な実務や経営上の諸課題について学ぶ。 児童生徒理解の在り方や保護者との信頼関係づくりについて学び、教育相談に関する基本的な考え方を理解する。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No. 192	新規採用者研修「栄養教諭2」講座			
開催日時	令和 4年 6月 7日 (火) 10:30~17:00	講座の ねらい	栄養教諭としての職務と役割について理解し、安全な学校給食の管理と食に関する指導について理解を深める。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講	
内容	綾部ルネス病院 薬剤科長 守谷 まさ子 元京都府教育庁指導部保健体育課指導主事 中村 節子 学校給食衛生管理に関する法律と歴史について学び、学校給食の管理体制や危機管理等について理解を深める。 衛生管理、食物アレルギー対応等を重視し、安心・安全で充実した学校給食を提供するための方策について理解を深める。			
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)			

No. 193	新規採用者研修「栄養教諭3」講座			
開催日時	令和 4年 7月25日 (月) 10:30~17:00	講座の ねらい	食物アレルギーに対する理解を深める。 食品構成を考慮した献立作成の知識や手順についてICTの活用を含めて理解を深める。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講	
内容	京都府立医科大学 小児科 土屋 邦彦 児童生徒が学校で安心・安全に過ごせるようにアレルギー疾患の知識や栄養教諭として求められる対応について学ぶ。 献立作成に必要な知識や手順を学ぶとともに、食品構成を考えた献立作成についての知識や実践力を身に付ける。			
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)			

No. 194	新規採用者研修「栄養教諭4」講座			
開催日時	令和 4年 8月 3日 (水) 10:30~17:00	講座の ねらい	ICTを効果的に活用した食育の指導について学び、指導力の向上を図るとともに子どもを育む食育の在り方についての理解を深める。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講	
内容	京都教育大学 教授 黒田 恭史 同志社女子大学 教授 小切間 美保 食育の指導における効果的なICT活用及び「命」について考える食育実践や、朝食摂取の向上を目指した取組等、家庭と連携して行う食育の指導を効果的に進めるための方策について学ぶ。 ※講座番号806と合同実施			
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)			



No. 195	新規採用者研修「栄養教諭5」講座		
開催日時	令和 4年 9月 13日 (火) 9:00~16:00	講座の ねらい	単独調理場における作業工程の実際と学校給食管理及び食に関する指導の在り方について学び、衛生管理者としての基礎的知識を習得する。
会場	京都府公立学校（単独調理場） ※詳細は別途通知		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>単独調理場における実地研修を通して、学校給食における危機管理に配慮した作業工程、作業動線等について学ぶとともに、日々の実践を振り返り改善すべき点等についての具体的な方策を見いだす。</p> <p>また、実践発表を通して、給食管理や食に関する具体的な指導について学び、栄養教諭の職務について理解を深める。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p><b>午前9時 から開講</b></p> </div>
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		







No. 196	新規採用者研修「栄養教諭6」講座		
開催日時	令和 4年11月 8日 (火) 10:30~17:00	講座の ねらい	共同調理場における作業工程の実際と学校給食管理及び食に関する指導の在り方について学び、衛生管理者としての基礎的知識を習得する。
会場	各所属校（園）		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>実践発表を通して共同調理場における危機管理に配慮した作業工程や作業動線等について学ぶとともに、給食管理や食に関する具体的な指導について学ぶ。</p> <p>研究協議を通して日々の実践を振り返り、改善すべき点等に関する具体的な方策を見いだす。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		



No. 197	新規採用者研修「栄養教諭7」講座		
開催日時	令和 4年12月 6日 (火) 10:30~17:00	講座の ねらい	「食に関する指導に係る全体計画」に基づいて組織的に食育の推進を図ることの重要性を理解する。 学習指導要領に基づいた食に関する指導について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>食に関する現代的課題及び府内の学校における組織的な食育の推進について学び、学校給食を活用した食に関する指導の在り方について理解する。</p> <p>学習指導要領に基づいた食に関する指導について理解を深めるとともに、次年度への方策を学ぶ。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 198	新規採用者研修「実習助手1」講座			
開催日時	令和 4年 5月12日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた教科教育や、実習助手としての基本を学び、指導力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター ※理科担当実習助手は内容参照			
受講対象	【新採】実習助手 ※自立活動担当実習助手は内容参照	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について学ぶ。</p> <p>実習助手としての基本的な知識や指導について学ぶ。</p> <p>※理科担当実習助手は京都府総合教育センター北部研修所で行います。</p> <p>※自立活動担当実習助手は5月26日(木)に京都府総合教育センター北部研修所で行います。</p>			
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)			

No. 199	新規採用者研修「実習助手2」講座			
開催日時	令和 4年 6月 2日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	<p>児童生徒の個性や人間関係を踏まえた学級、ホームルーム経営の基本について学ぶ。</p> <p>教育相談の基本的な考え方や具体的な対応について学ぶ。</p>	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	【新採】実習助手	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>学級、ホームルーム経営の基本的な実務や経営上の諸課題について学ぶ。</p> <p>児童生徒理解の在り方や保護者との信頼関係づくりについて学び、教育相談に関する基本的な考え方を理解する。</p>			
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)			

No. 200	実習助手「ステップアップ」講座			
開催日時	令和 4年11月 7日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	<p>実験・実習を行う上での実務等の知識を習得する。</p> <p>実践研究の成果と課題について協議し、実践力の向上を図る。</p>	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	【新採】実習助手	定員	※該当者は全員受講	
内容	<p>実験・実習をする上での知識や安全管理等について学ぶ。</p> <p>実践研究の成果と課題を明らかにし、今後の目標を明確にする。</p>			
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)			



No. 201	新規採用者研修「学校事務職員1」講座		
開催日時	令和 4年 4月19日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	事務職員として職務に必要な実務の基本を習得する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校事務職員	定員	※該当者は全員受講
内容	文書事務、給与事務、旅費事務、就・修学支援制度等の基本を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		




No. 202	新規採用者研修「学校事務職員2」講座		
開催日時	令和 4年 6月21日(火) 13:00~17:00	講座のねらい	児童生徒や保護者との円滑でよりよい関係を築くためのコミュニケーション能力を身に付ける。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【新採】学校事務職員	定員	※該当者は全員受講
内容	児童生徒や保護者との対応を円滑に行うためのコミュニケーションの基礎を学ぶ。ビジネスマナーの意義と重要性を再認識し、接遇、電話対応、来客対応などの場面を想定した講義を行う。 ※講座番号601と合同実施		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		



No. 203	新規採用者研修「学校事務職員3」講座		
開催日時	令和 4年 7月 5日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	日々の業務に対応できる実務能力を養い、正確な事務処理を行う力を習得する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校事務職員	定員	※該当者は全員受講
内容	共済事務、給与事務、公務災害・通勤災害、学校施設の維持管理等に係る事務能力を養う。 ※講座番号808と合同実施		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

No.204 新規採用者研修「学校図書館司書1」講座			
開催日時	令和 4年 6月21日(火) 13:00~17:00	講座の ねらい	児童生徒や保護者との円滑でよりよい関係を築くためのコミュニケーション能力を身に付ける。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【新採】学校図書館司書	定員	※該当者は全員受講
内容	児童生徒や保護者との対応を円滑に行うためのコミュニケーションの基礎を学ぶ。ビジネスマナーの意義と重要性を再認識し、接遇、電話対応、来客対応などの場面を想定した講義を行う。 ※講座番号601と合同実施		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No.205 新規採用者研修「学校図書館司書2」講座			
開催日時	令和 4年 8月25日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	図書館の機能を活用し、児童生徒が主体的に学ぶ、「調べ学習」を位置付けた授業構想力の向上を図る。
会場	京都府立図書館		
受講対象	【新採】学校図書館司書	定員	※該当者は全員受講
内容	立教大学 兼任講師 中山 美由紀 京都府立図書館 職員 京都府立図書館の取組から、図書館の「学習センター」や「情報センター」としての役割について学ぶ。 講義や演習を通して具体的に調べ学習を構想することにより、自校の図書館教育で今後進めたい取組について、実践への意欲と展望をもつ。 ※講座番号514と合同実施		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No.206 新規採用者研修「学校施設管理職員1」講座			
開催日時	令和 4年 4月19日(火) 10:30~17:00	講座の ねらい	学校施設管理職員として職務に必要な実務の基本を習得する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校施設管理職員	定員	※該当者は全員受講
内容	文書事務、給与事務、旅費事務、就・修学支援制度等の基本を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		







No. 207	新規採用者研修「学校施設管理職員2」講座		
開催日時	令和 4年 6月21日(火) 13:00~17:00	講座のねらい	児童生徒や保護者との円滑でよりよい関係を築くためのコミュニケーション能力を身に付ける。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【新採】学校施設管理職員	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>児童生徒や保護者との対応を円滑に行うためのコミュニケーションの基礎を学ぶ。ビジネスマナーの意義と重要性を再認識し、接遇、電話対応、来客対応などの場面を想定した講義を行う。</p> <p>※講座番号601と合同実施</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 208	新規採用者研修「学校施設管理職員3」講座		
開催日時	令和 4年 7月 5日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	日々の業務に対応できる実務能力を養い、正確な事務処理を行う力を習得する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校施設管理職員	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>共済事務、給与事務、公務災害・通勤災害、学校施設の維持管理等に係る事務能力を養う。</p> <p>※講座番号808と合同実施</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No. 209	新規採用者研修「学校施設管理職員4」講座		
開催日時	令和 4年 8月 4日(木) 13:00~17:00	講座のねらい	学校の施設設備の維持管理について学び業務への対応力を高める。 タブレットを活用した業務改善やコミュニケーションの基礎について学び、ICT教育への理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校施設管理職員	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>これからの京都府の高校教育の在り方について理解を深める。 ICT教育環境とネットワークについての基礎を理解する。 タブレット活用による業務効率化やコミュニケーションについて演習を通して基礎的な理解を図る。</p> <p>※講座番号807と合同実施</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.221	2年目教員「ステップアップ1」講座		
開催日時	※内容参照	講座のねらい	2年目教員ステップアップ研修のねらいを理解し、今後の見通しをもつ。 学習指導要領の趣旨や今日的な教育課題等を学び、自身の教育活動に生かす。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【2年目】教諭(小・中・義・高・特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>2年目教員ステップアップ研修の見通しをもつとともに、学習指導要領の内容や今日的な教育課題等について学ぶ。</p> <p>※視聴期間 令和4年7月25日(月)～令和4年8月1日(月) ※オンデマンド研修の受講についてはP152を参照</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No.222	2年目教員「ステップアップ2」講座a(センター)		
開催日時	令和4年8月22日(月)10:30～17:00	講座のねらい	自身のテーマにおける課題を明確にするとともに、授業改善に向けての具体的方策を見いだす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【2年目】教諭(小A・義前A・中・義後・高・特支) ※詳細は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>中間発表に基づく研究協議を通して、自身のテーマにおける課題を明確にし、今後の実践に向けての方策を見いだす。</p> <p>※中学校、義務教育学校後期課程は国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭が受講すること。 ※高等学校は国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、工業科担当教諭が受講すること。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No.223	2年目教員「ステップアップ2」講座a(北部)		
開催日時	令和4年8月22日(月)10:30～17:00	講座のねらい	自身のテーマにおける課題を明確にするとともに、授業改善に向けての具体的方策を見いだす。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【2年目】教諭(中・義後・高) ※詳細は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>中間発表に基づく研究協議を通して、自身のテーマにおける課題を明確にし、今後の実践に向けての方策を見いだす。</p> <p>※中学校、義務教育学校後期課程は理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科(家庭分野)担当教諭、高等学校は理科、保健体育科、芸術科書道、家庭科担当教諭が受講すること。 ※技術・家庭科(技術分野)担当教諭は8月23日(火)に行います。</p>		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		





No.224	2年目教員「ステップアップ2」講座b（センター）		
開催日時	令和 4年 8月23日（火）10:30～17:00	講座の ねらい	自身のテーマにおける課題を明確にする とともに、授業改善に向けての具体的方策 を見いだす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【2年目】教諭（小B・義前B）	定員	※該当者は全員受講
内容	中間発表に基づく研究協議を通して、自身のテーマにおける課題を明 確にし、今後の実践に向けての方策を見いだす。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



No.225	2年目教員「ステップアップ3」講座（センター）		
開催日時	令和 4年12月26日（月）10:30～17:00	講座の ねらい	自身の実践を振り返り、成果と課題を明 確にするとともに、今後の授業力向上に向 けての方策を見いだす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【2年目】教諭（小・中・義・高・特支） ※詳細は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	テーマ研修で取り組んだ授業実践報告に基づき、自身の課題を見いだ すとともに、研究協議を通して今後の実践への展望をもつ。 ※中学校、義務教育学校後期課程は国語科、社会科、数学科、外国語科 担当教諭が受講すること。 ※高等学校は国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科 農業科、工業科担当教諭が受講すること。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		




No.226	2年目教員「ステップアップ3」講座（北部）		
開催日時	令和 4年12月26日（月）10:30～17:00	講座の ねらい	自身の実践を振り返り、成果と課題を明 確にするとともに、今後の授業力向上に向 けての方策を見いだす。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【2年目】教諭（中・義後・高） ※詳細は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	テーマ研修で取り組んだ授業実践報告に基づき、自身の課題を見いだ すとともに、研究協議を通して今後の実践への展望をもつ。 ※中学校、義務教育学校後期課程は理科、音楽科、美術科、保健体育科 技術・家庭科担当教諭が受講すること。 ※高等学校は理科、保健体育科、芸術科書道、家庭科担当教諭が受講す ること。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

基 本 研 修  
(中堅教諭等資質向上研修)





No. 251	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅰ		
開催日時	※内容参照	講座のねらい	中堅教諭等資質向上研修の意義と内容について理解し、中堅教諭等としての自覚と使命感を高めるとともに、人権意識の高揚とキャリア教育の重要性の理解を図る。
会場	各所属校（園）		
受講対象	【中堅教諭等】		
		定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府教育振興プランを踏まえ、公教育を担う中堅教諭等としての在り方や期待される京都府の教員像、コンプライアンスについて学ぶとともに、自己を振り返る。</p> <p>京都府の人権教育やキャリア教育についての理解を深め、あらゆる教育活動を通して推進していくための認識の深化と指導力の向上を図る。</p> <p>※視聴期間 令和4年5月23日（月）～令和4年6月3日（金）</p> <p>※オンデマンド研修の受講についてはP152を参照</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		




No. 252	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱa		
開催日時	令和 4年 7月25日（月）13:00～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨の理解を通して、子どもに求められる資質・能力を育成するための理論と実践を学ぶ。
会場	各所属校（園）		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が奇数の対象者		
		定員	※該当者は全員受講
内容	<p>東洋大学 教授 後藤 顕一</p> <p>学習指導要領の趣旨を深く理解するとともに、受講者一人一人のこれまでの実践を振り返りながら、主体的・対話的で深い学びを実践事例や演習を通して身に付け、自校の学習スタイルの構築等に生かす。</p> <p>※対面受講希望者は、講座番号253を受講すること。（「令和4年度中堅教諭等資質向上研修実施の手引き」参照）</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		




No. 253	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱb		
開催日時	令和 4年 8月 2日（火）13:00～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨の理解を通して、子どもに求められる資質・能力を育成するための理論と実践を学ぶ。
会場	各所属校（園）又は京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が偶数の対象者、対面受講希望者		
		定員	※該当者は全員受講
内容	<p>東洋大学 教授 後藤 顕一</p> <p>学習指導要領の趣旨を深く理解するとともに、受講者一人一人のこれまでの実践を振り返りながら、主体的・対話的で深い学びを実践事例や演習を通して身に付け、自校の学習スタイルの構築等に生かす。</p> <p>※免許状更新講習は、講座番号981で申し込むこと。（10時開始）</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No.254 中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲa			
開催日時	令和 4年 8月18日(木) 13:00~17:00	講座の ねらい	自校の教育目標を達成するため、カリキュラムの充実と改善を図る方策について学ぶ。
会場	各所属校(園)又は京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が奇数の対象者、対面受講希望者	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>上越教育大学大学院 教授 安藤 知子</p> <p>「社会に開かれた教育課程」を実現するカリキュラム・マネジメントの意義と各校における実践方法や全教職員で推進する方策について学ぶ。</p> <p>※免許状更新講習は、講座番号982で申し込むこと。(10時開始)</p>		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		



No.255 中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲb			
開催日時	令和 4年 8月24日(水) 13:00~17:00	講座の ねらい	自校の教育目標を達成するため、カリキュラムの充実と改善を図る方策について学ぶ。
会場	各所属校(園)		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が偶数の対象者	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>上越教育大学大学院 教授 安藤 知子</p> <p>「社会に開かれた教育課程」を実現するカリキュラム・マネジメントの意義と各校における実践方法や全教職員で推進する方策について学ぶ。</p> <p>※対面受講希望者は、講座番号254を受講すること。(「令和4年度中堅教諭等資質向上研修実施の手引き」参照)</p>		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		




No.256 中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅳa			
開催日時	令和 4年11月28日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	児童生徒理解の視点から、教育相談や生徒指導を充実させるために必要な知識・技能を学び、中堅教諭等としての実践力の向上を図る。
会場	各所属校(園)又は京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が奇数の対象者、対面受講希望者(受講番号が奇数)	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都連合教職大学院・京都産業大学 教授 角田 豊</p> <p>児童生徒の心を育む学校臨床力を学ぶ。アセスメントとしての児童生徒理解と、指導・支援といった教師のかかわりに関連付ける。さらに児童生徒と教師のかかわり合いを省察する『プロセスレコード』のやり方を修得し、生徒指導・教育相談・特別支援に関連した個人・学校組織の学校臨床力向上を目指す。</p>		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		







No. 257	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅳb		
開催日時	令和 4年12月12日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	児童生徒理解の視点から、教育相談や生徒指導を充実させるために必要な知識・技能を学び、中堅教諭等としての実践力の向上を図る。
会場	各所属校(園)又は京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が偶数の対象者、対面受講希望者(受講番号が偶数)	定員	※該当者は全員受講
内容	京都連合教職大学院・京都産業大学 教授 角田 豊  児童生徒の心を育む学校臨床力を学ぶ。アセスメントとしての児童生徒理解と、指導・支援といった教師のかかわりを関連付ける。さらに児童生徒と教師のかかわり合いを省察する『プロセスレコード』のやり方を修得し、生徒指導・教育相談・特別支援に関連した個人・学校組織の学校臨床力向上を目指す。		
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		




No. 258	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅴa		
開催日時	令和 5年 1月20日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	学校における危機管理の在り方について学び、学び続ける教師として今後のキャリアステージにおける職能成長への意欲を高める。
会場	各所属校(園)又は京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が奇数の対象者、対面受講希望者(受講番号が奇数)	定員	※該当者は全員受講
内容	学校安全の現状について理解し、学校における危機管理及び組織体制の在り方について理解を深める。 中堅教諭等資質向上研修の受講講座等を通して自らの意識や行動の変容を振り返り、今後の「在りたい姿」を明確にする。		
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		




No. 259	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅴb		
開催日時	令和 5年 1月24日(火) 13:00~17:00	講座の ねらい	学校における危機管理の在り方について学び、学び続ける教師として今後のキャリアステージにおける職能成長への意欲を高める。
会場	各所属校(園)又は京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が偶数の対象者、対面受講希望者(受講番号が偶数)	定員	※該当者は全員受講
内容	学校安全の現状について理解し、学校における危機管理及び組織体制の在り方について理解を深める。 中堅教諭等資質向上研修の受講講座等を通して自らの意識や行動の変容を振り返り、今後の「在りたい姿」を明確にする。		
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		

指導者養成研修  
及び  
中核職員養成研修





No. 301	ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ		<b>推薦</b>
開催日時	令和 4年 6月24日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	これからの教育を見通した学校組織マネジメントについて学び、学校内外に幅広い視野を持ち、地域とともにある学校の実現に向けた学校経営に参画できるミドルリーダーを養成する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・中・義・高・特支)、事務職員(高・特支の主任、事務主任、専門幹) ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定員	※詳細は別途連絡
内容	兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野 良一  講義及び演習により、学校組織マネジメントを学校組織の活性化に活用する理念や考え方について理解を深める。 ※京都教育大学教職キャリア高度化センター連携講座 ※シリーズⅠ~Ⅲ(講座番号301~303)を通して受講すること(申込は不要)。		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>	






No. 302	ミドルリーダー養成講座シリーズⅡ		<b>推薦</b>
開催日時	令和 4年 9月27日(火) 10:30~17:00	講座の ねらい	学校内外の環境分析(SWOT分析)の手法を学び、特色ある学校づくりに生かすマネジメント力を高める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・中・義・高・特支)、事務職員(高・特支の主任、事務主任、専門幹) ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定員	※詳細は別途連絡
内容	滋賀大学教職大学院 教授 大野 裕己 学校内外の環境分析(SWOT分析)の手法を学び、特色ある学校づくりに向けた自身の職務の在り方について考察する。 ※京都教育大学教職キャリア高度化センター連携講座 ※講座番号703と合同実施 ※シリーズⅠ~Ⅲ(講座番号301~303)を通して受講すること(申込は不要)。		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>	




No. 303	ミドルリーダー養成講座シリーズⅢ		<b>推薦</b>
開催日時	令和 4年11月11日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	「地域とともにある学校」の推進に向けた学校と地域社会の連携・協働の在り方について理解を深め、ミドルリーダーとしての自覚を高める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・中・義・高・特支)、事務職員(高・特支の主任、事務主任、専門幹) ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定員	※詳細は別途連絡
内容	愛媛大学大学院教育学研究科 教授 露口 健司 講義及び協議により、「地域とともにある学校」の推進に向けた保護者や地域社会との連携・協働の在り方を学びとともに、地域の教育の活性化に資するスクールリーダーとしての意識を高める。 ※講座番号704と合同実施 ※シリーズⅠ~Ⅲ(講座番号301~303)を通して受講すること(申込は不要)。		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">チーム学校</span>	

No.307	小・中学校事務職員リーダー養成講座Ⅰ			<b>推薦</b>
開催日時	令和 4年 6月 7日 (火) 13:00~17:00	講座の ねらい	学校事務職員の未来を拓く「共同学校事務室」の意義と役割を踏まえ、教育委員会と連携しながら学校や地域のリーダーとしての意識を高める。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	事務職員（小・中・義） ※教育局長の推薦を受けた者	定員	30名	
内容	<p>共同学校事務室の設置経過や教育委員会との連携、事務職員育成について先進事例から学ぶとともに、学校の総合力を高めるための事務職員の役割や可能性を探る。</p> <p>意見交流を通して、対話の手法を学ぶとともに、共同学校事務室の方向性や可能性を考える。</p> <p>※講座Ⅰ・Ⅱ（講座番号307・308）を通して受講すること（申込は不要）。</p>			
連絡先	企画研究部（075-612-2950）			


No.308	小・中学校事務職員リーダー養成講座Ⅱ			<b>推薦</b>
開催日時	令和 5年 1月17日 (火) 13:00~17:00	講座の ねらい	学校事務職員の未来を拓く「共同学校事務室」の意義と役割を踏まえ、教育委員会と連携しながら学校や地域のリーダーとしての意識を高める。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	事務職員（小・中・義） ※教育局長の推薦を受けた者	定員	30名	
内容	<p>1年間の取り組みを通して現状と課題の洗い出しや今後の持続・発展に向けての解決手法を学ぶ。</p> <p>1年を振り返り、共同学校事務室の取り組みや課題を交流するとともにチーム共同学校事務室としての活性化の方策を考える。</p> <p>※講座Ⅰ・Ⅱ（講座番号307・308）を通して受講すること（申込は不要）。</p>			
連絡先	企画研究部（075-612-2950）			

No.309	小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ			<b>推薦</b>
開催日時	令和 4年 5月31日 (火) 13:00~17:00	講座の ねらい	理科における主体的・対話的で深い学びについての理解を深め、授業改善を深めるとともに授業力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	教諭（小・義前） ※教育局長の推薦を受けた者	定員	20名	
内容	<p>京都教育大学 教授 谷口 和成</p> <p>動機付けや認知発達の視点を踏まえた理科の見方・考え方にに基づき、科学的思考力を育む理科授業の在り方について学び、自身の授業実践を振り返る。</p> <p>※シリーズⅠ～Ⅲ（講座番号309～311）を通してを受講すること（申込は不要）。</p>			
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		主な指標の観点	学習指導



No.310	小学校理科授業力向上講座シリーズⅡ		<b>推薦</b>
開催日時	令和 4年 8月23日(火) 10:30~17:00	講座の ねらい	理科における主体的・対話的で深い学び についての理解を深め、授業改善を深める とともに授業力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義前) ※教育局長の推薦を受けた者	定員	20名
内容	京都教育大学 教授 谷口 和成  動機付けや認知発達の見点を踏まえた理科の見方・考え方に基づき、 科学的思考力を育む理科授業について、作成した指導案を基に研究協議 を通して理科の授業力向上を図る。 ※シリーズⅠ～Ⅲ(講座番号309~311)を通して受講すること (申込は不要)。		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点	学習指導



No.311	小学校理科授業力向上講座シリーズⅢ		<b>推薦</b>
開催日時	令和 5年 1月31日(火) 13:00~17:00	講座の ねらい	理科における主体的・対話的で深い学び についての理解を深め、授業改善を深める とともに授業力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義前) ※教育局長の推薦を受けた者	定員	20名
内容	京都教育大学 教授 谷口 和成  動機付けや認知発達の見点を踏まえた理科の見方・考え方に基づき、 科学的思考力を育む理科授業について、授業実践を基に研究協議を通し て理科の授業力向上を図る。 ※シリーズⅠ～Ⅲ(講座番号309~311)を通して受講すること (申込は不要)。		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点	学習指導

專 門 研 修  
(教 科)



あつまる	No. 401 育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ			
	開催日時	令和 4年 6月16日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼小の接続を踏まえた幼児児童への指導や支援について理解を深め自校(園)の接続カリキュラムの実践につなげる。
	会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(幼・小・義・特支)		定員	30名
2 5 6	内容	鳴門教育大学 教授 木下 光二		
7 15		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼児教育と小学校入学後の教育について理解を深め、自校(園)における接続カリキュラムの効果的な活用の方策を見いだす。 ※講座番号182と合同実施		
	連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		主な指標の観点 (学習指導)



あつまる	No. 402 育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ			
	開催日時	令和 4年 7月28日(木) 10:00~17:00	講座のねらい	幼児理解に基づく質の高い保育について学び、指導力の向上を図る。また、幼児教育の手法を生活科の指導に生かす方策について理解を深める。
	会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(幼・小・義・特支)、養護教諭(幼・小・中・義・高・特支)、栄養教諭(小・中・義・特支)		定員	30名
2 5 6	内容	武庫川女子大学 准教授 藤本 勇二		
7 15		学習指導要領の趣旨を踏まえた生活科の指導の具体について学ぶ。また、幼児理解に基づく幼児教育の手法について理解を深め、生活科の指導に生かす方策について見いだす。 ※講座番号183と合同実施 ※免許状更新講習は、講座番号983で申し込むこと。		
	連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		主な指標の観点 (学習指導)






午前10時から開講

あつまる	No. 403 小学校国語科教育講座			
	開催日時	令和 4年 8月31日(水) 10:30~17:00	講座のねらい	今、求められている国語科の学習指導について、演習を通して具体的に学び、指導力の向上を図る。
	会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・義・特支)		定員	70名
2 5 6	内容	大阪成蹊大学 教授 辻村 敬三		
7 15		今、求められている国語科の学習指導について理解する。演習を通して、国語科の学習指導の在り方について学ぶ。		
	連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		主な指標の観点 (学習指導)


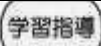


No. 404	小学校社会科教育講座			
開催日時	令和 4年11月15日(火) 13:00~17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導 について、演習を通して具体的に学び、指 導力の向上を図る。	2 3 6
会場	各所属校(園)			
受講対象	教諭(小・義・特支)	定員	80名	7 3 15
内容	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小倉 勝登			
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		主な指標の観点 (学習指導)	

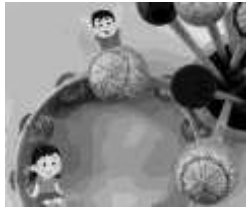
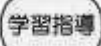
No. 405	高等学校理科授業づくり講座			
開催日時	令和 4年 8月 8日(月) 10:30~17:00	講座の ねらい	理科における探究的な学習の過程及び新 学習指導要領における評価の在り方につ いて理解し、授業づくりの実践への見通しを もつ。また、実験・観察を行う際の安全管 理や薬品管理について理解する。	2 3 6
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	理科担当教諭(高)・特支	定員	20名	
内容	新学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた指導と評価の在り方及び探究的 な学習の過程について理解し、実践への見通しをもつ。また、実験・実 習をする上での安全管理に対する知識を身に付けるとともに、指導上の 工夫・留意点について理解する。			
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		主な指標の観点 (学習指導)	

No. 406	小学校家庭科講座~わかる授業づくりのためのICT活用~			
開催日時	令和 4年 8月25日(木) 13:00~17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえたICT 活用について、効果的に家庭科の授業に 生かす方法を学ぶとともに指導力の向上 を図る。	2 3 6
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	教諭(小・義前・特支)	定員	60名	7 3 15
内容	兵庫教育大学大学院 教授 永田 智子			
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		主な指標の観点 (学習指導)	


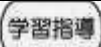


No. 407	小中外国語教育講座～思いを伝える授業づくり～		
開催日時	令和 4年 8月 4日(木) 13:00～17:00	講座のねらい	単元構想と、学習評価について具体例を通して改善の視点を学び、小中連携を進める方策について考える。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・義・特支)、外国語科担当教諭(中・義・高・特支)	定員	70名
2 5 6	内 容	関西大学 教授 竹内 理  小学校及び中学校における言語活動を通じた授業改善と学習評価の在り方について考える。 小学校及び中学校で身に付けたい外国語の力を多様な環境や状況の中でどのように伸ばすか演習を通して具体的に考える。	
7 15	連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)	主な指標の観点 





No. 408	小学校実技どんとこい！音楽科&図画工作科講座 ～わくわく創作活動～		
開催日時	令和 4年 7月27日(水) 10:30～17:00	講座のねらい	音楽科の音楽づくりと図画工作科の絵や立体、工作に表す活動における基本的な実技を通して教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義前・特支) ※6年目までの教諭の受講が望ましい。	定員	32名
2 5 6	内 容	音 楽 科：児童が楽しみながら思いや意図をもって音楽づくりできる指導を考える。 図画工作科：児童が表したいことを見付け、どのように表すか考えることができる指導を考える。 	
	連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)	主な指標の観点 




No. 409	小学校実技どんとこい！理科&家庭科講座		
開催日時	令和 4年 7月29日(金) 10:30～17:00	講座のねらい	理科の実験と家庭科の実習に関する基礎的・基本的な技能を習得し、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義前・特支) ※6年目までの教諭の受講が望ましい。	定員	32名
2 5 6	内 容	理 科：顕微鏡や双眼実体顕微鏡などの観察用具、薬品やガラス器具の安全な扱い方等を習得する。 家庭科：ミシンの取扱いに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得するとともに、製作についての指導方法を考える。 	
	連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)	主な指標の観点 


No. 410	小学校音楽科&図画工作科やってみよう！ICT講座			あつまる
開催日時	令和 4年 5月27日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	1人1台の端末を用いた実習を通して、アプリケーションの特性を理解し、小学校音楽科及び図画工作科の授業のねらいに応じたICTの効果的な活用法を考える。	あつなく
会場	京都府総合教育センター又は各所属校(園)			
受講対象	教諭(小・義前・特支)	定員	60名	2 5 6 7 5 15
内容	<p>1人1台端末を用いたICT活用の教育的意義を考える。</p> <p>ICT機器を用いた実習を通して、音楽科及び図画工作科の授業におけるICTの効果的な活用法を学ぶ。</p> <p>※定員は集合30名、オンライン30名とする。オンライン受講の場合は、KomaKoma、iMovie、GarageBandの各アプリケーションをタブレット端末にダウンロードして受講すること。</p> <p>※実習に伴う準備物等は、実施要項に掲載する。</p>			
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点		学習指導


No. 411	小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座			あつまる
開催日時	令和 4年 6月 3日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえながら、小中9年間を見通して数学的な見方・考え方を育てるための、算数科・数学科の授業の在り方について理解を深め、指導力の向上を図る。	あつなく
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	教諭(小・義・特支)、数学科担当教諭(中・義・特支)	定員	60名	2 5 6 7 5 15
内容	<p>文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 笠井 健一</p> <p>文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 水谷 尚人</p> <p>教科担任制を見据えて、数学的な見方・考え方を育てるための算数科・数学科の授業の在り方や教材研究の方策を学ぶ。</p>			
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点		学習指導

No. 412	高等学校数学科教育講座			あつまる
開催日時	令和 4年 6月27日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	新学習指導要領の趣旨を踏まえながら、明日の授業に活かせる具体的な教材とその展開例をもとに、評価規準、評価方法等について理解を深め、指導力向上を図る。	あつなく
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	数学科担当教諭(高・特支)	定員	60名	7 5 15
内容	<p>奈良学園大学 教授 吉田 明史</p> <p>数学的な見方・考え方を育てるための授業を構築するにあたり、高等学校数学科の具体的な教材とその展開例から学習指導要領改訂のポイントや、指導と評価の在り方について学び、具体的な方策を考える。</p>			
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点		学習指導





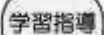






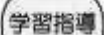
みる・まぐ	No.413	小中をつなぐ理科の見方・考え方講座			
	開催日時	令和 4年11月 8日(火) 14:00~17:00	講座の ねらい	小学校・中学校の学びの接続を意識し、より豊かで確かな「理科の見方・考え方」を身に付け科学的思考力を育む授業を創造する力を高める。	
あつまる	会場	各所属校(園)及び京都教育大学			
2 5 6	7 5 15	受講対象	教諭(小・義・特支)、理科担当教諭(中・義・特支)	定員	25名
		内容	京都教育大学 教授 谷口 和成  指定された動画の内容を踏まえ、より豊かで確かな「理科の見方・考え方」を育てる実践例をもとに、小・中学校をつないだ科学的思考力を育む理科の授業づくりについて考える。	 午後2時から開講	
連絡先		地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)		

あつまる	No.414	中高音楽「箏を奏でよう×タブレットで箏変奏曲を創ろう」講座			
	開催日時	令和 4年 8月23日(火) 13:00~17:00	講座の ねらい	箏の奏法を生かした技能を身に付けるとともに、タブレット端末を用いた変奏曲の創作を通して、伝統音楽におけるICTの効果的な活用方法を考える。	
2 5 6	会場	京都府総合教育センター北部研修所			
7 5 15	7 5 15	受講対象	音楽科担当教諭(中・義・特支) 芸術科音楽担当教諭(高・特支)	定員	15名
		内容	箏演奏家 立道 明美  箏曲「六段の調」の「初段」の実技を通して、効果的な箏の表現技能を身に付ける。 タブレット端末を用いた箏の変奏曲の創作を通して、伝統音楽におけるICTの効果的な活用方法を考える。		
連絡先		地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)		

あつまる	No.415	「我が国の伝統音楽」の指導と評価の一体化講座 ～能楽「敦盛」を教材として～			
	開催日時	令和 4年10月21日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	能楽「敦盛」の講義及び実習等を通して能楽の理解を深めるとともに、能楽の学習を通して育む資質・能力を考える。	
2 5 6	会場	京都府総合教育センター			
7 5 15	7 5 15	受講対象	音楽科担当教諭(中・義・特支) 芸術科音楽担当教諭(高・特支)	定員	30名
		内容	能楽師 同志社大学 客員教授 河村 晴久  能楽「敦盛」の講義を通して教材の理解を深める。 能楽「敦盛」の謡の実技を通して、謡の技能を身に付ける。 能楽の学習を通して育む資質・能力を考え、授業をデザインする。		
連絡先		地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)		

No. 416 中高国語科教育講座～探究的・問題解決型単元構想～				
開催日時	令和 4年10月 4日 (火) 13:00～17:00	講座の ねらい	今、求められている国語科の学習指導について、演習を通して教材の生かし方や読む力を育てる指導の在り方について学び、指導力の向上を図る。	 3 6
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	国語科担当教諭 (中・義・高・特支)	定員	70名	 15
内容	京都教育大学 教授 植山 俊宏  具体的な教材を使用し、演習を通して探究的・問題解決型単元構想の在り方や、授業改善の視点について学ぶ。			
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		主な指標の観点	

No. 417 中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座				
開催日時	令和 4年 6月14日 (火) 13:00～17:00	講座の ねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえ、中学校社会科地理的分野及び高等学校地理歴史科地理領域科目における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想を行い、指導力の向上を図る。	 3 6
会場	各所属校 (園)			
受講対象	社会科担当教諭 (中・義・特支)、地理歴史科・公民科担当教諭 (高・特支)	定員	70名	 15
内容	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 中嶋 則夫  学習指導要領の内容について理解を深め、中学校社会科地理的分野及び高等学校地理歴史科地理領域科目における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想を行う。			
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		主な指標の観点	

No. 418 中高をつなぐ理科の指導と評価講座				
開催日時	令和 4年10月 7日 (金) 13:00～17:00	講座の ねらい	理科授業の指導と評価の在り方について学び、指導力の向上を図る。	 3 6
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	理科担当教諭 (中・義・高・特支)、実習助手	定員	40名	 15
内容	文部科学省初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹  問題を解決し科学的に探究するために必要な資質・能力を育む授業づくりにおける、指導の改善の視点と学習評価の在り方を学び実践につなげるために研究協議を行う。			
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		主な指標の観点	



あつまる	No. 419	最先端科学から学ぶ講座		
	開催日時	令和 4年10月28日(金) 10:30~17:00	講座のねらい	先進的な研究施設において、第一線の研究者からの講義等を通して、最先端技術と実生活との関連や探究の方法等をどのように授業に生かすかを考える。
	会場	京都大学総合博物館		
受講対象	教諭(小・義・特支)、理科担当教諭(中・義・高・特支)、実習助手	定員	30名	
T 15	内容	京都大学理学研究科附属天文台 教授 横山 央明 准教授 野上 大作 京都大学国際高等教育院 副教育院長・特定教授 余田 成男	太陽や星、銀河に関する最新の研究や、地球の気候変動と極端気象から今後の展望について学び、これからの教育との関わりや授業への生かし方について考える。	
	連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点	学習指導












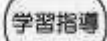
あつまる	No. 420	【美術館連携】中高美術講座～対話で深める鑑賞～		
	開催日時	令和 4年12月 2日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	対話によって見方や感じ方を深める鑑賞の授業について理解を深め、授業構想や授業実践の方策を見いだす。美術館と連携した鑑賞の授業構想や授業実践の方策を見いだす。
	会場	京都国立近代美術館		
受講対象	美術科担当教諭(中・義後・特支)、芸術科美術、芸術科工芸担当教諭(高・特支)	定員	30名	
2 5 6	内容	京都芸術大学 准教授 伊達 隆洋 京都国立近代美術館 研究員 松山 沙樹	対話による鑑賞の演習を通して、造形的な見方・考え方を働かせながら鑑賞の学習が深まっていく授業について実践的に学ぶ。 美術館と連携した鑑賞の授業構想のヒントを得る。	
T 15	連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		








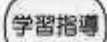



あつまる	No. 421	幼小特支「子どもに寄り添う図画工作科の授業」講座 ～表現に学ぶ子どもの多様性～		
	開催日時	令和 4年 8月25日(木) 13:00~17:00	講座のねらい	一人一人の子どもに寄り添い、資質・能力を伸ばす造形や図画工作科の授業づくりについて学ぶ。
	会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(幼・小・義・特支)、美術担当教諭(中・義・特支)、芸術科美術、芸術科工芸担当教諭(特支)	定員	50名	
2 5 6	内容	岡山大学大学院 教授 大橋 功	発達段階や知覚特性によって変わる指導や支援について学ぶ。 題材研究の演習を通して、今後の指導や支援について考える。	
T 15	連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		





No. 422	＜知っ得！内容B＞中学校技術講座			
開催日時	令和 4年 8月23日(火) 13:00～17:00	講座のねらい	学習指導要領の内容Bの指導のポイント及び評価について学ぶ。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	技術・家庭科(技術分野)担当教諭(中・義・特支)	定員	10名	    
内容	兵庫教育大学大学院 教授 森山 潤			
	学習指導要領の内容Bに関する効果的な指導と評価について学ぶ。			
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		主な指標の観点 	




No. 423	中高家庭科講座～授業に生かす高齢者介護の基礎～			
開催日時	令和 4年10月21日(金) 13:00～17:00	講座のねらい	学習指導要領で扱う内容を踏まえ、介護など高齢者との関わり方について学ぶとともに、その指導方法について考える。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	技術・家庭科(家庭分野)担当教諭(中・義後・特支)、家庭科担当教諭(高・特支)	定員	30名	    
内容	京都府福祉人材・研修センター 関係職員		    	
	高齢者との適切な関わり方を理解し、基礎的な介助方法を体験的に学ぶとともに、授業で実践する際の効果的な指導方法について考える。			
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		主な指標の観点 	




No. 424	中高外国語科教育講座Ⅰ～思考力を育てる言語活動～			
開催日時	令和 4年 7月 7日(木) 13:00～17:00	講座のねらい	目標・指導・評価の一体化を踏まえ、思考力・判断力・表現力を育成するための具体的な指導方法及び評価の工夫を考える。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	外国語科担当教諭(中・義・高・特支)	定員	30名	    
内容	朝日大学 教授 亀谷 みゆき			
	言語活動(技能統合)を通じた授業づくりの工夫及び適切に評価するための方策について学ぶ。 中学校で身に付けた力を高等学校でどのように伸ばしていくか、演習を通し学び、具体的な単元構想について考える。 ※講座番号143・157(外国語科担当教諭のみ)と一部合同実施			
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		主な指標の観点 	



No. 425	中高外国語科教育講座Ⅱ～学習評価の具体を探る～		
	開催日時	令和 4年12月 9日(金) 13:00～17:00	講座のねらい
会場	京都府総合教育センター	学習指導要領の趣旨を踏まえて、CAN-DOリストを生かした「指導と評価」の具体について学び、指導力の向上を図る。	
受講対象	外国語科担当教諭(中・義・高・特支)	定員	70名
内容	敬愛大学 教授 向後 秀明 観点別学習状況の評価の各観点の趣旨を理解し、CAN-DOリストを活用した授業改善と学習評価の在り方を考える。 他校種間において学習評価の今日的課題を共有し、演習を通して小中高連携の視点を踏まえた改善策を模索する。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

No. 426	道徳科の授業実践力向上講座		
	開催日時	令和 4年 6月10日(金) 13:00～17:00	講座のねらい
会場	京都府総合教育センター北部研修所	「特別の教科 道徳」の授業における質的改善のための方策を学び、指導力の向上を図る。	
受講対象	全教職員	定員	70名
内容	四天王寺大学 教授 杉中 康平 「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業の在り方について理解し、授業づくりの基礎・基本を身に付ける。 具体的な教材を用いて、教材の吟味や発問の構成について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

No. 427	道徳教育の推進講座		
	開催日時	令和 4年10月24日(月) 13:00～17:00	講座のねらい
会場	京都府総合教育センター	学習指導要領の趣旨を理解し、「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の推進のための方策について考える。	
受講対象	全教職員 ※道徳教育推進教師の受講を推奨する。	定員	100名
内容	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 浅見 哲也 「特別の教科 道徳」の質的転換を図るための具体的方策や、発達段階に応じた内容項目の取扱い方、学びを深めるための発問の在り方等について学ぶ。 各校における道徳教育の推進に向けた具体的方策を考える。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

No. 428 中堅期へのジャンプアップ講座 ～「資質・能力」を育成する指導と評価～				
開催日時	令和 4年 7月29日(金) 13:00～17:00	講座の ねらい	学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」について考えるとともに、ステージ2（中堅期）への展望をもつ。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	教諭（小・中・義・高・特支） ※3年目から6年目までの教諭の受講が望ましい。	定員	100名	
内容	京都大学大学院教育学研究科 教授 西岡 加名恵			2 3 6
	児童生徒が学習内容を深く理解し、これからの時代を生きぬいていくための「資質・能力」を身に付けられるよう、学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」や学習評価の在り方、特にパフォーマンス評価をどのように活用するかについて学び、ステージ2（中堅期）の目標を立てる。			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		主な指標の観点	学習指導

No. 429 学力充実講座Ⅰ～学習評価の工夫改善～				
開催日時	※内容参照	講座の ねらい	2回の講座を通して学習指導要領の趣旨の実現に向けた学習評価の具体について学び、求められる資質・能力を育成する授業を構想する。	
会場	1回目：各所属校（園） 2回目：京都府総合教育センター			
受講対象	教諭（小・中・義・高・特支）	定員	40名	
内容	國學院大學 教授 田村 学 1回目：令和4年5月27日（金）14：30～17：00 オンライン研修にて学習評価の具体について理解し、授業を構想する。 2回目：令和5年1月31日（火）13：00～17：00 集合研修にて実践を振り返り、再構成することを通して授業力の向上を図る。 ※2回で1講座のため、両日とも受講すること。			7 3 15
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）			

No. 430 学力充実講座Ⅱ～全国学力・学習状況調査を授業改善に活かす～				
開催日時	令和 4年11月 4日(金) 13:00～17:00	講座の ねらい	令和4年度全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学、理科）の結果から児童生徒の学力状況を明らかにするとともに、分析・検証方法や授業改善の方策等について理解を深める。	
会場	各所属校（園）			
受講対象	学力向上担当教諭（小・中・義・特支）	定員	450名	
内容	令和4年度全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学、理科）の結果に見られる本府児童生徒の学力状況及び成果と課題について学ぶ。 学習指導要領に基づき、内容の系統性を踏まえた効果的な授業の在り方を構想し、自校の実践に生かす。			
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		主な指標の観点	学習指導



專 門 研 修  
(領 域 等)



つなぐ	No. 501 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座		
	開催日時	令和 4年10月18日(火) 13:00~17:00	講座のねらい 今、求められている総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間の在り方について理解し、創意工夫あふれる授業の展開を構想する。
	会場	各所属校(園)	
受講対象	全教職員	定員	80名
2 5 6	内容	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 齋藤 博伸 総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間の在り方について理解を深めるとともに、質の高い探究的、協働的な学習に向けての方策や創意工夫あふれる授業の展開について、演習を通して具体的に学ぶ。	
7 15	連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)




あつまる	No. 502 人権教育講座Ⅰ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～		
	開催日時	令和 4年 8月 9日(火) 10:00~17:00	講座のねらい 人権教育を推進するための基本的な考え方や人権教育の指導の在り方等について理解を深め、的確に実践できる指導力の向上を図る。
	会場	京都府総合教育センター	
受講対象	全教職員	定員	50名
2 5 6	内容	京都教育大学 教授 浜田 麻里 外国にルーツをもつ児童生徒に係る人権課題の現状や支援の在り方について学ぶ。 人権学習資料の効果的な活用について学び、授業実践に生かす。 ※事務職員指定講座は、講座番号951で申し込むこと。 ※免許状更新講習は、講座番号984で申し込むこと。	
7 15	連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (人権)



午前10時から開講

つなぐ	No. 503 人権教育講座Ⅱ～同和問題を考える～		
	開催日時	令和 4年11月21日(月) 13:00~17:00	講座のねらい 現代的な課題を踏まえた人権教育の指導の在り方について学び、主体的かつ組織的に人権教育を推進するための校内研修の工夫や改善に生かす。
	会場	各所属校(園)	
受講対象	全教職員	定員	80名
7 15	内容	関西大学 教授 内田 龍史 同和問題の歴史的経過を振り返り、現代的な課題について理解を深め、これからの教育が果たす役割等について考える。同和教育の成果と手法を踏まえた、主体的かつ組織的な人権教育推進の方策について考える。 ※事務職員指定講座は、講座番号952で申し込むこと。	
7 15	連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (人権)



No. 504 生徒指導講座 ～学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図る～			
開催日時	令和 4年11月 8日(火) 13:00～17:00	講座の ねらい	児童生徒理解に基づいた生徒指導の在り方について理解を深め、生徒指導の機能を生かした学校づくりについて学ぶ。
会場	各所属校(園)		
受講対象	全教職員 ※生徒指導主任(部長)は積極的に受講すること。	定員	90名
内容	日本大学文理学部 教授 藤平 敦  児童生徒の理解を深め、学習指導と関連付けた生徒指導の在り方について学ぶ。 教育活動全体を通じた生徒指導の在り方や生徒指導の充実を図るために、いかに周囲の教職員の動きをつくるかについて学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		主な指標の観点 (生徒指導)




2  
3  
6  
7  
15

No. 505 特別活動講座～今こそ求められる特別活動の教育力～			
開催日時	令和 4年 7月 8日(金) 13:00～17:00	講座の ねらい	特別活動の意義や学校の教育活動全体における役割、指導方法等の本質を学び、特別活動の充実に向けた実践的な指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	80名
内容	國學院大學 教授 杉田 洋  特別活動の意義や集団活動を通じた児童生徒の自治的能力の育成について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		主な指標の観点 (生徒指導)




2  
3  
6  
7  
15

No. 506 学級、ホームルーム経営講座 ～よりよい学級、ホームルームを創造する～			
開催日時	令和 4年 6月24日(金) 13:00～17:00	講座の ねらい	児童生徒の学習や学校生活の基盤である学級、ホームルームの在り方について学ぶとともに、学級、ホームルーム担任としての教師の営みを考え、学級、ホームルーム経営の力量を高める。
会場	各所属校(園)		
受講対象	全教職員	定員	90名
内容	愛媛大学大学院教育学研究科 教授 愛媛大学教職総合センター センター長 白松 賢  児童生徒の学習や学校生活の基盤である学級、ホームルームの在り方や学級、ホームルーム担任としての教師の営みを学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		主な指標の観点 (生徒指導)



2  
3  
6  
7  
15

つなぐ	No. 507 情報モラル教育講座		
	開催日時	令和 4年 5月 19日 (木) 10:30~17:00	
	会場	各所属校 (園)	
	受講対象	全教職員	
		講座のねらい	情報社会の特性や最新事情、新たな情報モラル教育の基本的な考え方や重要性を学び、指導力の向上を図る。
		定員	80名
2 5 6	内容	鳥取県情報モラルエドゥケーター 国際大学GLOCOM客員研究員 今度 珠美  児童生徒を取り巻く情報社会の実情を学び、児童生徒の実態に基づいた効果的な指導や保護者への啓発、児童生徒と共に考える新たな情報モラル教育について理解を深める。	
7 15	連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 (生徒指導)

あつまる	No. 508 情報教育講座		
	開催日時	令和 4年 8月 3日 (水) 10:00~17:00	
	会場	京都府総合教育センター	
	受講対象	全教職員	
		講座のねらい	学習指導要領に示されている情報活用能力の育成等を踏まえて、現在の情報教育の動向を理解し、学校におけるICT活用や情報活用能力、情報モラル教育の指導力向上を図る。
		定員	90名
2 5 6	内容	園田学園女子大学 教授 堀田 博史  児童生徒の情報活用能力を育成するために、学校におけるICT活用や情報教育の最新動向等を知り、授業づくりの方法を学ぶ。  ※免許状更新講習は、講座番号985で申し込むこと。	午前10時から開講
7 15	連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 (学習指導)



あつまる	No. 509 小学校プログラミング教育講座		
	開催日時	令和 4年 9月 2日 (金) 10:30~17:00	
	会場	京都府総合教育センター	
	受講対象	教諭 (小・義・特支)	
		講座のねらい	人間がコンピュータに意図した処理を行うように指示できることを理解し、児童に体験させる指導方法について学び、指導力の向上を図る。
		定員	30名
2 5 6	内容	NPO法人学習開発研究所 理事 (代表) 帝塚山学院大学 非常勤講師 高橋 参吉 ほか  プログラミング教育の考え方を学ぶ。 問題解決の目的や状況に応じて、情報と情報技術を効果的に活用するための考え方を理解する。	
7 15	連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 (学習指導)



No.510	中学校・高等学校プログラミング教育講座			あつまる
開催日時	令和 4年 9月 5日 (月) 10:30~17:00	講座の ねらい	人間がコンピュータに意図した処理を行うように指示できることを理解し、生徒に体験させる指導方法について学び、指導力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター			定員
受講対象	技術・家庭科(技術分野)担当教諭(中・義・特支)、情報科担当教諭(高・特支)			2 5 6
内容	大阪電気通信大学 特任講師 大村 基将  学習指導要領における中学校・高等学校でのプログラミング教育についての基本的な考え方を学ぶ。 手順を論理的に示すアルゴリズムやプログラミングの基礎的な学習、データサイエンスに関する指導方法について学ぶ。			
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点		7 5 15
				学習指導


No.511	京の教育「みやび」講座			あつまる
開催日時	令和 4年11月 7日 (月) 13:00~17:00	講座の ねらい	第2期京都府教育振興プランの実現に向け、京都の歴史、伝統・文化について学び、教科等横断的な視点で効果的な学習を着想し、実践につなげるための基盤を養う。	
会場	京都府総合教育センター			定員
受講対象	全教職員			7 5 15
内容	茂山狂言会 大蔵流狂言師 茂山 千五郎 他2名  「狂言」の歴史や見方について、講義と実演の鑑賞から体験的に学ぶことで、教科横断的な視点で効果的な学習を着想し、実践につなげるための基礎を養う。(演目は「柿山伏」・「附子」の予定)			
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点		京都なら ではの教育



No.512	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ～山城郷土資料館で学ぶ～			あつまる
開催日時	令和 4年10月28日 (金) 13:00~17:00	講座の ねらい	京都府立山城郷土資料館での見学、講義等を通し、地域の歴史、伝統・文化への認識を深め、地域人材を活用した取組から、「ふるさと京都」の地域教材の開発・活用についての指導力向上を図る。	
会場	京都府立山城郷土資料館			定員
受講対象	全教職員			2 5 6
内容	アートNPOこみねっと 理事 大橋 敏裕 京都府立山城郷土資料館 職員  山城地域の特色ある文化財の見学を通して歴史、伝統・文化を守り伝えることの重要性について学ぶ。京都府立山城郷土資料館の常設展及び特別展の見学や講義、地域人材による講義を通して、地域の歴史と未来について考え、地域教材の開発及び活用についての方策を考える。			
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点		7 5 15
				京都なら ではの教育







あつまる 	No.513 地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～			
	開催日時	令和 4年11月 4日(金) 13:00～17:00	講座の ねらい	京都府立丹後郷土資料館での見学、講義等を通し、地域の歴史、伝統・文化への認識を深め、地域人材を活用した取組から、「ふるさと京都」の地域教材の開発・活用についての指導力向上を図る。
	会場	京都府立丹後郷土資料館		
受講対象	全教職員	定員	30名	
2 5 6	内 容	京都府北部地域連携都市圏振興社（通称：海の京都DMO） 職員 京都府立丹後郷土資料館 職員		
7 15	連 絡 先	企画研究部（075-612-2950）		
		主な指標の観点		京都なら ではの教育

あつまる 	No.514 図書館教育講座 ～調べ学習を支援する学習センターとしての在り方～			
	開催日時	令和 4年 8月25日(木) 10:30～17:00	講座の ねらい	図書館の機能を活用し、児童生徒が主体的に学ぶ、「調べ学習」を位置付けた授業構想力の向上を図る。
	会場	京都府立図書館		
受講対象	全教職員	定員	30名	
2 5 6	内 容	立教大学 兼任講師 中山 美由紀 京都府立図書館 職員 京都府立図書館の取組から、図書館の「学習センター」「情報センター」としての役割について学ぶ。 講義や演習を通して具体的に調べ学習を構想することにより、自校の図書館教育で今後進めたい取組について、実践への意欲と展望をもつ。 ※講座番号205と合同実施 ※事務職員指定講座番号953		
7 15	連 絡 先	研修・支援部（075-612-2952）		
		主な指標の観点		学習指導


あつまる 	No.515 教育相談＜初級＞講座 ～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】			
	開催日時	令和 4年 7月26日(火) 10:30～17:00	講座の ねらい	子どもを理解し、対応する力の基礎を学び、教育相談の力量の向上を図る。
	会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	70名	
2 5 6	内 容	ファミリーカウンセリングルーム松ヶ崎ふくらむ 代表カウンセラー 京都教育大学 非常勤講師 岩本 脩平 教職員として身に付けたい教育相談の基礎を学ぶ。また、ロールプレイを通して、児童生徒のこころを感じ、共感的に理解することの大切さについて考える。 ※中級・上級講座受講のためには、原則本講座を受講済であること（詳細はP32を参照）。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ※領域について            【領域①】事例の見立て            【領域②】心のしくみ            【領域③】相談技法         </div>
7 15	連 絡 先	教育相談部（075-612-2959）		
		主な指標の観点		生徒指導


No.516	教育相談<中級>講座Ⅰ ～事例を通して深める思春期・青年期の理解～【領域①】			
開催日時	令和 4年10月28日(金) 13:00～17:00	講座の ねらい	いじめや不登校の防止と解決に必要な教育相談の知識・技能を習得し、子どもを理解し、対応する力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	全教職員 ※受講条件あり	定員	70名	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ※領域について            【領域①】事例の見立て            【領域②】心のしくみ            【領域③】相談技法         </div>
内容	放送大学 教授 大山 泰宏  <b>【領域①】</b> 「見立て」の視点を学ぶ。思春期、青年期の事例を通して、見立てに応じた関わりについて考える。  ※受講条件の詳細はP 32を参照		主な指標の観点 (生徒指導)	
連絡先	教育相談部 (075-612-2959)			T 5 15


No.517	教育相談<中級>講座Ⅲ ～子どもと保護者のこころの声を聴く～【領域③】			
開催日時	令和 4年11月11日(金) 13:00～17:00	講座の ねらい	いじめや不登校の防止と解決に必要な教育相談の知識・技能を習得し、子どもを理解し、対応する力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	全教職員 ※受講条件あり	定員	50名	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ※領域について            【領域①】事例の見立て            【領域②】心のしくみ            【領域③】相談技法         </div>
内容	龍谷大学 教授 内田 利広  <b>【領域③】</b> 児童生徒や保護者のこころに寄り添うための聴き方や、聴く意味について学び、関わりに生かす。  ※受講条件の詳細はP 32を参照		主な指標の観点 (生徒指導)	
連絡先	教育相談部 (075-612-2959)			T 5 15

No.518	教育相談<上級>講座Ⅱ ～学校と医療とのよりよい連携に向けて～【領域②】			
開催日時	令和 4年11月24日(木) 13:00～17:00	講座の ねらい	教育相談に必要な専門的知識・技能の向上とともに、学校の教育相談機能を充実させる中心的な役割を果たすために、子どもの理解を深め、対応する力及びコーディネートする力の向上を図る。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	全教職員 ※受講条件あり	定員	70名	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ※領域について            【領域①】事例の見立て            【領域②】心のしくみ            【領域③】相談技法         </div>
内容	京都府精神保健福祉総合センター 医療福祉課長 小野 淳子  <b>【領域②】</b> 児童生徒のこころと身体について、心身医学・精神医学の視点から理解を深め、学校としての対応や医療との連携の取り方について学ぶ。  ※受講条件の詳細はP 32を参照		主な指標の観点 (生徒指導)	
連絡先	教育相談部 (075-612-2959)			T 5 15






	No. 519 「今を生きる子どものこころ」講座 ～自分を傷つけてしまう子どもたち～自傷、自殺を考える～			
	開催日時	令和 4年 8月17日(水) 13:00～17:00	講座の ねらい	いじめ、非行、不登校等の諸課題について、子どもたちのこころの視点から見つめ直し、より深い児童生徒理解を促進するとともに喫緊の教育課題に対する指導力向上を図る。
	会場	各所属校(園)		
	受講対象	全教職員	定員	200名
2 5 6	内容	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依存研究部 部長 薬物依存症センター センター長 松本 俊彦  子どもが自傷、自殺に至ってしまう背景や心情など子どもたちのこころの世界について理解し、必要な対応について学ぶ。 ※事務職員指定講座は、講座番号954で申し込むこと。		
7 5 15	連絡先	教育相談部(075-612-2959)	主な指標の観点	(生徒指導)

	No. 520 教職員のメンタルヘルス講座 ～メンタルヘルスからウェルネスへ～			
	開催日時	令和 4年10月18日(火) 13:00～17:00	講座の ねらい	メンタルヘルスについての知識や心理学的理解を深め、ストレスへの実践的な対処法を体験的に学び、教職員のこころの健康づくりに生かす。
	会場	京都府総合教育センター		
	受講対象	全教職員	定員	70名
2 5 6	内容	鹿児島大学 名誉教授 花園大学 教授 松本 繁  健康観の変化に伴い、メンタルヘルスから移行しつつあるウェルネス(よりよく自分を生かす)という概念に基づき、実践的な対処法や技法を体験的に学ぶ。 ※事務職員指定講座は、講座番号955で申し込むこと。		
7 5 15	連絡先	教育相談部(075-612-2959)	主な指標の観点	(基本的資質能力)

	No. 521 特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携 「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座			
	開催日時	令和 4年 5月17日(火) 13:00～17:00	講座の ねらい	特別支援学級、通級による指導の基礎的・基本的な内容について理解する。
	会場	各所属校(園)		
	受講対象	全教職員 ※初めての特別支援学級担任及び通級指導教室担当者は積極的に受講すること。	定員	200名
2 5 6	内容	立命館大学 教授 青山 芳文 社会福祉法人福知山学園 児童発達領域スペシャリスト 奥村 康枝 特別支援学級又は通級による指導の教育課程の編成(一方を選択)、自立活動等基礎的な内容(全受講者共通)について学ぶ。 ※特別支援学級又は通級による指導を一部選択受講するため、申込みの際は、受講管理システムの備考欄に「特別支援学級」又は「通級による指導」の希望を明記すること。		
7 5 15	連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)	主な指標の観点	(生徒指導)




No.522	特別支援教育 「知的障害のある児童生徒の指導とキャリア教育」講座			
開催日時	※内容参照	講座の ねらい	知的障害の障害特性について学ぶとともに、知的障害の教育的対応の基本及び教育課程の編成等について理解を深める。	2 3 6
会場	各所属校（園）			
受講対象	全教職員	定員	100名	7 15
内容	<p>知的障害の理解、教育的対応の基本、教育課程の編成、キャリア教育、指導の工夫等に関する動画（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所配信、各10～25分程度）を4本視聴する。</p> <p>※視聴期間 令和4年6月13日（月）～令和4年6月24日（金） ※オンデマンド研修の受講についてはP152を参照</p>			
連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）		主な指標の観点	（生徒指導）





No.523	特別支援教育「肢体不自由児童生徒への指導・支援」講座			
開催日時	令和 4年 7月29日（金）13:00～17:00	講座の ねらい	肢体不自由のある児童生徒の指導・支援等について理解を深め、テクノロジー等進歩する技術を学ぶとともに、ICTを活用した授業について学び、実践に生かす。	2 3 6
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	全教職員	定員	30名	7 15
内容	<p>帝京大学 教授 金森 克浩</p> <p>肢体不自由の障害について、基礎的・基本的な事項を学ぶ。 肢体不自由のある児童生徒の障害特性や実態に合わせた支援内容について学び、ICTをより有効に活用した授業づくりについて知識を深める。</p>			
連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）		主な指標の観点	（学習指導）





No.524	特別支援教育「アセスメントを支援に生かす」講座 （コーディネータースキルアップ講座）			
開催日時	令和 4年 8月19日（金）10:00～17:00	講座の ねらい	SST（ソーシャルスキルトレーニング）の概要やアセスメントの基本的事項について知り、適切な行動のための支援やアセスメントに基づく指導の在り方について理解を深める。	2 3 6
会場	各所属校（園）			
受講対象	全教職員	定員	100名	7 15
内容	<p>京都教育大学 准教授 佐藤 美幸 平安女学院大学短期大学部 教授 清水 里美</p> <p>基本的な発達の道筋や障害の捉え方及び適切な行動のための支援について学ぶ。</p> <p>※免許状更新講習は、講座番号987で申し込むこと。</p>			
連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）		主な指標の観点	（チーム学校）

みる・まぐ	No. 525	特別支援教育コーディネーター養成講座【基礎】		
	開催日時	※内容参照		講座のねらい
	会場	各所属校（園）		
	受講対象	全教職員		
		定員	100名	
2 5 6	内容	<p>京都府におけるインクルーシブ教育システム、特別支援教育の理念と基本的な考え方、コーディネーターの役割等に関する動画（各20～30分程度）を4本視聴する。</p> <p>※特別支援教育コーディネーター養成講座の必修講座          ※特別支援教育コーディネーター以外の受講も可          ※視聴期間 令和4年8月1日（月）～令和4年8月19日（金）          ※オンデマンド研修の受講についてはP152を参照</p>		
7 5 15	連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）	主な指標の観点	（チーム学校）

あつまる	No. 526	特別支援教育コーディネーター養成講座【実践】		
	開催日時	令和 4年 8月30日（火）13:00～17:00	講座のねらい	特別支援教育コーディネーターとしての任務について具体的実践を基に学ぶとともに、校内の共通理解と支援体制の構築等について学ぶ。
	会場	京都府総合教育センター北部研修所		
	受講対象	全教職員		
		定員	100名	
2 5 6	内容	<p>神戸親和女子大学 准教授 武富 博文</p> <p>講義や演習を通して、児童生徒の気になる行動を具体的にイメージしながら、その行動をいかに理解し、コーディネーターとして校内の共通理解と支援体制を構築し支援するか等について学ぶ。</p> <p>※特別支援教育コーディネーター養成講座の必修講座          ※特別支援教育コーディネーター以外の受講も可</p>		
7 5 15	連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）	主な指標の観点	

みる・まぐ	No. 527	特別支援教育「視覚障害のある児童生徒の授業づくり」講座		
	開催日時	令和 4年10月 7日（金）13:00～17:00	講座のねらい	視覚障害のある児童生徒への授業づくりの基本的な考え方について理解を深める。
	会場	各所属校（園）及び京都府立盲学校		
	受講対象	全教職員		
		定員	15名	
2 5 6	内容	<p>授業参観や施設見学等を通して、視覚障害のある児童生徒への効果的な指導方法を学ぶ。視覚障害のある児童生徒の障害について理解し、特性に応じた指導・支援の在り方を学ぶ。</p> <p>※事前のオンデマンド研修として、視覚障害の特性、教育課程に関する動画（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所配信、30分程度）を視聴する。</p> <p>※Web+研修（集合）の受講についてはP153を参照</p>		
7 5 15	連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）	主な指標の観点	（人権）

No. 528	特別支援教育「読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援」 講座～アセスメントと実践事例～			
開催日時	令和 4年10月28日(金) 13:00～17:00	講座の ねらい	読み書きに困難のある児童生徒への効果 的な指導・支援等について理解を深める。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	全教職員	定員	100名	
内容	<p>東京大学先端科学技術研究センター 准教授 近藤 武夫</p> <p>読み書きに困難のある児童生徒へのアセスメントやICTを活用した指導・支援の実践例、合理的配慮の提供及び最新の動向等について学ぶ。</p> <p>※特別支援教育コーディネーター養成講座の選択講座</p>			
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)		主な指標の観点	(学習指導)

No. 529	特別支援教育・京都教育大学サテライト 「思春期・青年期における発達障害の特性理解」講座			
開催日時	令和 4年11月 1日(火) 13:00～17:00	講座の ねらい	発達障害のある児童生徒への生涯に渡る 一貫した支援について学び、心身の健康を 含む自立と社会参加について考える。	
会場	キャンパスプラザ京都			
受講対象	全教職員	定員	100名	
内容	<p>京都教育大学 教授 相澤 雅文 京都教育大学 教授 小谷 裕実</p> <p>思春期・青年期に見られる発達障害の特性から生じる困難さを学ぶとともに、医療連携の視点から生涯に渡る一貫した支援について考える。 ※京都教育大学教職キャリア高度化センター・総合教育臨床センターとの連携講座 ※特別支援教育コーディネーター養成講座の選択講座</p>			
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)		主な指標の観点	(生徒指導)



専 門 研 修  
(コミュニケーション能力)





No. 601	コミュニケーション基礎講座～ビジネスマナーから考える～ (企業連携)		
開催日時	令和 4年 6月21日(火) 13:00～17:00	講座の ねらい	児童生徒や保護者との円滑でよりよい関係を築くためのコミュニケーション能力を身に付ける。
会場	各所属校(園)		
受講対象	全教職員	定員	20名
内容	<p>児童生徒や保護者との対応を円滑に行うためのコミュニケーションの基礎を学ぶ。ビジネスマナーの意義と重要性を再認識し、接遇、電話対応、来客対応などの場面を想定した講義を行う。</p> <p>※講座番号202・204・207と合同実施 ※事務職員指定講座は、講座番号956で申し込むこと。</p>		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点	基本的 資質能力


2  
5  
6


No. 602	コミュニケーション講座～職場実践に生かす～(企業連携)		
開催日時	令和 4年 8月19日(金) 13:00～17:00	講座の ねらい	児童生徒、保護者及び他の教職員とよりよい人間関係を築くための積極的なコミュニケーション能力を身に付ける。
会場	各所属校(園)		
受講対象	全教職員	定員	50名
内容	<p>社会人としてのコミュニケーションの基本知識に始まり、児童生徒や保護者とのコミュニケーションに必要な傾聴のスキル、苦情への対処法を含めた、学校内外の様々な方との対応に生かすことができる有効なコミュニケーションスキルについてグループワーク等を通して学ぶ。</p> <p>※事務職員指定講座は、講座番号957で申し込むこと。</p>		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点	基本的 資質能力

T  
5  
15

No. 603	コミュニケーション発展講座～人材育成に生かす～(企業連携)		
開催日時	令和 4年10月31日(月) 13:00～17:00	講座の ねらい	他の教職員の活動に関わり助言・支援することのできるコミュニケーション能力を身に付け、職場での人材育成等に活用する。
会場	各所属校(園)		
受講対象	全教職員 ※教職経験7年目以上	定員	50名
内容	<p>教職員の育成にあたり、若手が育つ職場とは何かを考え、OJTの指導員に求められることや実施に際しての考え方、計画の立て方とコミュニケーションスキルについてグループワーク等を通して学ぶ。</p> <p>※事務職員指定講座は、講座番号958で申し込むこと。</p>		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点	チーム学校

T  
5  
15

No. 604	子どもの力を引き出す教育コーチング講座（企業連携）			
開催日時	令和 4年 6月27日（月） 10:30～17:00	講座の ねらい	児童生徒の意欲と能力を引き出し、省察力の向上を支援するコーチングの手法について体得する。	2 5 6
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	全教職員	定員	70名	7 5 15
内容	児童生徒の意欲と能力を引き出す教育コーチングの目的と基本的な考え方を理解し、基本技術を習得する。傾聴・質問・承認の機能とその基本技術を中心に、ワークやロールプレイング等の演習を交えて実践的に学ぶ。			
連絡先	企画研究部（075-612-2950）		主な指標の観点	生徒指導

No. 605	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）			
開催日時	令和 4年10月14日（金） 13:00～17:00	講座の ねらい	他の教職員の活動に積極的に関わり助言・支援しながら、学校運営に的確に参画し役割を果たすための基本的なコーチングスキルを身に付ける。	7 5 15
会場	各所属校（園）			
受講対象	全教職員 ※教職経験7年目以上	定員	50名	
内容	コーチングの基本スキルである傾聴・承認・質問のスキルを用いて、児童生徒や後輩教職員の指導・育成手法を学ぶ。また、質問を取り入れた会議運営の在り方を通して組織の活性化について学ぶ。  ※事務職員指定講座は、講座番号959で申し込むこと。			
連絡先	企画研究部（075-612-2950）		主な指標の観点	チーム学校



専 門 研 修  
(チームマネジメント能力)





No. 701	危機管理講座		
開催日時	令和 4年 7月 1日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要、学校安全の確保に向けた危機管理能力及び危機対応力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	副校長・教頭、事務長、総、教諭、養、事(幼・小・中・義・高・特支)※未受講の副校長・教頭、事務長は必ず受講すること。	定員	100名
内容	文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官 森本 晋也  学校安全の現状及び第3次学校安全の推進に関する計画について理解し、各校における安全教育に関する課題を明確にする。また、学校における危機管理及び組織体制の在り方について理解を深め、自校の課題について解決の方策を探る。		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>	



No. 702	教育法規演習講座～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～		
開催日時	※内容参照	講座の ねらい	教育法規についての理解を深めるとともに、判例をもとに学校の責任ある行動について考えることを通し、法的思考力を高める。
会場	各所属校(園)		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	指定動画コンテンツを視聴し、判例をもとに学校の責任ある行動について考える。 ※視聴期間 令和4年8月1日(月)～令和4年8月31日(水) ※オンデマンド研修の受講についてはP152を参照		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>	



No. 703	学校内外環境分析講座～学校の強みを生かした特色づくり～		
開催日時	令和 4年 9月27日(火) 13:00~17:00	講座の ねらい	学校内外の環境分析(SWOT分析)の手法を学び、特色ある学校づくりに生かすマネジメント力を高める。
会場	各所属校(園)		
受講対象	全教職員 ※教職経験7年目以上	定員	50名
内容	滋賀大学教職大学院 教授 大野 裕己  学校内外の環境分析(SWOT分析)の手法を学び、特色ある学校づくりに向けた自身の職務の在り方について考察する。  ※京都教育大学教職キャリア高度化センター連携講座 ※講座番号302と合同実施		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>	

No. 704	地域の教育活性化とスクールリーダー講座		
開催日時	令和 4年11月11日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	「地域とともにある学校」の推進に向けた学校と地域社会の連携・協働の在り方について理解を深め、ミドルリーダーとしての自覚を高める。
会場	各所属校(園)		
受講対象	全教職員 ※教職経験7年目以上	定員	50名
内容	愛媛大学大学院教育学研究科 教授 露口 健司  講義及び協議により、「地域とともにある学校」の推進に向けた保護者や地域社会との連携・協働の在り方を学ぶとともに、地域の教育の活性化に資するスクールリーダーとしての意識を高める。  ※講座番号303と合同実施		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 (チーム学校)	



7  
5  
15

No. 705	企業から学ぶマネジメント講座～経営哲学から学ぶ～(企業連携)		
開催日時	令和 4年11月29日(火) 13:00~17:00	講座の ねらい	校務分掌組織の中心となって学校運営に参画し、学校組織の活性化や人材育成において役割を果たすため、企業における組織マネジメントや人材育成の手法を学ぶ。
会場	各所属校(園)		
受講対象	全教職員	定員	80名
内容	前半は企業の経営哲学や人材育成、マネジメントの考え方を講義から学び、企業の知恵を学校現場で生かすことを考える。後半は経営理論の講義やグループ協議等を通して、前半の気付きや学びを深め、学校組織の活性化に向けた具体的施策を考える。		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 (マネジメント)	



7  
5  
15

No. 706	多忙化への対応とセルフマネジメント講座(企業連携)		
開催日時	令和 4年10月 7日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	多忙化に対応し、効率的な業務の遂行に向けて業務改善を図るため、生産性の高い仕事を実現するためのセルフマネジメントの考え方を学ぶ。
会場	各所属校(園)		
受講対象	全教職員	定員	35名
内容	求められる役割や期待について理解を深め、セルフマネジメントの重要性を理解する。周囲との効果的な連携の手法や、生産性の高い仕事を実現するための考え方・スキルについて学ぶ。		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 (マネジメント)	

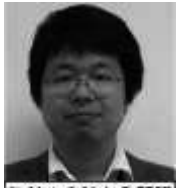



2  
5  
6

7  
5  
15



あつまる	No. 707 ファシリテーション講座～会議運営に生かす～（企業連携）		
	開催日時	令和 4年 7月25日（月）10:30～17:00	講座のねらい
	会場	京都府総合教育センター	
	受講対象	全教職員	効率的な業務遂行のため、効果的で生産性の高い会議・ミーティング運営を目指すことで業務改善を図り、多忙化の解消につなげる。
		定員	
	内容	会議におけるファシリテーションの活用術を学ぶことで、限られた時間の中に「より深い議論を行うこと」と「まとめること」の重要性について理解を深める。またファシリテーターとしてのスキルを高め、会議進行のフレームワークを理解し、効果的な「場」を作り上げるスキルを身に付ける。	
15	連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>

あつまる	No. 708 学びづくりのカリキュラム・マネジメント講座		
	開催日時	令和 4年 8月17日（水）10:00～17:00	講座のねらい
	会場	京都府総合教育センター北部研修所	
	受講対象	全教職員	「カリキュラム・マネジメント」の実現に向けて、基本的な考え方を理解するとともに、演習を通して学級づくりや授業づくり、学びの環境づくりの観点から教育課程改善の方法について学ぶ。
		定員	
256	内容	奈良教育大学 教授 赤沢 早人  教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現に向けて、基本的な考え方を学ぶとともに、目指す児童生徒の姿に基づいて、教科指導や学校経営、学校行事といった指導機会をどのようにデザインすればよいかを検討する。 ※免許状更新講習は、講座番号988で申し込むこと。	
15	連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>

あつまる	No. 709 学校運営のためのカリキュラム・マネジメント講座		
	開催日時	令和 4年 9月30日（金）13:00～17:00	講座のねらい
	会場	京都府総合教育センター	
	受講対象	全教職員	自校の教育目標を達成するための「カリキュラム・マネジメント」を勤務校で推進するための実践力を養う。
		定員	
15	内容	奈良教育大学 教授 赤沢 早人  京都府教員等の資質能力の向上に関する指標におけるキャリアステージ3（充実期）としての実践につなげるため、自身及び自校の実践を振り返る。また、講義・演習を通して、カリキュラム・マネジメントの必要性や概念について理解し、カリキュラムを構築、改善及び組織的に推進する視点や方策について学ぶ。	
15	連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>

No. 710	最新教育動向講座Ⅰ			講座のねらい	最新の教育動向や研究成果から幅広く見識を養い、より一層の学校経営の充実と改善に生かすために必要な資質・能力を高める。
開催日時	令和 4年 6月17日(金) 13:00~17:00	会場	京都府総合教育センター北部研修所又は各所属校(園)		
受講対象	全教職員			定員	200名
内容	山口県教育庁義務教育課 主幹 相田 康弘				
	「社会に開かれた教育課程」の趣旨を理解するとともに、カリキュラム・マネジメントの重要性とその実践事例を踏まえながら、各校での実現に向けての方策を学ぶ。				
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		主な指標の観点		マネジメント

あつまる



つなぐ

7  
5  
15

No. 711	最新教育動向講座Ⅱ			講座のねらい	最新の教育動向や研究成果から幅広い見識を養い、より一層の学校経営の充実と改善に生かすために必要な資質・能力を高める。
開催日時	令和 4年11月22日(火) 13:00~17:00	会場	みやづ歴史の館又は各所属校(園)		
受講対象	全教職員 ※教職経験16年以上 ※事務職員の受講も推奨する。			定員	200名
内容	文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部 企画調査官 廣田 貢				
	「社会に開かれた教育課程」の趣旨を理解するとともに、コミュニティ・スクールの重要性とその実践事例を踏まえながら、各校での実現・実践・改善に向けた方策について学ぶ。				
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		主な指標の観点		チーム学校

あつまる



つなぐ





專 門 研 修  
(職 能 別 等)






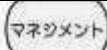
No. 801	校長講座		
開催日時	令和 4年 6月20日 (月) 13:00~17:00	講座のねらい	社会や教育をめぐる今日的課題について学び、校(園)長として学校経営の充実と改善に生かす。
会場	各所属校(園)		
受講対象	校(園)長(幼・小・中・義・高・特支)	定員	400名
内容	<p>元京都大学 総長 静岡県立大学 学長 尾池 和夫 京セラ株式会社 執行役員 広報室長兼ダイバーシティ推進室長 吉川 英里</p> <p>最高責任者としてリーダーシップを発揮し、学校経営・管理及び教職員の人材育成を推進し、経営の充実と改善を図ることについて学ぶ。</p>		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点	基本的資質能力












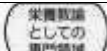
No. 802	副校長・教頭・事務長講座		
開催日時	令和 4年10月25日 (火) 13:00~17:00	講座のねらい	社会や学校が抱える今日的課題を踏まえ、副校長・教頭、事務長としての見識を高め、自校の学校経営の充実と改善を図る。
会場	各所属校(園)		
受講対象	副・頭、事務長(小・中・義・高・特支)	定員	450名
	※811・812講座の対象者は必ず受講		
内容	<p>元京都府立大学 副学長 京都先端科学大学 教授 田中 和博 ワコールアイネクスト株式会社 代表取締役社長 鳥屋尾 優子</p> <p>社会の今日的課題と動向、学校内外の状況を的確に把握し、ビジョンを持ってリーダーシップを発揮することについて学び、自校の学校経営の充実と改善に生かす。</p>		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点	基本的資質能力



No. 803	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座		
開催日時	※内容参照	講座のねらい	校長の方針のもと、自校の特色、課題を踏まえ明確なビジョンを持ち、円滑な教育活動及び学校経営の充実と改善を図る。
会場	各所属校(園)		
受講対象	新任副・頭、新任事務長(小・中・義・高・特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>リーダーとして不断の研鑽に励み、自らの人格や調整力等の資質能力を高めながら、学校経営に参画することについて学ぶ。</p> <p>また、自校の課題を踏まえ、人権や危機管理に配慮した学校経営の充実と改善について学ぶ。</p> <p>※視聴期間 令和4年4月25日(月)~令和4年5月31日(火) ※オンデマンド研修の受講についてはP152を参照</p>		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点	基本的資質能力

No. 804	管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座			
開催日時	令和 4年 5月20日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	年度当初に管理職として必要なメンタルヘルス、特別支援教育に関する知識を得て学校運営に生かす。	
会場	各所属校(園)			
受講対象	校(園)長、副・頭、事務長、総 (幼・小・中・義・高・特支) ※新任の管理職は必ず受講すること。	定員	200名	
内容	兵庫教育大学大学院 教授 藤原 忠雄 宮城学院女子大学 教授 梅田 真理 組織的・計画的にメンタルヘルス対策を推進するために、管理職が果たすべき役割について学ぶ。 インクルーシブ教育システム構築や合理的配慮の提供等の今日的課題を踏まえ、学校マネジメントに生かす視点を学ぶ。 ※新任府立学校事務長は、講座番号814で申し込むこと。			
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点		

No. 805	養護教諭講座			
開催日時	令和 4年 8月17日(水) 13:00~17:00	講座の ねらい	健康課題が多様化・複雑化している幼児児童生徒への支援の在り方を学び、指導力の向上を図る。	
会場	京都府立京都学・歴彩館			
受講対象	養護教諭(幼・小・中・義・高・特支) ※特に、6年目の養護教諭は受講することが望ましい。	定員	100名	
内容	神奈川県立精神医療センター 副院長 小林 桜児  依存症になる背景や実際の臨床での治療法、養護教諭としての初期対応やグループセラピーの実際などについて学ぶ。  ※講座番号187と合同実施			
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)	主な指標の観点		

No. 806	栄養教諭・学校栄養職員講座			
開催日時	令和 4年 8月 3日(水) 10:30~17:00	講座の ねらい	ICTを効果的に活用した食育の指導について学び、指導力の向上を図るとともに子どもを育む食育の在り方について専門的な知識を深める。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
受講対象	栄養教諭・学校栄養職員(小・中・義・特支)	定員	70名	
内容	京都教育大学 教授 黒田 恭史 同志社女子大学 教授 小切間 美保  食育の指導における効果的なICT活用及び「命」について考える食育実践や、朝食摂取の向上を目指した取組等、家庭と連携して行う食育の指導を効果的に進めるための方策について学ぶ。 ※講座番号194と合同実施			
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)	主な指標の観点		








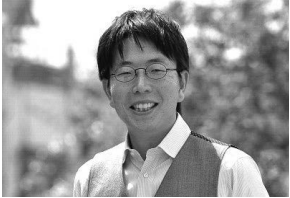
No. 807	校務講座		
開催日時	令和 4年 8月 4日(木) 13:00~17:00	講座のねらい	学校の施設設備の維持管理について学び業務への対応力を高める。 タブレットを活用した業務改善やコミュニケーションの基礎について学び、ICT教育への理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	技術職員、学校施設管理職員(高・特支)	定員	30名
内容	<p>これからの京都府の高校教育の在り方について理解を深める。 ICT教育環境とネットワークについての基礎を理解する。 タブレット活用による業務効率化やコミュニケーションについて演習を通して基礎的な理解を図る。</p> <p>※講座番号209と合同実施</p>		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)		









No. 808	学校事務職員(実務初任者向け)講座		
開催日時	令和 4年 7月 5日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	日々の業務に対応できる事務能力を養い、正確な事務処理を行う力を習得する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	事務職員(小・中・義・高・特支) ※実務担当者のうち概ね6年目までが望ましい。	定員	30名
内容	<p>共済事務、給与事務、公務災害・通勤災害、学校施設の維持管理等に係る事務能力を養う。</p> <p>※講座番号203、208と合同実施</p>		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)		



No. 809	学校事務職員パワーアップ講座Ⅰ		
開催日時	令和 4年 7月25日(月) 13:00~17:00	講座のねらい	教育活動への貢献意識を高めるとともに、事務職員としての実践力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	事務職員(小・中・義・高・特支)	定員	100名
内容	<p>コクヨ(株)ワークスタイルイノベーション部 主幹研究員 元文部科学省 学校業務改善アドバイザー 齋藤 敦子 ICTを活用した学校や職員室の環境改善等働き方改革の進め方やより快適でクリエイティブな働き方について考える。 ネットワークを構成する機器についての基礎的な理解を深めるとともに、ICTツールを活用した業務改善を考える。 ※事務職員指定講座は、講座番号960で申し込むこと。</p>		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)		

No.810 学校事務職員パワーアップ講座Ⅱ				
開催日時	令和 4年 9月26日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	学校を取り巻く課題について理解を深めるとともに、学校運営に積極的に参画する意識を高め、協働的に解決するための実践力を養う。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	事務職員(小・中・義・高・特支)、学校施設管理職員	定員	200名	
内容	<p>教育研究家 妹尾 昌俊</p> <p>激しく変化する社会や学校で、総務や財務等の専門性を持つ学校事務職員がどのように考え対応すればよいのかを民間企業や学校の取組事例を通して未来指向型の思考法を学ぶ。さらに府内の学校事務職員の取組事例(小中学校と府立学校)を通して職の未来と可能性を探る。 ※事務職員指定講座は、講座番号961で申し込むこと。</p>			
連絡先	企画研究部(075-612-2950)			

No.811 府立学校副校長講座シリーズⅠ				
開催日時	令和 4年 8月 5日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	学校経営にあたる一員としての自覚を高めるとともに、学校経営・管理についての知識・理解を深める。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	発令後2年目の府立学校首席副校長・副校長	定員	※該当者は全員受講	
内容	※シリーズⅠ・Ⅱ(講座番号811・812)を全て受講すること(申込不要)。			
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点		

No.812 府立学校副校長講座シリーズⅡ				
開催日時	令和 4年10月 3日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	学校経営にあたる一員としての自覚を高めるとともに、学校経営・管理についての知識・理解を深める。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	発令後2年目の府立学校首席副校長・副校長	定員	※該当者は全員受講	
内容	※シリーズⅠ受講該当者は必ず受講すること(申込不要)。			
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点		




No.813	新任管理職「ハラスメント防止」講座		
開催日時	※内容参照	講座のねらい	管理職として「ハラスメント」について理解を深め、職員の勤務環境及び児童生徒の学習環境を守り、学校経営の充実と改善に生かす。
会場	各所属校（園）		
受講対象	新任校長、新任副校長・新任教頭、新任事務長、新任総括主事	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府教育庁管理部教職員企画課 服務・安全係</p> <p>「ハラスメント」について、管理職として必要な知識、果たすべき役割について学ぶ。</p> <p>※視聴期間 令和4年7月21日（木）～令和4年8月31日（水） ※オンデマンド研修の受講についてはP152を参照</p>		
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点	基本的 資質能力



No.814	府立学校新任事務長講座		
開催日時	令和 4年 5月20日（金）10:30～17:00	講座のねらい	自校の課題解決に向け、学校運営・経営に当たる一員として知識・理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	府立学校新任事務長	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>府立学校事務長</p> <p>教職員を取り巻く諸課題を把握し、事務長として果たす役割について学ぶ。</p> <p>※午後は、講座番号804と合同実施 ※講座番号804参照</p>		
連絡先	企画研究部（075-612-2950）		

特 別 研 修



あつまる 2 5 6	No. 851	絵本のひみつ講座～絵本の仕掛けと読み聞かせの意義を探る～ (奈良県連携)		
	開催日時	令和 4年 8月22日(月) 13:00～17:00	講座の ねらい	読み聞かせの意義や実践方法について理解を深め、子どもに本の魅力を伝えるための方途を探り、家庭まで届く読書活動の方法を学ぶ。
	会場	奈良県立教育研究所		
受講対象	校(園)長、副・頭、総、教諭、養、栄 (小・中・義・高・特支)	定員	20名	
内容	鳴門教育大学教職大学院 教授 余郷 裕次  絵本にかくされた仕掛けと絵本の読み聞かせや音読による効果を学び、子どもから家庭にまで、読書の楽しみを届けられるようなスキルを探る。			
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点		基本的 資質能力

あつまる 2 5 6	No. 852	子どもの貧困と学習支援講座		
	開催日時	令和 4年 8月23日(火) 10:00～17:00	講座の ねらい	子どもの貧困の現状を理解し、プラットフォームとしての学校に求められる支援について理解を深める。
	会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	50名	
内容	立命館大学 特任教授 野田 正人  講義を通して、子どもの貧困問題を理解し、学校が取り組むべき支援の流れとその具体策について学び、研究協議により、自校における課題や今後の取組について具体的方策を考える。			 午前10時から開講
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点		人権

## 地域教育支援研修



   	No. 710	最新教育動向講座Ⅰ <b>再掲</b>	
	開催日時	令和 4年 6月17日(金) 13:00~17:00	講座のねらい 最新の教育動向や研究成果から幅広く見識を養い、より一層の学校経営の充実と改善に生かすために必要な資質・能力を高める。
	会場	京都府総合教育センター北部研修所又は各所属校(園)	
受講対象	全教職員	定員	200名
内容	山口県教育庁義務教育課 主幹 相田 康弘  「社会に開かれた教育課程」の趣旨を理解するとともに、カリキュラム・マネジメントの重要性とその実践事例を踏まえながら、各校での実現に向けての方策を学ぶ。		主な指標の観点 <b>マネジメント</b>
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		

 	No. 711	最新教育動向講座Ⅱ <b>再掲</b>	
	開催日時	令和 4年11月22日(火) 13:00~17:00	講座のねらい 最新の教育動向や研究成果から幅広い見識を養い、より一層の学校経営の充実と改善に生かすために必要な資質・能力を高める。
	会場	みやづ歴史の館又は各所属校(園)	
受講対象	全教職員 ※教職経験16年以上 ※事務職員の受講も推奨する。	定員	200名
内容	文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部 企画調査官 廣田 貢  「社会に開かれた教育課程」の趣旨を理解するとともに、コミュニティ・スクールの重要性とその実践事例を踏まえながら、各校での実現・実践・改善に向けた方策について学ぶ。		主な指標の観点 <b>チーム学校</b>
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		

# 教員免許状更新講習講座

## 令和4年度京都府教育委員会免許状更新講習実施要項

### 1 趣旨

京都府教育委員会は、京都府における喫緊の教育課題に対応できる力を身に付け、教員として必要な資質能力を保持することを目的として、文部科学大臣の認定を受けた京都府総合教育センターが主催する研修講座を免許状更新講習として実施する。

### 2 受講対象者

普通免許状又は特別免許状を有しており、令和4年5月1日現在で次の(1)及び(2)に該当する者

- (1) 京都府内（京都市立の学校を除く。）の公立幼稚園・幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭、栄養教諭、寄宿舎指導員、実習助手等  
※非常勤講師及び長期研修生を除く。
- (2) 有効期間の満了日又は修了確認期限が、令和5年3月31日又は令和6年3月31日である者又は有効期間の延長又は修了確認期限の延期申請をしており、延長及び延期後の受講期間が令和4年度に京都府総合教育センターで開催する該当研修講座の日程に該当する者

※有効期間の満了日又は修了確認期限、教員免許更新制全般については以下の京都府教育庁指導部学校教育課教員免許係ホームページで確認すること。

[http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/index.php?page\\_id=144&\\_layoutmode=on](http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/index.php?page_id=144&_layoutmode=on)

### 3 免許状更新講習対象の講座

- (1) 対象講座一覧（内容詳細等は「令和4年度免許状更新講習対象講座の概要」参照）

ア 中堅教諭等資質向上研修受講者の対象講座（2講座中1講座又は2講座受講可能）

No.	講座名
981	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱ【免許】
982	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲ【免許】

イ 中堅教諭等資質向上研修受講者以外の方の対象講座（7講座中1講座受講可能）

No.	講座名
983	育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ【免許】
984	人権教育講座Ⅰ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～【免許】
985	情報教育講座【免許】
986	教育相談<初級>講座～児童生徒理解と関わり～【免許】
987	特別支援教育「アセスメントを支援に生かす」講座（コーディネータースキルアップ講座）【免許】
988	学びづくりのキュラム・マネジメント講座【免許】
989	子どもの貧困と学習支援講座【免許】

- (2) 免許状更新講習対象講座として、1つの講座のみ受講することができる。ただし、中堅教諭等資質向上研修の受講者に限りNo. 981、No. 982の両方を免許状更新講習対象講座として受講することができる。
- (3) 受講料は徴収しない。旅費は受講者負担とする。ただし、中堅教諭等資質向上研修の受講者でNo. 981、No. 982を免許状更新講習として受講する場合は出張として扱う。

## 4 受講申込手続き

### (1) 受講申込＜申込期間：令和4年4月4日（月）～令和4年4月20日（水）＞

受講対象者から希望があった場合、管理職は受講管理システムで申込を行う。

### (2) 申込受付完了の通知

申込受付完了後、京都府総合教育センターは免許状更新講習対象講座の受講番号通知書を学校に送付する。

### (3) 書類の提出＜提出締切：令和4年6月17日（金）必着＞

受講者は以下の書類一式に必要事項を記入し、京都府総合教育センター企画研究部に提出する。

提出の際は角形2号封筒を使用し、表に「受講番号・免許状更新講習受講申込書在中」と朱書きする。

#### 【書類一式】

免許状更新講習受講申込書、受講者事前アンケート、履修証明書返信用封筒（84円切手貼付）

※各種様式等については京都府総合教育センターホームページ（ITEC）に掲載する。

## 5 受講について

(1) 受講者は受講番号通知書を持参し、受付で提示すること。

(2) 免許状更新講習の実施時間は10時から17時とし、9時45分に出欠等の確認を行う。

(3) 免許状更新講習の履修認定のため、講習終了後16時40分から17時まで筆記試験を行う。

(4) 欠席した場合は、受講講座変更等の措置はできない。

(5) 遅刻した場合は、いかなる理由であっても免許状更新講習対象講座として受講することができない。

## 6 認定について

合格の場合は「免許状更新講習履修証明書」を、不合格の場合はその旨を文書にて送付する。なお、各免許状更新講習対象講座終了の2箇月後を目処とする。

## 7 その他

(1) 災害等の理由により免許状更新講習が中止となった場合は、日を振り替えての講習は実施しない。

(2) 免許状更新講習に関する受講者の個人情報については、本講習に関する業務以外には使用しない。

(3) 服務については大学等が開設する免許状更新講習を受講する場合と同様、職務専念義務の免除としても差し支えない。ただし、中堅教諭等資質向上研修の受講者でNo. 981、No. 982を免許状更新講習として受講する場合は出張とする。

(4) 教員免許更新制については教員免許更新制マニュアル（京都府教育庁指導部学校教育課 平成21年3月）を確認すること。詳細については京都府教育庁指導部学校教育課教員免許係（075-414-5836）まで問い合わせること。

(5) 講座実施日までに、教員免許更新制が廃止された場合は、対象の9講座については、免許状更新講習としては実施しない。ただし一般講座としては実施するので、中堅教諭等資質向上研修受講者以外の方については「免許状更新講習受講申込書【様式2】」に、一般講座として受講を「する」「しない」を必ず選択すること。

「する」を選択した場合は、一般講座として新たに申込み必要はない。また、一般講座として実施する場合、実施日に変更はない。

※中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱ・Ⅲ（No. 981、No. 982）は、一般講座として実施する場合、開始時刻を13時からに変更する。

3月上旬に通知した「令和4年度京都府教育委員会免許状更新講習実施要項」を再掲しています。

## 令和4年度京都府教育委員会免許状更新講習対象講座の概要

981	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱ【免許】		
開催日時	令和4年8月2日（火）10：00～17：00	会場	京都府総合教育センター
対象免許状	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	100名
内容	東洋大学 教授 後藤 顕一 学習指導要領の趣旨を深く理解するとともに、受講者一人一人のこれまでの実践を振り返りながら、主体的・対話的で深い学びを実践事例や演習を通して身に付け、自校の学習スタイルの構築等に生かす。		
982	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲ【免許】		
開催日時	令和4年8月18日（木）10：00～17：00	会場	京都府総合教育センター
対象免許状	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	100名
内容	上越教育大学大学院 教授 安藤 知子 「社会に開かれた教育課程」を実現するカリキュラム・マネジメントの意義と各校における実践方法や全教職員で推進する方策について学ぶ。		
983	育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ【免許】		
開催日時	令和4年7月28日（木）10：00～17：00	会場	京都府総合教育センター
対象免許状	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名
内容	武庫川女子大学 准教授 藤本 勇二 学習指導要領の趣旨を踏まえた生活科の指導の具体について学ぶ。 また、幼児理解に基づく幼児教育の手法について理解を深め、生活科の指導に生かす方策について見いだす。		
984	人権教育講座Ⅰ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～【免許】		
開催日時	令和4年8月9日（火）10：00～17：00	会場	京都府総合教育センター
対象免許状	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名
内容	京都教育大学 教授 浜田 麻里 外国にルーツをもつ児童生徒に係る人権課題の現状や支援の在り方について学ぶ。 人権学習資料の効果的な活用について学び、授業実践に生かす。		
985	情報教育講座【免許】		
開催日時	令和4年8月3日（水）10：00～17：00	会場	京都府総合教育センター
対象免許状	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名
内容	園田学園女子大学 教授 堀田 博史 児童生徒の情報活用能力を育成するために、学校におけるICT活用や情報教育の最新動向等を知り、授業づくりの方法を学ぶ。		

986	教育相談<初級>講座～児童生徒理解と関わり～【免許】		
開催日時	令和4年7月28日(木) 10:00～17:00	会場	京都府総合教育センター北部研修所
対象免許状	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	100名
内容	<p>ファミリーカウンセリングルーム松ヶ崎ふくらむ 代表カウンセラー 京都教育大学 非常勤講師 岩本 脩平</p> <p>教職員として身に付けたい教育相談の基礎を学ぶ。また、ロールプレイを通して、児童生徒のこころを感じ、共感的に理解することの大切さについて考える。</p>		

987	特別支援教育「アセスメントを支援に生かす」講座(コーディネータースキルアップ講座)【免許】		
開催日時	令和4年8月19日(金) 10:00～17:00	会場	京都府総合教育センター北部研修所
対象免許状	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名
内容	<p>京都教育大学 准教授 佐藤 美幸 平安女学院大学短期大学部 教授 清水 里美</p> <p>基本的な発達の道筋や障害の捉え方及び適切な行動のための支援について学ぶ。</p>		

988	学びづくりのカリキュラム・マネジメント講座【免許】		
開催日時	令和4年8月17日(水) 10:00～17:00	会場	京都府総合教育センター北部研修所
対象免許状	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名
内容	<p>奈良教育大学 教授 赤沢 早人</p> <p>教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現に向けて、基本的な考え方を学ぶとともに、目指す児童生徒の姿に基づいて、教科指導や学校経営、学校行事といった指導機会をどのようにデザインすればよいかを検討する。</p>		

989	子どもの貧困と学習支援講座【免許】		
開催日時	令和4年8月23日(火) 10:00～17:00	会場	京都府総合教育センター北部研修所
対象免許状	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名
内容	<p>立命館大学 特任教授 野田 正人</p> <p>講義を通して、子どもの貧困問題を理解し、学校が取り組むべき支援の流れとその具体策について学び、研究協議により、自校における課題や今後の取組について具体的方策を考える。</p>		



# 令和4年度京都府教育委員会免許状更新講習 受講の流れについて

<b>1 受講の申込</b>	令和4年4月4日（月）～令和4年4月20日（水）
<ul style="list-style-type: none"><li>・受講希望者を取りまとめ、管理職が受講管理システムで申込を行う。</li><li>・府立学校は学校から、小学校、中学校、義務教育学校は市町（組合）教育委員会、教育局を通じて申込を行う。幼稚園・幼保連携型認定こども園の受講希望者、受講管理システムによる申込ができない受講希望者については様式1を使用すること。</li></ul>	
<b>2 申込完了の通知</b>	令和4年5月31日（火）まで
<ul style="list-style-type: none"><li>・「受講番号通知書」を各学校に送付する。</li><li>・受講希望者が多数の場合、抽選等により人数調整を行う。人数調整の結果、受講できない場合については、その旨を書面にて通知する。</li></ul>	
<b>3 各種様式等の掲載</b>	令和4年6月1日（水）掲載
<ul style="list-style-type: none"><li>・提出書類の様式を京都府総合教育センターホームページ（ITEC）に掲載する。 URL：http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/index_main.html</li></ul>	
<b>4 各種書類等の提出</b>	令和4年6月17日（金）必着
<ul style="list-style-type: none"><li>・受講者は以下の書類を京都府総合教育センター企画研究部に提出する。 <b>免許状更新講習受講申込書、受講者事前アンケート、履修証明書返信用封筒（84円切手貼付）</b></li></ul> <p>※免許状更新講習受講申込書の「証明者記入欄」には校（園）長の証明が必要 ※角型2号封筒を使用し、表面に「受講番号・免許状更新講習受講申込書在中」と朱書きすること。</p> <p>≪提出先住所≫〒612-0064 京都市伏見区桃山毛利長門西町 京都府総合教育センター 企画研究部</p>	
<b>5 免許状更新講習の受講</b>	各講座の実施日
<ul style="list-style-type: none"><li>・各講座の概要については「令和4年度免許状更新講習対象講座の概要」参照</li></ul> <p>≪注意事項≫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実施時間、実施場所、準備物等は京都府総合教育センターホームページ（ITEC）に掲載される実施要項で確認すること。</li><li>・9時45分から出欠等の確認をするので、それまでに指定の座席に着席すること。</li><li>・遅刻した場合は免許状更新講習として受講することはできない。</li><li>・災害等によりやむをえず免許状更新講習を中止する場合、振替日は設定しない。</li></ul>	
<b>6 履修証明書の送付</b>	免許状更新講習実施2箇月後を目処に送付
<ul style="list-style-type: none"><li>・合格の場合は「免許状更新講習履修証明書」を、不合格の場合はその旨を文書にて送付する。</li></ul>	

・その他、不明な点については以下にお問い合わせください。

免許状更新講習の受講について 京都府総合教育センター企画研究部 075-612-2950

教員免許更新製の制度について 京都府教育庁指導部学校教育課教員免許係 075-414-5836

## 講座の受講について

- 1 オンライン研修講座
- 2 オンデマンド研修講座
- 3 Web+研修(集合)講座
- 4 Web+研修(オンライン)講座
- 5 Webコンテンツ視聴研修

I C T 活 用 講 座  
出 前 講 座  
講 師 対 象 講 座

# 京都府総合教育センター講座の受講について

京都府総合教育センターの研修講座は、集合研修だけでなく、様々な研修形態で実施します。

## 1 オンライン研修講座

＜遠隔会議システムによる講座の受講＋受講報告提出＞



### (1) 受講の流れ・諸注意

ア 事前に通知するミーティングID、パスコードを確認し、講座に参加してください。

(ア) **マイク、カメラ機能のある端末**を使用し、**1人1台**で入室してください。

(イ) 通知する入室時間を厳守してください。

イ 特別な指示がある場合を除き、表記名は「氏名\_学校(園)名」(例：京都千太\_〇〇立口口小)としてください。

※ミーティングID入力時に表記名の変更をしてください。

ウ 資料は、原則前日に京都府総合教育センターホームページ(ITEC)に掲載します。各自でダウンロードしてください。

エ やむを得ず講義中に一定時間席を離れる場合は、管理職から京都府総合教育センターに電話連絡してください。

オ 講義中の背景には個人情報等が映らないように配慮してください。

### (2) 受講報告の提出

「オンライン研修の受講報告(オンライン受講提出用)」は、**PDF形式**にて提出期限までに講座の実施要項に示されている**担当部宛に電子メール**で提出してください。

また、**件名は「講座番号\_所属校(園)名」とし、ファイル名は「講座番号\_氏名\_所属校(園)名」として**ください

なお、受講報告はアンケート集計ソフトを用いたオンライン提出の講座もあります。

※講座受講後「オンライン研修の受講報告(オンライン受講提出用)」は各所属校(園)にも提出してください。

**【提出先】 ※原則、提出された受講報告は返却しません。**

担当部	提出アドレス
企画研究部	ed-center-kikaku@kyoto-be.ne.jp
研修・支援部	ed-center-kensyu@kyoto-be.ne.jp
特別支援教育部	ed-center-tokushi@kyoto-be.ne.jp
教育相談部	ed-center-soudan@kyoto-be.ne.jp
地域教育支援部	ed-center-chiiki@kyoto-be.ne.jp

### (3) その他

その他、不明な点は各講座担当部にお問い合わせください。

京都府総合教育センター企画研究部 075-612-2950

京都府総合教育センター研修・支援部 075-612-2952

京都府総合教育センター特別支援教育部 075-612-2953

京都府総合教育センター教育相談部 075-612-2959

京都府総合教育センター地域教育支援部 0773-43-2934

## 2 オンデマンド研修講座



### <指定動画コンテンツ視聴+レポート（受講報告）提出>

指定動画コンテンツの視聴とレポート（受講報告）の提出による研修講座です。

#### (1) 令和4年度実施講座

No.	講座名	指定動画コンテンツ視聴期間
117	初任者研修「地域連携・情報教育」講座	8月2日（火）～8月8日（月）
221	2年目教員「ステップアップ1」講座	7月25日（月）～8月1日（月）
251	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座 I	5月23日（月）～6月3日（金）
522	特別支援教育「知的障害のある児童生徒の指導とキャリア教育」講座	6月13日（月）～6月24日（金）
525	特別支援教育コーディネーター養成講座【基礎】	8月1日（月）～8月19日（金）
702	教育法規演習講座～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～	8月1日（月）～8月31日（水）
803	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座	4月25日（月）～5月31日（火）
813	新任管理職「ハラスメント防止」講座	7月21日（木）～8月31日（水）
KT1	講師対象講座 I	4月25日（月）～5月31日（火）

なお、上記の講座以外にも、感染症拡大防止等の対応のため、講座の実施形態等を変更する場合があります。変更等がある場合は事前に通知します。

#### (2) 受講の流れ

ア 京都府総合教育センターホームページ（ITEC）より講義資料等をダウンロードしてください。

イ 講座の実施要項を確認し、指定動画コンテンツを視聴してください。

ウ 視聴後、実施要項等で指定された様式にてレポート（受講報告）を作成し、管理職に提出してください。

エ 管理職は提出されたレポート（受講報告）を講座ごとに取りまとめ、**PDF形式**にて提出期限までに講座の実施要項に示されている**担当部宛に電子メール**で提出してください。

なお、**件名は「講座番号\_所属校（園）名」とし、ファイル名は「講座番号\_氏名\_所属校（園）名」としてください。**

**【提出先】 ※原則、提出されたレポート（受講報告）は返却しません。**

担当部	提出アドレス
企画研究部	ed-center-kikaku@kyoto-be. ne. jp
研修・支援部	ed-center-kensyu@kyoto-be. ne. jp
特別支援教育部	ed-center-tokushi@kyoto-be. ne. jp
地域教育支援部	ed-center-chiiki@kyoto-be. ne. jp

#### (3) その他

その他、不明な点は各講座担当部にお問い合わせください。

京都府総合教育センター企画研究部 075-612-2950

京都府総合教育センター研修・支援部 075-612-2952

京都府総合教育センター特別支援教育部 075-612-2953

京都府総合教育センター地域教育支援部 0773-43-2934

### 3 Webプラス（Web+）研修（集合）講座



#### <指定動画コンテンツ視聴（+レポート作成）+センター講座の集合研修を受講>

事前（事後）に指定動画コンテンツ視聴及びレポート作成をする講座です。

※動画の視聴方法及び視聴する指定動画コンテンツについては実施要項を参照してください。

#### (1) 令和4年度実施講座

No.	講座名	講座日
100	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座（センター）	4月1日（金）
101	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座（北部）	4月1日（金）
170	初任者研修「特別支援学校3」講座	8月8日（月）
413	小中をつなぐ理科の見方・考え方講座	11月8日（火）
527	特別支援教育「視覚障害のある児童生徒の授業づくり」講座	10月7日（金）

なお、上記の講座以外にも、感染症拡大防止等の対応のため、講座の実施形態等を変更する場合があります。変更等がある場合は事前に通知します。

※413・527については動画視聴のための事前登録が必要です。

事前登録等、動画視聴についての詳細は、京都府総合教育センターホームページ（ITEC）から確認できます。



**(413・527) 事前登録等、動画視聴について 二次元コード →**

#### (2) 受講の流れ

##### ア オンデマンド研修

(ア) 指定された動画コンテンツを視聴してください。

(イ) 視聴後、実施要項等で指定された様式にてレポートを作成してください。

(ウ) 管理職は提出されたレポートを取りまとめ、**PDF形式**にて提出期限までに講座の実施要項に示されている**担当部宛に電子メール**で提出してください。

なお、**件名は「講座番号\_所属校（園）名」とし、ファイル名は「講座番号\_氏名\_所属校（園）名」として**ください。

※(イ)、(ウ)が不要となる講座もあります。実施要項で確認してください。

**【提出先】 ※原則、提出されたレポートは返却しません。**

担当部	提出アドレス
研修・支援部	ed-center-kensyu@kyoto-be. ne. jp
特別支援教育部	ed-center-tokushi@kyoto-be. ne. jp
地域教育支援部	ed-center-chiiki@kyoto-be. ne. jp

##### イ 集合研修

(ア) 会場にて集合研修を受講してください。

(イ) 講座受講後、「研修講座の受講報告（総合教育センター提出用）」を提出してください。

※「研修講座の受講報告（学校提出用）」は各所属校（園）に提出してください。

#### (3) その他

その他、不明な点は以下にお問い合わせください。

京都府総合教育センター研修・支援部 075-612-2952

京都府総合教育センター特別支援教育部 075-612-2953

京都府総合教育センター地域教育支援部 0773-43-2934

#### 4 Webプラス（Web+）研修（オンライン）講座



＜指定動画コンテンツ視聴（+レポート作成）+センター講座のオンライン研修を受講＞

事前（事後）に指定動画コンテンツ視聴及びレポート作成をする講座です。

※動画の視聴方法及び視聴する指定動画コンテンツについては実施要項を参照してください。

##### (1) 令和4年度実施講座

令和4年度実施講座はありません。

感染症拡大防止等の対応のため、講座形態等を変更する場合があります。変更等がある場合は事前に通知します。

##### (2) 受講の流れ

###### ア オンデマンド研修

(ア) 指定された動画コンテンツを視聴してください。

(イ) 視聴後、実施要項等で指定された様式にてレポートを作成してください。

(ウ) 管理職は提出されたレポートを取りまとめ、**PDF形式**にて提出期限までに講座の実施要項に示されている**担当部宛に電子メール**で提出してください。

なお、**件名は「講座番号\_所属校（園）名」とし、ファイル名は「講座番号\_氏名\_所属校（園）名」として**ください。

※(イ)、(ウ)が不要となる講座もあります。実施要項で確認してください。

###### イ オンライン研修

(ア) 各所属校（園）にて、オンライン研修を受講してください。

(イ) 講座受講後、「オンライン研修の受講報告（オンライン受講提出用）」を作成してください。

(ウ) 「オンライン研修の受講報告（オンライン受講提出用）」は、**PDF形式**にて提出期限までに講座の実施要項に示されている**担当部宛に電子メール**で提出してください。

なお、**件名は「講座番号\_2\_所属校（園）名」とし、ファイル名は「講座番号\_2\_氏名\_所属校（園）名」として**ください。

※講座受講後「オンライン研修の受講報告（オンライン受講提出用）」は各所属校（園）にも提出してください。

**【提出先】 ※原則、提出された受講報告は返却しません。**

担当部	提出アドレス
企画研究部	ed-center-kikaku@kyoto-be. ne. jp
研修・支援部	ed-center-kensyu@kyoto-be. ne. jp
特別支援教育部	ed-center-tokushi@kyoto-be. ne. jp
教育相談部	ed-center-soudan@kyoto-be. ne. jp
地域教育支援部	ed-center-chiiki@kyoto-be. ne. jp

##### (3) その他

その他、不明な点は各講座担当部にお問い合わせください。

京都府総合教育センター企画研究部 075-612-2950  
京都府総合教育センター研修・支援部 075-612-2952  
京都府総合教育センター特別支援教育部 075-612-2953  
京都府総合教育センター教育相談部 075-612-2959  
京都府総合教育センター地域教育支援部 0773-43-2934



## 5 Webコンテンツ視聴研修

### <Webコンテンツ視聴+レポート提出>

下に示す研究機関や大学のWebコンテンツを視聴し、レポートを作成・提出することで単位制履修制度における単位が認定される研修です。

#### (1) 令和4年度対象Webコンテンツ

	コンテンツ配信機関	視聴動画数	提出レポート数	事前登録
1	独立行政法人教職員支援機構 「NITSのオンライン講座『校内研修シリーズ』」	2コンテンツ	2枚	不要
2	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 「インターネットによる講義配信」	2コンテンツ	2枚	必要
3	国立大学法人京都教育大学 「先生を“究める”Web講義」	2コンテンツ	2枚	必要
4	独立行政法人教職員支援機構立命館大学センター 「オンライン教職員研修講座」	1コンテンツ	1枚	不要

#### (2) 研修の流れ

ア 管理職に連絡の上、対象Webコンテンツを視聴してください。

※独立行政法人国立特別支援教育総合研究所及び国立大学法人京都教育大学のWebコンテンツ視聴には事前に個人登録が必要です。

イ 視聴後、「動画(Web)コンテンツ 視聴レポート」(様式3)を作成してください。

(ア) 1コンテンツにつき1枚作成してください。

(イ) 「動画(Web)コンテンツ 視聴レポート」(様式3)は、京都府総合教育センターホームページ(ITEC)からダウンロードしてください。

ウ 作成したレポートを、管理職に提出してください。

#### (3) レポートの提出

管理職は提出された視聴レポート(様式3)を取りまとめ、**PDF形式**にて提出期限までに**京都府総合教育センター企画研究部宛に電子メール(ed-center-kikaku@kyoto-be.ne.jp)**で提出してください。

なお、件名は「999\_所属校(園)名」とし、ファイル名は「999\_氏名\_所属校(園)名」としてください。

**【提出期間】 ※原則、提出されたレポートは返却しません。**

**前期受付 令和4年7月1日(金)～令和4年8月31日(水)**

**後期受付 令和4年11月1日(火)～令和4年12月23日(金)**

#### (4) 単位の認定

ア 京都府総合教育センターにて視聴レポート(様式3)の内容について審査し、単位認定します。

イ 単位制履修制度における当該分野の単位として認定し、「総単位数」に充当します。(選択単位には充当されません。)

ウ 採用1年目の教職員についても「総単位数」に充当します。ただし、初任期育成研修で視聴した動画については「Webコンテンツ視聴研修」としての単位認定はしません。

#### (5) その他

その他、不明な点は以下にお問い合わせください。

**京都府総合教育センター企画研究部 075-612-2950**

## I C T 活用講座

G I G A スクール構想や京都府スマートスクール事業の実現に伴う、1 人 1 台端末の配備や京都府立高等学校における電子黒板の設置等を踏まえ、I C T を活用した講座を実施します。

### 1 京都府総合教育センターW e b 講座（1 人 1 台端末時代の学びW e b 研修動画）

動画コンテンツの視聴による研修講座です。（受講申込は不要です。）

#### (1) W e b 講座

※令和4年3月1日現在

講座名	動画数
「新時代の学び」実践講座	14本
「i P a d」を活用した各教科別実践講座	4本
「T e a m s」の活用による遠隔・オンライン授業基礎講座	4本
補足資料	4本

#### (2) その他

単位認定は行いません。

### 2 京都府総合教育センター開講講座

#### (1) 令和4年度実施講座（専門研修）

No.	講座名	講座日
406	小学校家庭科講座～わかる授業づくりのためのI C T 活用～	8月25日（木）
410	小学校音楽科&図画工作科やってみよう！I C T 講座	5月27日（金）
414	中高音楽「箏を奏でよう×タブレットで箏変奏曲を創ろう」講座	8月23日（火）
507	情報モラル教育講座	5月19日（木）
508	情報教育講座	8月3日（水）
509	小学校プログラミング教育講座	9月2日（金）
510	中学校・高等学校プログラミング教育講座	9月5日（月）
523	特別支援教育「肢体不自由児童生徒への指導・支援」講座	7月29日（金）
528	特別支援教育「読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援」講座 ～アセスメントと実践事例～	10月28日（金）
806	栄養教諭・学校栄養職員講座	8月3日（水）
807	校務講座	8月4日（木）
809	学校事務職員パワーアップ講座 I	7月25日（月）

#### (2) その他

ア 基本研修（初任者研修）においてもI C T を活用した研修を実施します。

イ その他、不明な点は各講座担当部にお問い合わせください。

**京都府総合教育センター企画研究部 075-612-2950**

**京都府総合教育センター研修・支援部 075-612-2952**

**京都府総合教育センター特別支援教育部 075-612-2953**

**京都府総合教育センター地域教育支援部 0773-43-2934**

## 出前講座

学校等のニーズに応え、充実した研修を支援するために出前講座を実施します。

### 1 派遣先、形態等

派遣先	形態
○学校出前講座 （小、中、義務教育学校、府立学校） ○学校外出前講座 （市町（組合）教育委員会、教育局、教育研究会等）	センター所員が学校等を訪問して実施するものです。 ※オンラインによる実施も可能です。

### 2 内容

「7 出前講座一覧」を参考にしてください。

出前講座の内容等の詳細については、別途配付する「出前講座の実施一覧表」を参照してください。

### 3 実施時期

- 期間：令和4年6月1日（水）～令和5年2月28日（火）  
日程等の調整は、夏季休業中・夏季休業中以外に分けて行います。
- 時間帯：平日の午前9時から午後5時までの必要な時間（50分から半日程度）

### 4 実施回数

- 同一校又は同一機関での同一講座の実施は、**年2回**まで可能です。  
府小研研究協力校での実施は、年3回までとします。
- 実施可能な回数には限度があるため、以下の調整等を行います。  
ア 申込状況によっては、希望される日程でお受けできない場合があります。  
イ 夏季休業中は、学校からの申込を優先します。

### 5 申込

#### (1) 申込方法

実施希望の内容に応じ、「7 出前講座一覧」又は別途配付する「出前講座の実施一覧表」の「**担当部**」に、**電話で問い合わせてください**。日時、内容等を調整の後、「担当部」からの実施可の連絡を受け「出前講座」実施申込書（様式4）を電子メール（dema@kyoto-be.ne.jp）又はFAX（075-612-3267）で提出してください。電子メールでの申込は、**件名に派遣希望講座の番号及び講座名を明記**してください。「出前講座」実施申込書（様式4）は、京都府総合教育センターホームページ（ITEC）からダウンロードしてください。

#### (2) 実施時期及び申込受付期間

実施時期	申込受付期間	決定までの経過
夏季休業中 7月21日（木） ～ 8月31日（水）	4月20日（水） ～ 5月13日（金）	①担当部と電話で内容、日程等を調整 ②受付期間終了後、5月23日（月）までに担当部から学校等に日程と担当者等の決定を連絡 ③担当部からの連絡を受けて、様式4を電子メール（又はFAX）で提出
夏季休業中以外	4月21日（木） ～ 申込順に日程調整	①担当部と電話で内容、日程等を調整 ②担当部からの連絡を受けて、実施可の場合、様式4を電子メール（又はFAX）で提出

### 6 出前講座受講者の旅費

受講者の会場への移動に係る旅費については、センター研修に係る旅費に該当しません。

## 7 出前講座一覧

番 号	講 座 名	担 当 部
D 0 1 D 0 2 D 0 3 D 0 4 D 0 5	小学校国語科教育講座 小学校社会科教育講座 小学校算数科教育講座 小学校外国語教育講座 小学校道德教育講座	研修・支援部 075-612-2952
D 0 6 D 0 7 D 0 8 D 0 9	小学校理科教育講座 小学校音楽科教育講座 小学校図画工作科教育講座 小学校家庭科教育講座	地域教育支援部 0773-43-2934
D 1 1 D 1 2 D 1 3 D 1 4 D 1 5	中学校学力向上講座 中学校国語科教育講座 中学校数学科教育講座 中学校外国語科教育講座 中学校道德教育講座	研修・支援部 075-612-2952
D 1 6 D 1 7 D 1 8 D 1 9	中学校理科教育講座 中学校音楽科教育講座 中学校美術科教育講座 中学校技術・家庭科（家庭分野）教育講座	地域教育支援部 0773-43-2934
D 2 1 D 2 2	情報教育講座 カリキュラム・マネジメント講座	企画研究部 075-612-2950
D 3 1 D 3 2 D 3 3	特別支援教育基礎・理解講座 特別支援教育授業づくり講座 特別支援教育における I C T活用講座	特別支援教育部 075-612-2953
D 4 1	教育相談講座	教育相談部 075-612-2959
D 5 1 D 5 2	学校事務職員支援講座 キャリア教育推進講座	地域教育支援部 0773-43-2934
D 9 9	その他 ※上記以外でセンターが必要と認めたもの	企画研究部 075-612-2950

※実施する講座や講座内容の詳細については、別途配付する「出前講座の実施一覧表」で確認してください。

## 講師対象講座

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の常勤・非常勤講師を対象とし、講師対象講座を実施します。

### 1 講師対象講座Ⅰ（No. KT1）



#### (1) ねらい

教職員としてのコンプライアンス意識を向上させるとともに、人権教育及び教育相談に関する基本的事項を学び児童生徒理解に対する認識を深める。

#### (2) 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の常勤・非常勤講師（講師経験年数を問わない。）及び部活動指導員のうち、勤務校の校長が推薦する者

#### (3) 内容

京都府総合教育センターホームページ（ITEC）に掲載する講義Ⅰ～講義ⅢのWebコンテンツを視聴後、レポートを作成し提出する。

講義Ⅰ「コンプライアンス意識の向上」

講義Ⅱ「人権教育の基本事項」

講義Ⅲ「教育相談の観点からの児童生徒理解と対応」

#### (4) 視聴期間

令和4年4月25日（月）～令和4年5月31日（火）

### 2 講師対象講座Ⅱ（No. KT2、KT3）



#### (1) ねらい

特別支援教育や学習指導における基本事項、道徳教育もしくは生徒指導の基本的な在り方について学び、指導力の向上を図る。

#### (2) 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の常勤・非常勤講師（講師経験概ね3年未満の者）及び部活動指導員のうち、勤務校の校長が推薦する者

#### (3) 開催日時・会場

No. KT2 講師対象講座Ⅱ（センター）

開催日時：令和4年5月24日（火） 午後1時から同5時まで

会場：京都府総合教育センター

No. KT3 講師対象講座Ⅱ（北部）

開催日時：令和4年5月27日（金） 午後1時から同5時まで

会場：京都府総合教育センター北部研修所

#### (4) 内容

講義Ⅰ「特別支援教育の基本的な視点」

講義Ⅱ・協議Ⅰ「学習指導の基本事項」（校種別）

講義Ⅲ・協議Ⅱ「道徳教育」「生徒指導の在り方」（選択制）

### 3 受講申込

#### (1) 定員

No. KT1 講師対象講座Ⅰ なし

No. KT2 講師対象講座Ⅱ（センター） 140名

No. KT3 講師対象講座Ⅱ（北部） 100名

(2) 申込方法

受講対象者から希望があった場合、管理職は講師対象講座受講申込書（様式5）を使用して申込をしてください。講師対象講座受講申込書（様式5）は京都府総合教育センターホームページ（ITTEC）からダウンロードしてください。

※受講管理システムからの申込はできません。

**【申込期間】**

「研修講座の申込等について 2 受講申込期間」の4・5月講座（163ページを参照してください。）

**【申込先】**

- ・小学校、中学校、義務教育学校

所管する市町（組合）教育委員会に申込

- ・府立学校

京都府総合教育センター企画研究部（ed-center-kenkyu@pref.kyoto.lg.jp）あてに電子メールにて直接申込

(3) 選択欄の記入

講師対象講座Ⅱ（No. KT2、KT3）は、受講を希望する校種及び道德教育又は生徒指導（部活動指導を含む。）を選択してください。

#### 4 その他

- (1) 受講者の旅費については、センター研修に係る旅費とします。
- (2) 受講者の単位認定は行いません。
- (3) 講師対象講座Ⅰ・Ⅱのうち、1講座のみの受講も可能です。
- (4) 講師対象講座Ⅰについて、Webコンテンツの視聴に必要なログインIDとパスワードは別途通知します。また、レポート提出についての詳細は京都府総合教育センターホームページ（ITTEC）に掲載する実施要項で確認してください。
- (5) この講座の受講の有無については、教員採用選考には関係しません。
- (6) その他、不明な点は以下にお問い合わせください。

京都府総合教育センター企画研究部 075-612-2950

ed-center-kenkyu@pref.kyoto.lg.jp





## 研修講座の申込等

# 研修講座の申込等について

研修講座の申込・欠席等に係る手続きは、以下の内容を確認してください。

## 1 受講申込方法

- (1) 必修講座は、申込不要です。
- (2) 選択講座は、受講管理システムにて申込をしてください。  
※申込に関するお問い合わせは京都府総合教育センター企画研究部(075-612-2950)までお願いします。  
※受講管理システムによる申込ができない場合に、研修講座受講申込書(様式1)を使用してください。  
※研修講座受講申込書(様式1)は、京都府総合教育センターホームページ(ITEC)からダウンロードしてください。
- (3) 推薦講座は、教育局長、府立学校長の推薦が必要です。
- (4) 事務職員の指定講座は、「単位制履修制度の概要」ページを参照してください。
- (5) 免許状更新講習講座、出前講座、講師対象講座はそれぞれのページを参照してください。

## 2 受講申込期間

	小学校、中学校、義務教育学校	府立学校(附属中学校含む。)
4・5月講座	4/4(月)～4/13(水)	4/4(月)～4/15(金)
※免許状更新講習	4/4(月)～4/20(水)	4/4(月)～4/20(水)
6月講座	4/25(月)～5/9(月)	4/25(月)～5/12(木)
7・8月講座	5/23(月)～6/1(水)	5/23(月)～6/6(月)
9・10月講座	7/19(火)～7/28(木)	7/19(火)～8/2(火)
11・12月講座	9/5(月)～9/16(金)	9/5(月)～9/22(木)
1・2月講座	10/31(月)～11/14(月)	10/31(月)～11/18(金)

該当者が全員受講対象となっている講座(要申込)

### 4月講座

No. 803「新任副校長・新任教頭・新任事務長講座」・・・新任の副校長・教頭、事務長

### 5月講座

No. 804「管理職『特別支援教育・メンタルヘルス』講座」・・・新任の管理職

No. 814「府立学校新任事務長講座」・・・新任の事務長

### 7月講座

No. 701「危機管理講座」・・・未受講の副校長・教頭、事務長

No. 813「新任管理職『ハラスメント防止』講座」・・・新任の校(園)長、副校長・教頭、事務長  
総括主事

### 10月講座

No. 802「副校長・教頭・事務長講座」・・・No. 811、812講座の対象者

## 3 定員について

申込が定員を超過した場合は、人数等を調整することがあります。

#### 4 欠席・遅刻・早退連絡について

##### (1) 欠席について

研修講座を欠席する場合は、校（園）長又は副校長・教頭、事務長から連絡してください。

	電話連絡先	欠席届について
初任者・新規採用者研修	研修・支援部（075-612-2952）と市町（組合）教育委員会（府立学校は除く。）	欠席届提出が必要（注） （研修・支援部へ直接提出）
ステップアップ研修	「研修講座の実施概要」ページに記載の連絡先	欠席届不要
中堅教諭等資質向上研修	地域教育支援部（0773-43-2934）と市町（組合）教育委員会（府立学校は除く。）	欠席届提出が必要 （地域教育支援部へ直接提出）
選択・推薦・指定講座	「研修講座の実施概要」ページに記載の連絡先	欠席届不要

（注）日程等の変更ができる場合は欠席届不要

※欠席届（様式2：教職員研修計画又は様式9：初任期育成研修 実施の手引き）は、京都府総合教育センターホームページ（ITEC）からダウンロードしてください。

##### (2) 遅刻・早退について

研修講座に遅刻・早退する場合は、校（園）長又は副校長・教頭、事務長から「研修講座の実施概要」ページに記載の連絡先に電話で連絡してください。

#### 5 研修講座の実施要項

京都府総合教育センターホームページ（ITEC）に、講座実施日の前月15日を目処に研修講座の実施要項を掲載しますので、必ず確認してください（携行品、準備物、事前の課題等を掲載します。）。

#### 6 受講に当たっての注意事項

- (1) 集合研修の講座を受講の際には、「健康チェックシート」を記入・持参してください。シートについては「京都府総合教育センターホームページ（ITEC）」よりダウンロードできます。  
（シートの持参が不要になる場合は、ホームページ等でお知らせします。）
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当日の健康状態等により受講をお断りする場合があります。
- (3) 自家用車（二輪車を含む。）で来所（外部会場を含む。）することはできません。公共の交通機関を利用してください。
- (4) 研修講座の受講に当たって、合理的配慮やその他の配慮を希望する場合は、受講申込時に校（園）長又は副校長・教頭、事務長から京都府総合教育センター担当部（実施概要の連絡先）まで連絡してください。

例：身体的理由等の事情で自家用車を利用する。

手話通訳、資料の点訳等が必要である。

#### 7 気象警報発表時の対応

気象警報発表時（計画運休を含む。）についても、原則として研修講座は実施します。その際に、やむを得ず欠席・遅刻等する場合は、管理職を通して、京都府総合教育センターまで連絡してください。

公共交通機関の運休等でやむを得ず中止等する場合は京都府総合教育センターホームページ（ITEC）に掲載します。

感染症拡大防止等の対応のため、集合研修をオンライン研修等に変更する場合があります。研修講座の研修形態の変更等がある場合は事前に通知します。



# 様式



(様式1) ※受講管理システムによる申込ができない場合に使用  
<学校用>

令和 年 月 日

京都府総合教育センター所長 様

立 学 校 (園) 長  
(公印不要)

## 研修講座受講申込書 ( 月分)

受講講座名・受講者氏名等(氏名の間は、スペース不要)

講座 番号	講座名	実施日	職名	氏 名	教職 経験	備考

教職経験欄に**2～6年目研修**の選択講座受講の場合は「1」（半角）、  
**7～15年目研修**の選択講座受講の場合は「2」（半角）、  
**16年目以降の研修**の場合は「4」（半角）を記入してください。  
※講師が受講する場合は「0」（半角）を記入してください。

受講の際に特別な配慮が必要な場合は、申込時に総合教育センター担当部まで御連絡ください。

(様式2)

(様式9：初任期育成研修 実施の手引き)

令和 年 月 日

京都府総合教育センター所長 様

立 学校(園)

校(園)長 (公印不要)

## 欠 席 届

下記の職員は「 」の受講を予定しておりましたが、  
以下の理由により、欠席(します・しました)のでお届けします。

記

職 名

氏 名

欠席期日 令和 年 月 日 ( )

理 由

校 務 ( )

病 気

そ の 他 ( )

(様式3)

## 動画 (Web) コンテンツ 視聴レポート

講座番号※1		講座名	
視聴動画名※2	(機関名： )		
所属校名	立	学校	分校
職名		氏名	

※1) Webコンテンツ視聴研修は「999」としてください。

※2) Webプラス (Web+) 講座は記入不要です。

1 動画 (Web) コンテンツの中で学んだ内容を記入してください。

	重要と考えるキーワード	気付きや感想等
1		
2		

2 動画 (Web) コンテンツの内容について、今後の教育実践に役立てたいことを記入してください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

※提出方法、提出先については、教職員研修計画の以下のページを確認してください。

- (1) オンデマンド研修講座 (P 152)
- (2) Webプラス (Web+) 研修講座 (P 153、154)
- (3) Webコンテンツ視聴研修 (P 155)

(様式4)

令和 年 月 日

京都府総合教育センター所長 様

立

学校 (団体名)

校長  
(団体責任者)

(公印不要)

## 「出前講座」実施申込書

下記のとおり、申し込みます。

記

1 派遣希望出前講座

番号	出前講座名

2 研修会等の名称

3 参加予定者数

4 日時： 令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分

5 場所：

6 事前調整

学校等担当者名	学校等担当者連絡先 電話番号	学校等担当者連絡先 メールアドレス
センター担当部	センター担当者	調整日時
		月 日 ( ) 調整済

7 連絡事項







# 研修履歴一覧表の見方（教諭の例）

在職年数は、採用時の職が他府県経験時の職と同じ場合は、他府県経験年数を加算しています。  
 総単位数は、平成21年度からの取得単位の総計を記載しています。

研修等履修状況について以下の4つの分類で確認できます。

- ・「初任研等」  
 …初任者・新規採用者研修
- ・「中堅教諭等」  
 …中堅教諭等資質向上研修
- ・「2～6年」  
 …2年目教員ステップアップ研修を含む、2～6年目研修
- ・「7～15年」  
 …7～15年目研修

※「初任研等」「中堅教諭等」には必要単位数を満たすと「履修」欄に「済」を記載しています。

※「2～6年」「7～15年」の「標準履修単位数」を上欄に記載しています。

※「中堅教諭等」「2～6年」「7～15年」の「選択」欄には「センター研修 取得単位詳細」の「◎」の取得単位数を記載しています。

※「2～6年」「7～15年」の「他研修」欄には「センター研修以外の研修（他研修）取得単位詳細」の単位数を記載しています。

センター研修講座と同様に単位を認定する国、京都府教育委員会（平成22年度から）、教育局主催（平成24年度から）及び市町（組合）教育委員会主催（平成30年度から）の研修について記載しています。

## 参考

研修履歴一覧表

令和4年3月〇日現在

職員番号	1234567	所属	〇〇立△△学校	在職年数	10
職名	教諭	氏名	京都 太郎	総単位数	43

研修等履修状況

初任研等	履修済	必修	25	中堅教諭等	履修済	必修	選択	5	標準履修単位数 ※			標準履修単位数		
									2～6年	必修	選択	他研修	7～15年	選択
									3	5	2	2	2	1

※採用年度や職種により異なります。

センター研修 取得単位詳細

2～6年	7～15年	16年～等	研修分野等	研修名	期間	備考	単位	合計
◎			教科	□□□□□□□□□□□□□□□□講座	H25		1	2単位
◎		□□□□□□□□□□□□□□□□講座		H27		1		
	◎		領域等	□□□□□□□□□□□□□□□□講座	H26		1	2単位
	◎	□□□□□□□□□□□□□□□□講座		R2		1		
	◎		コミュニケーション能力	□□□□□□□□□□□□□□□□講座	H26		1	2単位
	◎	□□□□□□□□□□□□□□□□講座		R3		1		
			チームマネジメント能力	□□□□□□□□□□□□□□□□講座	H28		1	1単位
			法定研修外基本研修 指導者養成研修 特別研修	□□□□□□□□□□□□□□□□講座	H27		1	1単位
6単位	2単位							8単位

センター研修以外の研修（他研修）取得単位詳細

主催	所管	研修名	期間	備考	単位	合計
文部科学省	学校教育課	□□□□□□□□□□□□□□□□研修	H28	チームマネジメント能力 2～6年目研修	1	2単位
京都府◆◆教育局	京都府◆◆教育局	□□□□□□□□□□□□□□□□研修	R2	教科 7～15年	1	

センター研修以外の研修（記載のみ）

主催	所管	研修名	期間	備考

講師履歴

主催	研修名	期間	備考
総合教育センター	□□□□□□□□□□□□□□□□講座	R3	

講座講師の履歴を記載しています。  
 （京都府総合教育センター主催の研修のみ）

センター研修以外の国及び京都府教育委員会主催の研修について、研修等履修状況に単位加算しないものを平成22年度実施の研修から記載しています。

研修講座の年ごとの履修状況について記載しています。

年ごとの履修状況を以下の4つの分類で確認できます。

- ・「2～6年」 …2～6年目研修
- ・「7～15年」 …7～15年目研修
- ・「中堅教諭等」 …中堅教諭等資質向上研修
- ・「16年～等」 …16年目以降の研修

※初任者・新規採用者研修、中堅教諭等資質向上研修、2年目研修（2年目教員ステップアップ研修）の必修講座については記載していません。

※履修した講座について「◎」又は「○」を記載しています。

※該当講座が各年度の選択講座の場合には「◎」、該当年期外の場合には「○」を記載しています。

# 研修履歴一覧表の見方（事務職員の例）

在職年数は、採用時の職が他府県経験時の職と同じ場合は、他府県経験年数を加算しています。  
 総単位数は、平成21年度からの取得単位の総計を記載しています。

研修等履修状況について以下の3つの分類で確認できます。

- ・「新採研」  
 …新規採用者研修
- ・「主事カテゴリ」  
 …主事1・2級在位中に履修の研修
- ・「主任カテゴリ」  
 …主任・主任（係長相当職）在位中に履修の研修

※「新採研」には必要単位数を満たすと「履修」欄に「済」を記載しています。

※「主事カテゴリ」「主任カテゴリ」の「標準履修単位数」を上欄に記載しています。

※「選択」欄には「センター研修取得単位詳細」の「◎」の取得単位数を記載しています。「指定」欄には「センター研修取得単位詳細」の「指定」の取得単位数を記載しています。「他研修」欄には「センター研修以外の研修（他研修）取得単位詳細」の単位数を記載しています。（平成26年度から）

センター研修講座と同様に単位を認定する国、京都府教育委員会（平成22年度から）、教育局主催（平成24年度から）及び市町（組合）教育委員会主催（平成30年度から）の研修について記載しています。（研修等履修状況への記載については、平成26年度から）

令和4年3月〇日現在

## 参考

### 研修履歴一覧表

職員番号	2345678	所属	〇〇立△△学校	在職年数	10
職名	事務職員・主任	氏名	京都 花子	総単位数	21

#### 研修等履修状況

新採研	履修	必修	標準履修単位数				標準履修単位数				
			主事	主任	主任	主任	主任	主任	主任	主任	
済	8		1	6	1	2	4				
			1	6	1	1	2	4			

指定 I …主任  
 指定 II …主任（係長相当職）

#### センター研修 取得単位詳細

主事	主任	事務長	研修分野等	研修名	期間	備考	単位	合計
			教科					
○			領域等	講座	H25		1	5単位
◎		講座		H25		1		
◎		講座		H26		1		
◎		講座		H29		1		
				講座【指定】	R2		1	
			コミュニケーション能力	講座	H27		1	3単位
				講座	H28		1	
				講座	H29		1	
			実務 法定研修外基本 研修 指導者養成 研修 特別研修 他	講座	H25		1	4単位
				講座	H26		1	
				講座【指定】	H27		1	
				講座	H29		1	
9単位	1単位							12単位

#### センター研修以外の研修（他研修）取得単位詳細

主催	所管	研修名	期間	備考	単位	合計
文部科学省	学校教育課	研修	H27	チームマネジメント能力 主事カテゴリ研修	1	1単位

#### センター研修以外の研修（記載のみ）

主催	所管	研修名	期間	備考

#### 講師履歴

主催	研修名	期間	備考
総合教育センター	講座	R3	

講座講師の履歴を記載しています。  
 （京都府総合教育センター主催の研修のみ）

センター研修以外の国及び京都府教育委員会主催の研修について、研修等履修状況に単位加算しないものを平成22年度実施の研修から記載しています。

研修講座のキャリアステージごとの履修状況について記載しています。

キャリアステージごとの履修状況を以下の4つの分類で確認できます。

- ・「主事」 …主事1・2級在位中に履修の研修
- ・「主任」 …主任・主任（係長相当職）在位中に履修の研修
- ・「事務主任 専門幹」 …事務主任・専門幹在位中に履修の研修
- ・「事務長」 …事務長在位中に履修の研修

※新規採用者研修の必修講座については記載していません。

※履修した講座について「◎」「○」「指定」を記載しています。（平成26年度から）

※該当講座が各キャリアステージごとの選択講座の場合は「◎」、指定講座の場合は「指定」、該当キャリアステージ以外の場合は「○」を記載しています。

※平成25年度までに履修の講座については、総単位数にのみ反映しています。

京都府総合教育センター	〒612-0064	京都市伏見区桃山毛利長門西町 TEL (075)612-3266(代)
北部研修所	〒623-0012	綾部市川糸町堀ノ内 TEL (0773)43-2934

京都府総合教育センターホームページ ( I T E C )

URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/>

E-mail [ed-center-kenkyu@pref.kyoto.lg.jp](mailto:ed-center-kenkyu@pref.kyoto.lg.jp)

**発行：京都府総合教育センター**